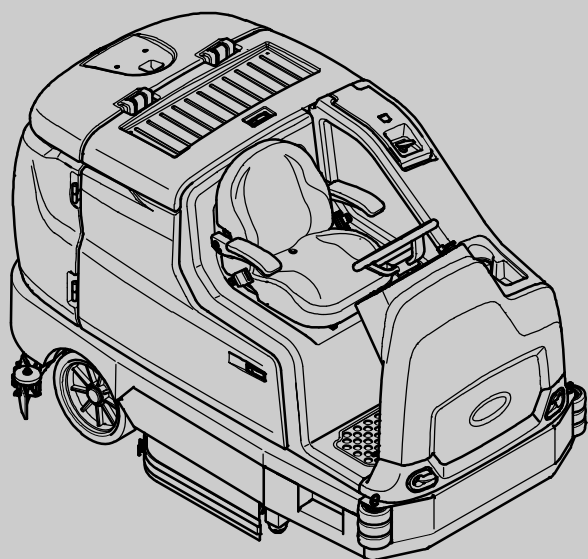




# T17

( バッテリー )

## ライダースクラバー オペレーターマニュアル



ES<sup>®</sup> リサイクル洗浄システム  
Tennant True<sup>®</sup> 部品  
IRIS<sup>®</sup> テナントテクノロジー  
Insta-Fit アダプター



### 北米 / 海外



最新のパーツマニュアルまたは他の言語のオペレーター  
マニュアルについては、

[www.tennantco.com/manuals](http://www.tennantco.com/manuals) にアクセスしてください。

9020164  
Rev. 09 (5-2019)



## はじめに

本マニュアルはそれぞれの製品に同梱されています。製品の操作やメンテナンスに必要な説明が記載されています。



本マニュアルをよく読み、本機について理解した上で  
操作や点検整備を行ってください。

本機は優れた機能を提供します。最小限のコストで最良の結果を得るためには、次の事項にご留意ください。

- 本機は相応の注意を払って操作してください。
- 本機は決められた手順に従い、定期的に整備してください。
- 本機はテナント社純正パーツまたは同等品を使用して整備してください。

### 環境の保護



梱包材、バッテリーなどの使用済部品および廃液を廃棄するときは、各国の法令に従い、環境に安全な方法で廃棄してください。



必ずリサイクルしてください。

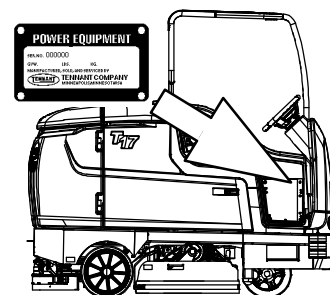
### 本機の詳細

後日確認できるように、設置時に  
記入してください。

機種番号 - \_\_\_\_\_

シリアル番号 - \_\_\_\_\_

設置日 - \_\_\_\_\_



## 使用目的

T17は、凸凹した面やハードフロア（コンクリート、タイル、石、合成物質など）の湿式（ウェット）洗浄用に設計された業務用乗車型機器です。一般的な用途には、学校、病院/ヘルスケア施設、オフィスビル、小売店センターなどが含まれます。土、芝生、人工芝、カーペットの上で本機を使用しないでください。本機の使用は屋内の用途に制限されています。本機は公道での使用を意図したものではありません。本オペレーターマニュアルに記載されていない方法で本機を使用しないでください。

Tennant Company  
PO Box 1452  
Minneapolis, MN 55440  
電話：(800) 553-8033  
[www.tennantco.com](http://www.tennantco.com)

Touch-N-Go、1-Step、Dura-Track、SmartRelease、Duramer、Insta-Fitは、テナントカンパニーの商標です。

本書に記載された仕様やパーツは予告なく変更される場合があります。

Original Instructions, copyright E 2014 - 2019 TENNANT Company, Printed in U.S.A.

## 目次

	ページ		ページ
重要な安全注意事項 -		本機の概要	40
これらの指示事項を保存してください	4	ブラシとパッドについて	41
操作	10	本機の運転時	42
本機の構成	10	運転前チェックリスト	43
制御機器と計器類	12	本機の始動	44
標準タッチパネル	14	洗剤タンクの充填 ( オプション )	44
PRO-PANEL コントロール	16	洗浄液タンクの充填	45
シンボルマーク	18	従来の洗浄モード	45
コントロールの操作 - 標準パネル	22	ec-H2O洗浄 ( ec-H2Oモード )	45
バッテリー放電インジケータ	22	ES ( リサイクル洗浄 ) モード -	
アワーマーター	22	手動によるタンクの充填	46
汚水回収タンク満杯インジケータ	22	自動充填 ( オプション )	46
洗浄液タンクインジケータ	23	ec-H2Oボタン ( オプション )	47
コントラストコントロールボタン	23	ES ( リサイクル洗浄 ) ボタン	
設定モードボタン	23	( オプション )	48
1-STEPボタン	23	洗浄ブラシ圧	49
サイドブラシボタン ( オプション )	24	洗浄ブラシ圧の設定 - 標準パネル	49
バキュームファン/スクイージーボタン	24	洗浄ブラシ圧の設定 - プロパネル	49
洗浄メインブラシボタン	25	洗浄液流量	50
洗浄液オン/オフボタン	25	洗浄液流量の設定 - 標準パネル	50
過酷環境スイッチ ( オプション )	25	洗浄液流量の設定 - プロパネル	50
ブレスイープスイッチ ( オプション )	26	洗浄 - 標準パネル	51
コントロールの操作 - プロパネル	27	洗浄 - プロパネル	52
PRO-ID ログイン画面	27	ダブル洗浄	53
本機ステータスボタン	27	水回収モード ( 洗浄なし )	55
デフォルトのボタンの変更	28	洗浄の停止	55
1-STEPボタン	28	汚水回収タンクの排水と清掃	56
洗浄メインブラシボタン	29	洗浄液タンクの排水と清掃	59
洗浄バキューム ファン /		本機の電源を切る	60
スクイージーボタン	29	故障インジケータ/警告コード	61
洗浄サイドブラシボタン		故障/アラートインジケータ -	
( オプション )	29	標準パネル	61
スイープサイドブラシ	29	故障/アラートインジケータ -	
ブレスイープブラシボタン	30	プロパネル	61
ブレスイープ バキュームファンボタン	30	故障/警告コード	
洗浄液オン/オフボタン	30	( S/N 000000-012999 )	62
スクリーンロック	30	故障/警告コード	
過酷環境スイッチ ( オプション )	31	( S/N 013000- )	66
ゾーンコントロールボタン	31	—オプション	67
リアビューカメラボタン	32	スプレーノズル ( オプション )	67
ヘルプボタン	32	高圧ウォッシャー ( オプション )	68
ビデオヘルプボタン	34	高圧ウォッシャーポンプのプ	
PRO-CHECKの操作前チェックリストを実		ライミング	70
行	35	ウェットバキュームワンド	
コントロールの操作 - すべての機種	36	( オプション )	71
非常停止ボタン	36	ライブワンド ( オプション )	73
方向スイッチ	36	ライブワンドの操作	
ヘッドライト/フラッシュライトスイッチ		( 本機から離して使用 )	73
( オプション )	36	ライブワンドの操作	
走行ペダル	37	( 本機上での使用 )	73
ブレーキペダル	37	ライブワンドバキュームごみトレ	
パーキングブレーキペダル	37	ーを空にする	74
運転席	37	ライブワンドバキュームフィルター	
シートベルト ( デラックスシートオプシ		の洗浄	75
ンのみ )	37		
リアバンパードア/ステップ	38		

	ページ		ページ
リヤスクイージーガード ( オプション )	76	リヤスクイージーの水平調整	112
洗浄サイドブラシと清掃サイドブラシ ( オプション )	76	リヤスクイージーブレードの反り の調整	113
プレスイープアセンブリー ( オプション )	77	サイドスクイージーブレードの交換またはローテーション	114
プレスイープの操作 ( オプション ) ( 標準パネル )	77	サイドブラシスクイージーブレードの交換またはローテーション ( オプション )	115
プレスイープの操作 ( オプション ) ( プロパネル )	77	スカートとシール	117
プレスイープごみホッパーを空にする	78	汚水回収タンクシール	117
後退アラームの音量 ( オプション )	79	洗浄液タンクのシール	117
スライドアウトバッテリー ( オプション )	80	ライブワンドバキュームシール ( オプション )	117
トラブルシューティング	82	洗浄ヘッドスカート ( ディスク洗浄ヘッドのみ )	118
メンテナンス	84	プレスイープスカート ( オプション )	118
メンテナンス表	85	ベルト	119
黄色のタッチポイント	87	シリンダーブラシのドライブベルト	119
注油	87	プレスイープブラシのドライブベルト ( オプション )	119
ステアリングチェーン	87	ブレーキ	119
ステアリングギヤチェーン	87	タイヤ	119
ドライブホイールピボット	87	本機の牽引・後押し・輸送	120
バッテリー	88	本機の牽引・後押し	120
電解液レベルの点検	88	本機の輸送	120
メンテナンスフリーバッテリー	88	本機の積み降ろし	122
接続の点検/清掃	88	本機のジャッキアップ	123
バッテリーの充電	89	ec-H2Oモジュールの洗浄手順	124
テナント製バッテリー充電器を 使った充電	89	保管情報	126
ENERSYS製バッテリー充電器 を使った充電	92	凍結防止	126
充電器のUSBポート	94	保管後の運転に備えて	128
バッテリー注水システム ( オプション )	95	ec-H2Oシステムのプライミング	130
燃料電池 ( オプション )	96	仕様	132
サーキットブレーカー、ヒューズ、リレー	97	本機の寸法と容量	132
サーキットブレーカー	97	本機の一般性能	133
ヒューズ	98	動力	134
リレー	98	タイヤ	134
電動式モーター	98	洗浄サイドブラシの洗浄液流量 ( オプション )	134
洗浄液供給フィルター	98	ec-H2Oシステム ( オプション )	134
洗浄ブラシ	99	高圧ウォッシャー ( オプション )	134
ディスクブラシとパッド	99	本機の寸法	135
ディスクブラシまたはパッド ドドライバの交換	99	管理者コントロール	136
ディスク洗浄パッドの交換	100	プロパネル管理者コントロール	136
シリンダーブラシ	101	管理者モードの入力 - 初回のみ	136
シリンダー洗浄ブラシの交換	101	管理者モードの入力	137
サイドブラシ ( オプション )	103	管理者設定画面/画面アイコン	138
洗浄サイドブラシの交換	103	プロファイルの追加/変更	139
清掃サイドブラシの交換	104	ログインを有効にする	141
プレスイープブラシ ( オプション )	105	ログインを無効にする	142
プレスイープサイドブラシの交換	105	バッテリーの種類の変更	143
プレスイープシリンダーブラシの交換	106	タッチの補正	143
スクイージーブレード	108	チェックリストのエクスポート	144
リヤスクイージーブレードの交換 ( またはローテーション )	108	チェックリストの設定	145
		作業前チェックリストを有効/無効にする	146
		リアビューカメラの設定を変更	147
		ゾーンコントロールボタンのプログラム	147
		時間と日付の設定/変更	149
		スクリーンロックの設定/変更	150



### 重要な安全注意事項 - これらの指示事項を保存してください

本書中では、次の安全警告を使います。



**警告：**重傷や死亡などの結果を引き起こしかねない危険な使い方を警告します。

安全のために：本機を安全に操作するうえで守らなければならない手順を示します。

下記の情報は、オペレーターが危険にさらされるおそれがある内容を示しています。このような状況が存在する可能性を理解してください。本機の安全装置の位置をすべて確認してください。本機が破損したり誤動作が生じた場合は、直ちに報告してください。



**警告：**バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。火花や炎を絶対に近づけないでください。充電中は、バッテリー収納部のカバーを開けたままにしてください。



**警告：**引火性物質は、爆発や火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。



**警告：**引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください。



**警告：**重い物体です。不適切に持ち上げると、背部損傷の原因になる場合があります。移動させる時はホイストを使用してください。



**警告：**他の人や動物に向けて噴霧しないでください。重傷を引き起こすことがあります。保護眼鏡を着用してください。スプレーヤーは必ず両手で持ってください。



**警告：**電氣的な危険。

- 本機を点検整備する前に、バッテリーケーブルと充電器のプラグを外してください。
- 破損した電源コードでバッテリーを充電しないでください。プラグを改造しないでください。

充電器の電源コードが損傷または破損している場合は、危険防止のため、メーカーまたはその代理店、あるいは専門の担当者に交換を依頼してください。

機種によって、携帯電話のネットワークを利用した通信装置が搭載されています。通信装置を搭載した機種周辺で使用する携帯電話が、本機の動作に影響を与える可能性がある場合は、通信機能の停止方法について、テナント社のサービス代理店にご相談ください。

安全のために：

#### 1. 以下の場合、本機を操作しないでください

- トレーニングと認定を受けていない。
- オペレーターマニュアルを読んだ上でその内容を理解していない。
- アルコールや薬物の影響下にある。
- 携帯電話やその他の電子機器の使用時。
- 本機の操作手順に従う知力および体力がない。
- ブレーキが故障している場合。
- 本機が正常に作動しない場合。
- テナント社純正またはテナント社認定以外のパッドまたはアクセサリとの使用。他のパッドを使用すると、安全性が損なわれる可能性があります。
- 屋外。本機の使用は屋内の用途に制限されています。
- 可燃性の気体・液体または粉塵が存在する場所。
- 操作/ヘッドライトが点灯していない限り、本機のコントロールや操作を行うために安全に視界が確保できないほど暗い場合。
- ヘッドガードを付けない状態で、落下物の恐れのある場所での使用。
- リヤバンパードア/ステップを降ろした状態での使用。

#### 2. 本機の操作前：

- 作動油の漏れを点検してください。
- すべての安全装置が所定の位置にあり、適切に作動することを確認してください。
- ブレーキとハンドルの正常作動をチェックしてください。
- パーキングブレーキペダルが適切に動作するか点検してください。
- シートを調整し、シートベルトを締めてください（装備している場合）。

## 3. 本機の使用 :

- 本取扱説明書に記載されていない方法で  
使用しないでください。
- ブレーキで、本機を停止します。
- 斜面や滑りやすい表面ではゆっくりと進  
んでください。
- 傾斜が8.7%以上の斜面での本機の使用、  
または傾斜が12%の斜面での輸送 (GVW  
R) は避けてください。
- 方向転換するときは速度を落としてくだ  
さい。
- 本機を運転中、本体の部品はすべてオペ  
レーターの運転席に保管してください。
- 本機の運転中は常に周囲に注意してくだ  
さい。
- 本機が動いている間は、ビデオ/ヘルプ画  
面にアクセスしないでください。(Pro-Pa  
nel)
- 本機を後退させる際は十分に注意してく  
ださい。
- お子様や権限のない人を本機に近づけな  
いください。
- 本機のいかなる部分にも同乗者を乗せな  
いください。
- 常に安全規則と交通規則に従ってくださ  
い。
- 本機に損傷や誤動作が生じた場合は、  
直ちに報告してください。
- 化学薬品の混合、取り扱い、廃棄につい  
ては、容器の説明に従ってください。
- 後退アラームに関する現場安全対策に従  
ってください。
- 濡れた床に関する現場安全対策に従って  
ください。
- 自動充填機能を使用して洗浄液タンクを  
充填する際は、本機を放置しないでくだ  
さい。
- 自動充填機能を使用して洗浄液タンクを  
充填する際は、本機を平坦な表面に停め  
てください。

4. 本機から離れるときや本機を点検整備する  
前 :

- 本機を平坦な表面に停めてください。
- パーキングブレーキを掛けます。
- 本機の電源スイッチを切り、キーを外し  
てください。

## 5. 本機を点検整備するとき :

- すべての作業は必ず十分な照明と視界が  
確保された状況で実施してください。
- 作業場の換気を良い状態に保つようにし  
てください。
- 可動部に近づかないでください。ゆった  
りとした衣服やアクセサリは着用せず  
、髪が長い場合はまとめてください。
- 本機をジャッキで持ち上げる前に、タイ  
ヤ止めで固定してください。
- 指定された位置にのみジャッキを当てて  
ください。ジャッキスタンドで本機を支

えてください。

- 本機の重量に対応するホイストまたはジ  
ャッキを使用してください。
- オペレーターが運転席にいない状態で本  
機を押したり牽引したりしないでくださ  
い。
- ブレーキが壊れた状態で、本機を斜面で  
押したり牽引したりしないでください。
- 電気部品の近くで本機に高圧スプレーや  
ホースで水をかけないでください。
- バッテリーのコネクタと充電器のコード  
を外してから、本機での作業を実施して  
ください。
- コンセントから抜く際は、充電器コード  
を引っ張らないでください。コンセント  
のプラグ部分をしっかりと持って抜いて  
ください。
- 適合しない充電器を使用しないでくださ  
い。バッテリーパックが損傷し火災を引  
き起こすおそれがあります。
- 充電器のコードに損傷がないか定期的  
に点検してください。
- 充電器を使用しているときは、定置型充  
電器のDCコードを本機のソケットから外  
さないでください。アーク放電が発生す  
ることがあります。充電を中断する場合  
は、最初にAC電源コードを外してくださ  
い。
- バッテリー液には触れないでください。
- すべての金属製品はバッテリーのそばに  
置かないでください。
- 非伝導性のバッテリー除去装置を使用し  
てください。
- バッテリーを持ち上げる時は、ホイスト  
を使用し、適切な補助を受けてください  
。
- バッテリーの据付けは、訓練を受けた担  
当者が行ってください。
- バッテリー取り外しに関する現場安全対  
策に従ってください。

## 安全上の注意事項

- 修理は必ず訓練を受けた修理整備士が実施してください。
- 本機の本設計の改造は行わないでください。
- テナント社製またはテナント社の承認を受けた交換部品を使用してください。
- 必要に応じて、また本書で推奨されている場合は、個人用保護具を使用してください。



安全のために：耳栓を着用してください。



安全のために：保護手袋を着用してください。



安全のために：保護眼鏡を着用してください。



安全のために：  
防塵マスクを着用してください。

6. トラック/トレーラーへの本機の積み降ろし。
  - 本機を積み込む前にタンクを空にしてください。
  - 本機をロープ固定する前に、洗浄ヘッドとスクイージーを下げてください。
  - 平らな場所で停止し、パーキングブレーキをかけて、すべての固定用ロープで固定するまでキーをオン位置のままにしてください。
  - タイヤ止めで固定してください。
  - 本機を紐で固定してください。
  - 本機およびオペレーターの重量を支えられる傾斜台、トラックまたはトレーラーを使用してください。
  - 傾斜が21%を超える斜面で積み込み/積み降ろしをしないでください。
  - ウインチを使用してください。積み込み面が地面から380mm ( 15in ) 以下でないかぎり、本機を運転しながらトラックまたはトレーラーに積み降ろししないでください。



安全ラベルは、本機の以下に示す位置に貼付されています。損傷したラベルは交換してください。

警告ラベル：バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。火花や裸火を近づけないでください。充電中はカバーを開けた状態にしてください。

警告ラベル - 引火性物質は、爆発または火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。



バッテリー室カバーの底に貼付されています。



洗浄液タンクカバーと洗剤タンクに貼付されています（オプション）。

警告ラベル - 引火性物質や反応性高い金属は、爆発または火災の原因になります。回収しないでください。



電気パネルの上にあります。

安全ラベル - リアバンパードア/ステップを降ろした状態で本機を操作しないでください。本機のいかなる部分にも同乗者を乗せないでください。



リアバンパードア/ステップに貼付されています。



安全ラベル - 本機の運転前に取扱説明書をお読みください。

電気パネルの上にあります。

安全ラベル - 認定を受けた修理整備士のみ。



サーキットボードカバーと電気パネルの上にあります。

## 安全上の注意事項

### 警告ラベル -

重い物体です。不適切に持ち上げると、背部損傷の原因になる場合があります。移動させる時はホイストを使用してください。



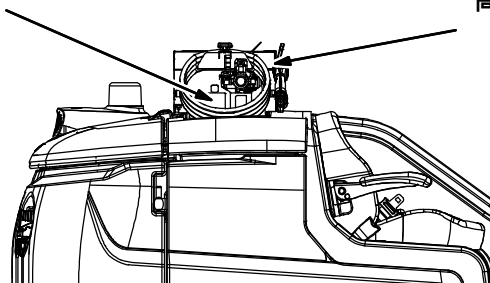
高圧ウォッシャーカバーの下。

### 警告ラベル -

他の人や動物に向けて噴霧しないでください。重傷を引き起こすことがあります。保護眼鏡を着用してください。スプレーヤーは必ず両手で持ってください。



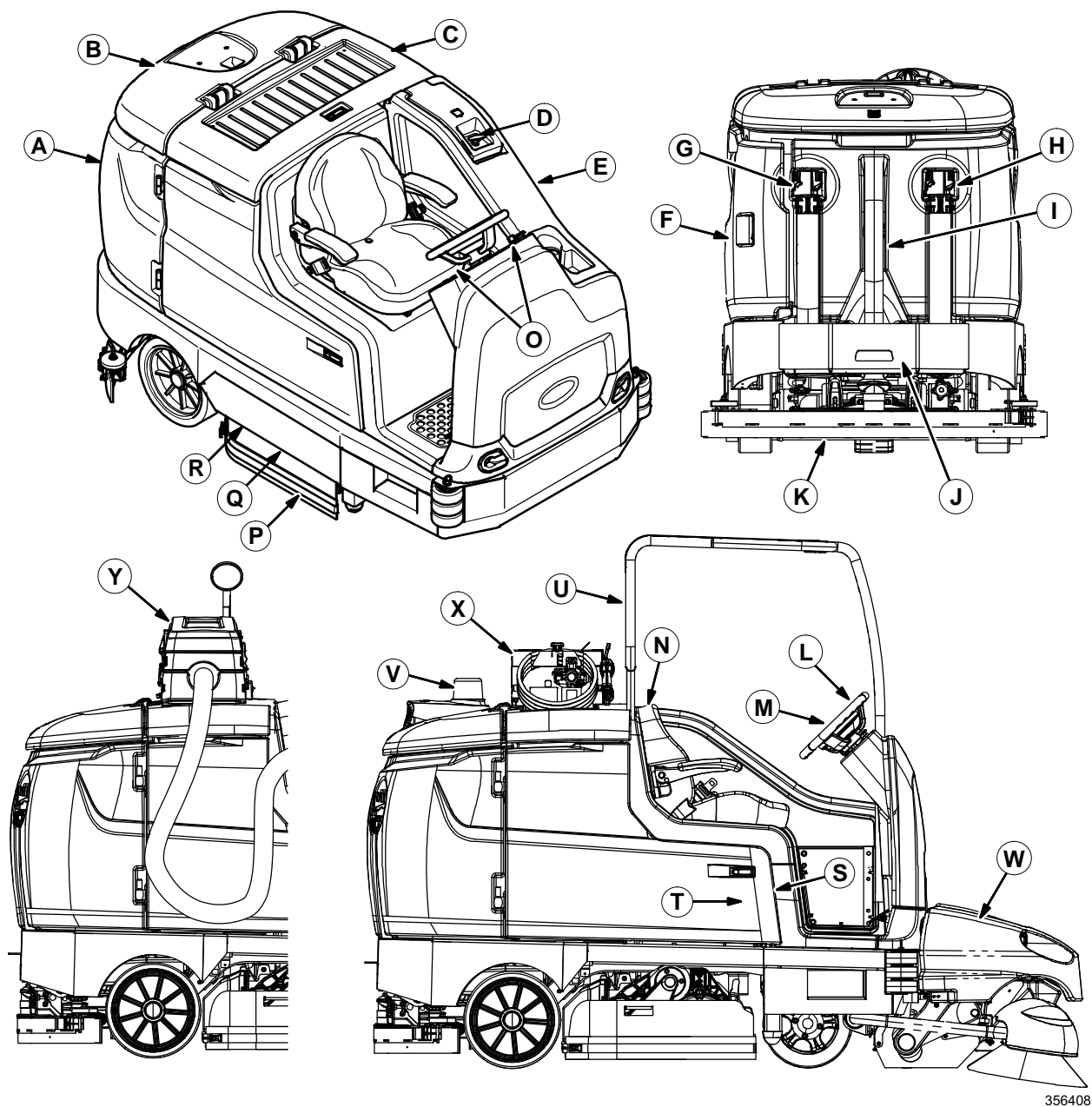
高圧ウォッシャーカバー上。



356408

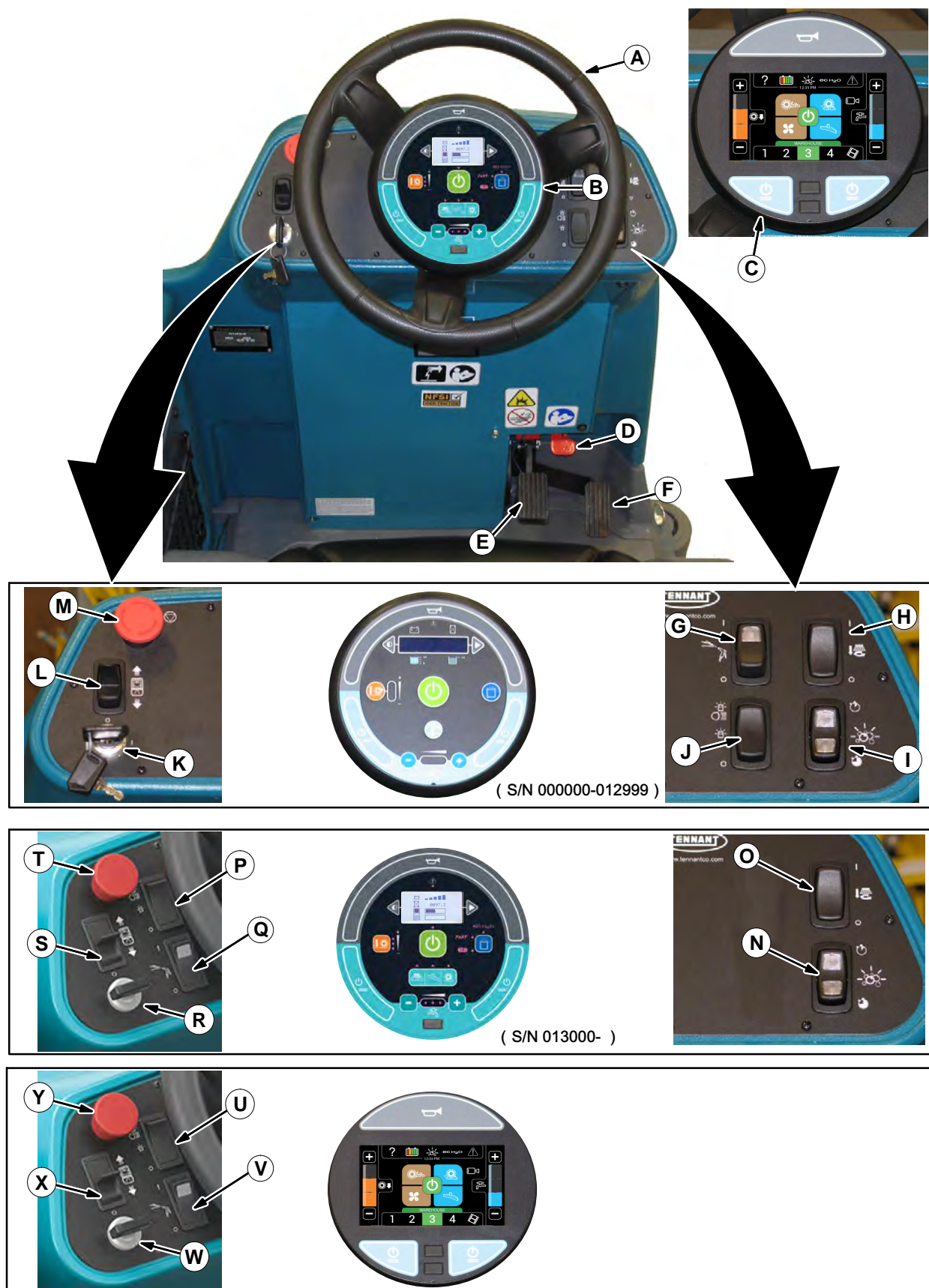


本機の構成



356408

- A. 汚水回収タンク
- B. 汚水回収タンクカバー
- C. バッテリー室カバー
- D. 洗浄液タンクカバー
- E. 洗浄液タンク
- F. 左シュラウド
- G. 洗浄液タンクドレンホース
- H. 汚水回収タンクドレンホース
- I. バキュームホース
- J. リヤスクイージー
- K. リアバンパードア/ステップ
- L. ステアリングホイール
- M. 標準コントロールパネル/プロパネル
- N. オペレーターシート
- O. コントロールパネル/計器パネル
- P. サイドスクイージー
- Q. 洗浄ヘッド
- R. メインブラシドア
- S. 右シュラウド
- T. ec-H20システムモジュール室  
( オプション ) - 右シュラウドの  
後ろにあります
- U. 保護覆い ( オプション )
- V. 後退アラーム/フラッシュライト ( オプション  
)
- W. プレスイーブ ( オプション )
- X. 高圧ウォッシャー ( オプション )
- Y. ライブワンドドライバキューム ( オプション  
)



- A. ステアリングホイール
- B. 標準タッチパネル
- C. Pro-Panel
- D. パーキングブレーキペダル
- E. ブレーキペダル
- F. 走行ペダル

標準コントロールパネル ( S/N 000000-012999 )

- G. スプレーノズルスイッチ ( オプション )
- H. 洗浄サイドブラシスイッチ ( オプション ) /  
清掃サイドブラシスイッチ ( オプション ) /  
プレスイープスイッチ ( オプション )
- I. 過酷環境スイッチ
- J. ヘッドライト/フラッシュライト  
スイッチ ( オプション )
- K. キースイッチ
- L. 方向スイッチ
- M. 非常停止ボタン

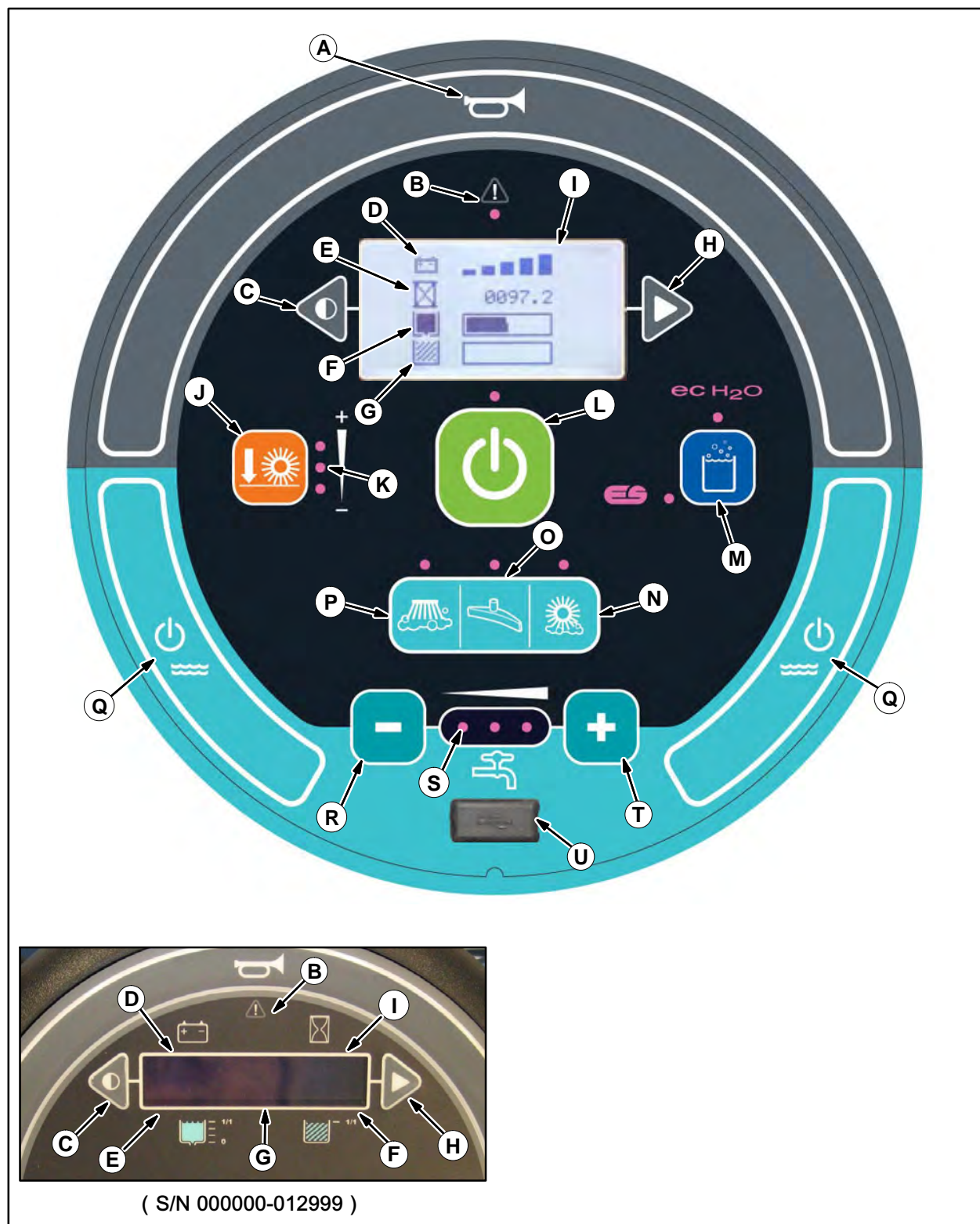
標準コントロールパネル ( S/N 013000- )

- N. 過酷環境スイッチ
- O. プレスイープスイッチ ( オプション )
- P. ヘッドライト/フラッシュライト  
スイッチ ( オプション )
- Q. スプレーノズルスイッチ ( オプション ) /  
高圧ウォッシャースイッチ ( オプション )
- R. キースイッチ
- S. 方向スイッチ
- T. 非常停止ボタン

Pro-Panel

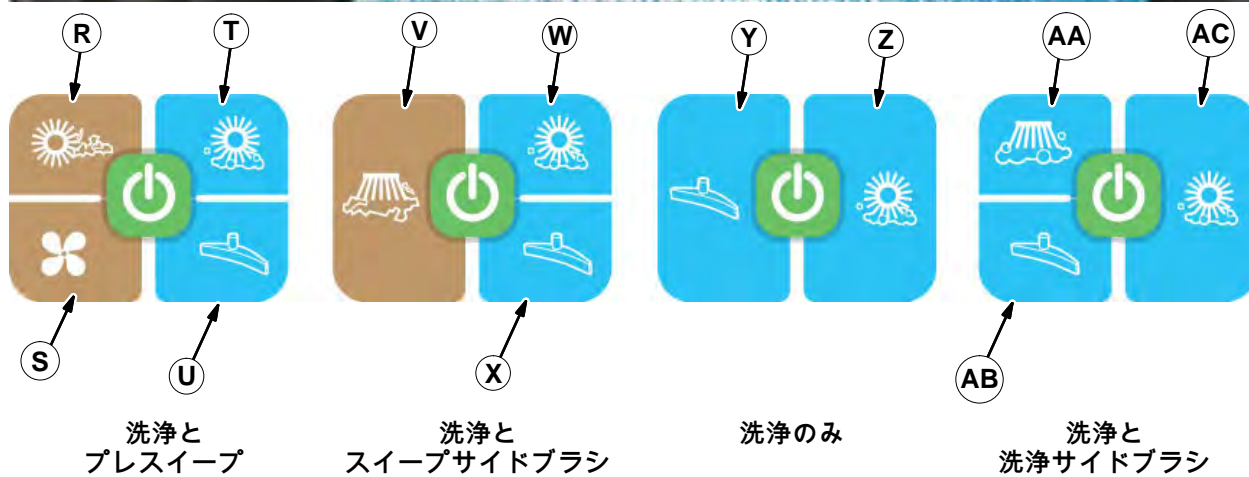
- U. ヘッドライト/フラッシュライト  
スイッチ ( オプション )
- V. スプレーノズルスイッチ ( オプション ) /  
高圧ウォッシャースイッチ ( オプション )
- W. キースイッチ
- X. 方向スイッチ
- Y. 非常停止ボタン







- A. ホーン
- B. 故障/アラートインジケータースライト
- C. コントラストコントロールボタン
- D. バッテリー放電インジケータース
- E. アワーマーター
- F. 洗浄液タンクインジケータース
- G. 汚水回収タンク満杯インジケータース
- H. 設定モードボタン
- I. LCD ディスプレイ
- J. ブラシ圧ボタン
- K. ブラシ圧インジケータースライト
- L. 1-STEPボタン
- M. ec-H2O /  
ES ( リサイクル洗浄/ ( オプション ) )
- N. 洗浄メインブラシボタン
- O. 洗浄バキュームファン / スクイージーボタン
- P. 洗浄サイドブラシ ( オプション )
- Q. 洗浄液オン/オフボタン
- R. 洗浄液減量ボタン ( - )
- S. 洗浄液フローインジケータースライト
- T. 洗浄液増量ボタン ( + )
- U. USBポート ( 保守専用 )



- A. ホーン
- B. 故障/アラートインジケータライト
- C. ec-H2O /
- ES (リサイクル洗浄/ (オプション))
- D. 過酷環境ボタン (オプション)
- E. 本機ステータスボタン
- F. ヘルプボタン
- G. メイン洗浄ブラシ圧アクセスボタン
- H. リアビューカメラボタン
- I. 洗浄液コントロールアクセスボタン
- J. 1-STEPボタン
- K. ビデオに関するヘルプ
- L. ゾーンコントロール1ボタン
- M. ゾーンコントロール2ボタン
- N. ゾーンコントロール3ボタン
- O. ゾーンコントロール4ボタン
- P. 洗浄液オン/オフボタン
- Q. USBポート (保守専用)

#### 洗浄とプレスイーブ (オプション)

- R. プレスイーブメインブラシボタン
- S. プレスイーブ バキュームファンボタン
- T. 洗浄メインブラシボタン
- U. 洗浄バキュームファン / スクイージーボタン

#### 洗浄サイドブラシとスイーブサイドブラシ (オプション)

- V. 清掃サイドブラシボタン
- W. 洗浄メインブラシボタン
- X. 洗浄バキュームファン / スクイージーボタン

#### 洗浄のみ

- Y. 洗浄バキュームファン / スクイージーボタン
- Z. 洗浄メインブラシボタン

#### 洗浄と洗浄サイドブラシ (オプション)

- AA. 洗浄サイドブラシボタン
- AB. 洗浄バキュームファン / スクイージーボタン
- AC. 洗浄メインブラシボタン

## シンボルマーク

本機では次の記号を使用し、制御装置、表示、機能を特定しています。

	ホーン		洗浄液減少 ( - )
	故障/アラートインジケーター		洗浄液増加 ( + )
	前進/後進		洗浄液流量
	サーキットブレーカー		洗浄液オン/オフ
	メインブラシ接地圧		オン
	1-STEP		オフ
	ES ( リサイクル洗浄 ) ( オプション )		非常停止
	ec-H2O ( オプション )		過酷環境 ( オプション )
	洗浄モード		スプレーノズル ( オプション ) / 高圧ウォッシャー ( オプション )
	操作ライト/非常灯		アワーメーター
	ヘッドライト		洗浄メインブラシ
	洗浄サイドブラシ		洗浄バキュームファン/スクイージー
	バッテリー充電		非常停止



コントラストコントロール



ジャッキーポイント



設定モード

### 標準パネル記号



汚水回収タンク



コントラストコントロール



洗浄液タンク



設定モード



ブラシ圧 ( 最小/最大 )



洗浄液フロー ( 最小/最大 )



サイドブラシ ( オプション )

## プロパネルの記号

	ゾーン設定1		ヘルプ
	ゾーン設定2		アラート/故障
	ゾーン設定3		入力
	ゾーン設定4		チェックリスト項目未確認
	アワーメーター		チェックリスト項目確認済
	ログイン		ログアウト
	選択		管理者設定
	本機の表示を回転		管理者メニュー
	カメラの設定		スタートアップビデオ
	コントロールに関するヘルプ		ビデオに関するヘルプ
	詳細情報		ビデオボタン
	バックスペース		ビデオリストボタン
	リアビューカメラ		ホーム (メイン操作画面)

## プロパネルの記号

	上向き矢印		下向き矢印
	ログインを無効にする		左向き矢印
	プロファイルの追加/編集		ログインを有効にする
	オペレーター		タッチのキャリブレーション
	管理者		チェックリストの設定
	プロファイルの編集		すべてをエクスポートする
	プロファイルの追加		新規をエクスポートする
	プロファイルの削除		チェックリストのエクスポート
	プロファイルのコピー		スクリーンロック
	設定された日付/時間		

## コントロールの操作 - 標準パネル

### バッテリー放電インジケータ

バッテリー放電インジケータは、本機の運転中にバッテリーの充電レベルを表示します。



バッテリーが完全に充電されていると、5つのバーがすべて点灯します。インジケータにバーが1つしか表示されなくなったら、バッテリーを充電してください。バッテリーが20%より少ない状態では放電しないでください。(最後のバー)

注記：本機の電源を初めて入れたときのバッテリー放電インジケータは、正確な値を示しません。本機を数分間運転してから、バッテリーの充電レベルを読み取ってください。

注記：点滅している警告/故障インジケータとLCDのバッテリー低故障は、バッテリーが完全に充電されるまではリセットされません。故障インジケータを参照してください。

注記：燃料電池オプションを装備した機種は、燃料電池ペンダント上にディスプレイがあります。

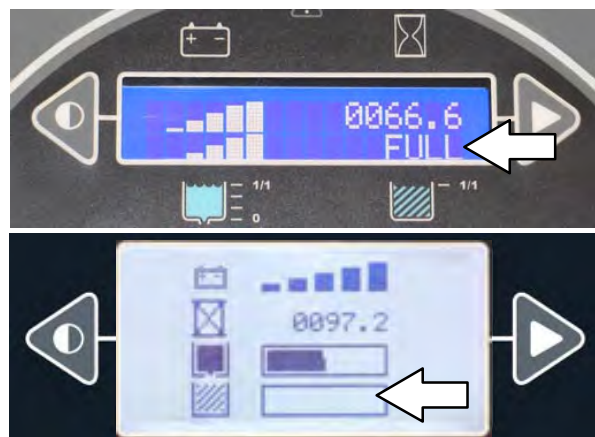
### アワーメーター

アワーメーターは本機の操作時間を記録します。この情報に基づいて、本機の点検整備周期を確定します。



### 汚水回収タンク満杯インジケータ

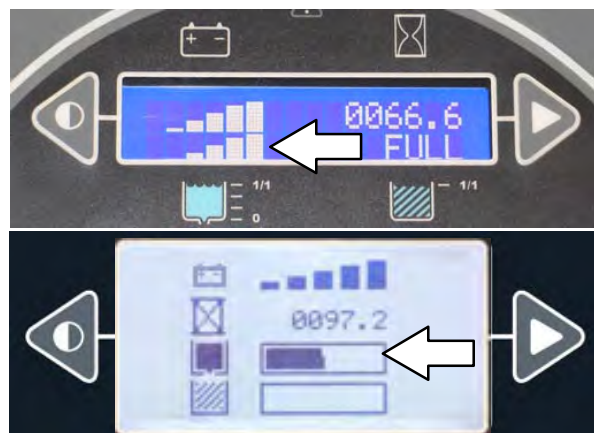
汚水回収タンク満杯インジケータは、回収タンクが満杯になると、FULLを表示します。汚水回収タンクがいっぱいになると、すべての洗浄機能が停止します。インジケータにFULLが表示された場合は、汚水回収タンクを空にしてください。





## 洗浄液タンクインジケーター

洗浄液タンクインジケーターには、洗浄液タンク内の液体量が示されます。インジケーターのバーが表示されなくなったら、洗浄液タンクに洗浄液を入れてください。洗浄液タンクが空になると、本機は洗浄を停止します。



## コントラストコントロールボタン

コントラストコントロールボタンを押し続けると、LCD ディスプレイの明るさを調節できます。



## 設定モードボタン

設定モードボタンは設定および診断モードへのアクセス用です。適正な訓練を受けたサービスマンと当社代理店のみが、これらのモードを利用できます。

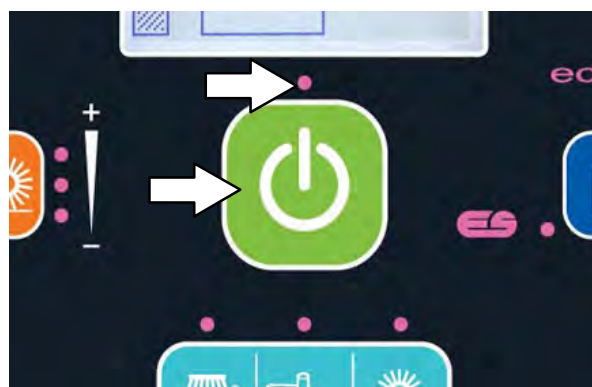


## 1-STEPボタン

1-STEPボタンを押して、選択したすべての清掃と洗浄の機能を有効にします。1-STEPボタンを押す前に、選択したすべての清掃/洗浄機能のライトがオンになりますが、選択した機能は 1-STEPボタンを押すまで待機モードとなります。洗浄が終了したら 1-STEPボタンをもう一度押して、すべての洗浄とスワイプ機能を停止します。

注記：1-STEPボタンが無効になった後、残りの水を回収するため、スクイージーは下がったままで、バキュームファンが数秒間オンのままとなります。

1-STEPボタンが有効になると、ボタンの上にあるインジケーターライトが点灯します。



## 操作

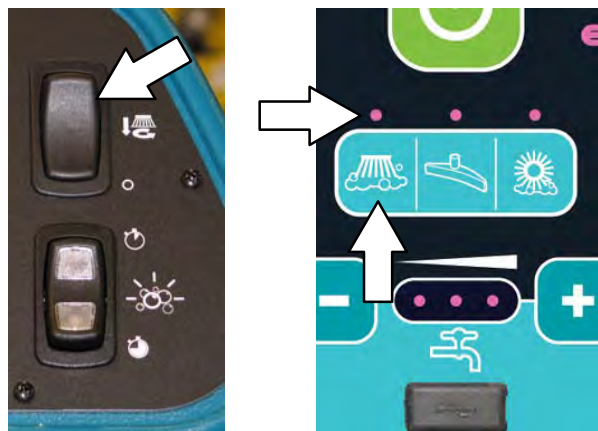
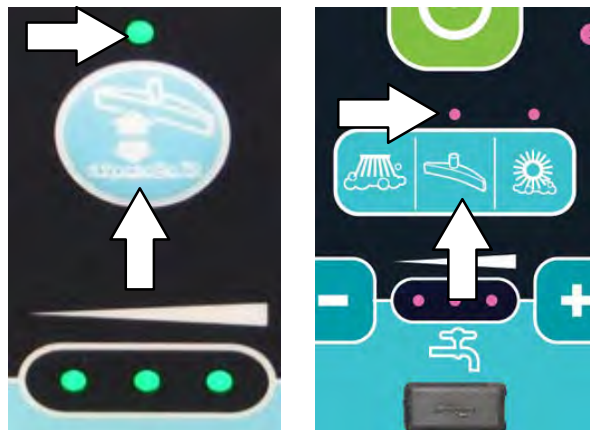
### サイドブラシボタン ( オプション )

サイドブラシボタンは、スweepまたは洗浄サイドブラシオプションを制御します。

サイドブラシをオンにする：サイドブラシボタンを押します。インジケータライトが点灯します。

サイドブラシをオフにする：サイドブラシボタンを押します。インジケータライトが消灯します。

注記：サイドブラシは、メインのスweepブラシから独立した形では操作できません。サイドブラシボタンを押すと、メインのスweepブラシもオンになります。



### バキュームファン/スクイージーボタン

スクイージーを下げ、バキュームファンをオンにします。バキュームファン/スクイージーボタンを押します。スクイージーが下がると、インジケータライトが点灯します。

スクイージーを上げ、バキュームファンをオフにします。バキュームファン/スクイージーボタンを押します。スクイージーが上がると、インジケータライトが消灯します。

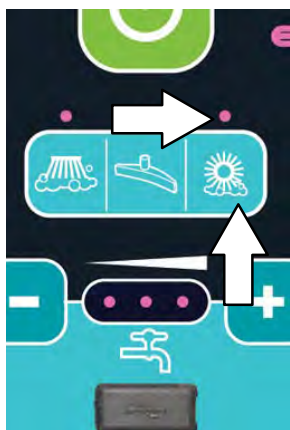
注記：バキュームファン/スクイージーシステムを操作するときは、1-STEPボタンを作動させる必要はありません。バキュームファン/スクイージーボタンは、1-STEPボタンのオンオフに関係なく、オンまたはオフにできます。

## 洗浄メインブラシボタン

洗浄メインブラシをオンにする：洗浄メインブラシボタンを押します。インジケータライトが点灯します。

洗浄メインブラシをオフにする：洗浄メインブラシボタンを押します。インジケータライトが消灯します。

注記：洗浄メインブラシボタンがない機種では、1-STEPボタンを押すと洗浄メインブラシがオンになります。



## 洗浄液オン/オフボタン

洗浄液流量は、洗浄ブラシがオンの場合には常にオンのままとなるよう設計されています。角の周辺などで、洗浄液オン/オフボタンを押して、10秒間オフにできます。「洗浄液の流量設定」の項も参照してください。

洗浄液流量の終了（10秒間）：洗浄液オン/オフボタンを押します。すべての洗浄液流量インジケータが消灯します。（洗浄液流量は、10秒後に自動的に再起動します）。

洗浄液の流れを開始するには：洗浄液オン/オフボタンを押すと、洗浄液が流れ始めます。洗浄液インジケータライトが再度点灯し、洗浄液の流量は最後に使用した設定に戻ります。



## 過酷環境スイッチ（オプション）

過酷環境スイッチは、汚れがひどい場所で洗剤を補充します。

過酷環境スイッチの上部を押すと、洗剤を使用して30秒間洗浄します。スイッチの下部を押すと、洗剤を使用して5分間洗浄します。スイッチのライトは、有効な設定を表示します。

注記：過酷環境スイッチは、5分以上有効になるよう設定できます。テナント社のサービス代理店に連絡してください。



過酷環境スイッチがオンになると、ec-H2O洗浄モードは一時的にオフになります。過酷環境スイッチがタイムアウト/オフになると、ec-H2Oモードは自動的にオンになります。

過酷環境スイッチがオンの場合は、洗浄液フローとブラシ圧に最高/最強の設定が適用されますが、低い設定に調整できます。「ブラシ圧の設定」の項と「洗浄液の流量設定」の項を参照してください。

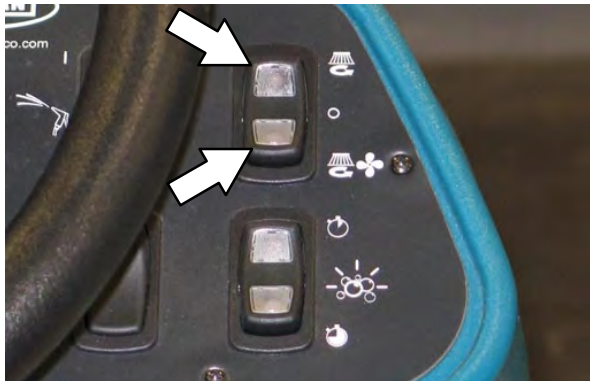
### プレスイープスイッチ ( オプション )

プレスイープスイッチは、プレスイープとプレスイープダストコントロールオプションを制御します。

プレスイープスイッチの上部を押し、ダストコントロールを *使用せず* にプレスイープを開始します。スイッチの上部が点灯します。

プレスイープスイッチの下部を押し、ダストコントロールを *使用* してプレスイープを開始します。スイッチの下部が点灯します。

*注記：* 本機が前進すると、プレスイープアセンブリーが清掃を開始し、ダストコントロールシステムが作動します。



プレスイープスイッチの点灯部分を押し、プレスイープシステムとダストコントロールシステムが停止します。



## コントロールの操作 - プロパネル

### PRO-ID ログイン画面

注記: Pro-ID

ログイン画面は、本機でIDが設定されている場合にのみ適用されます。指定されたユーザーアカウントを、管理者モードで作成する必要があります。

Pro-IDログイン画面を使用して、本機にログインします。



キーパッドを使用して、ユーザーログイン番号をキーパッドの上にあるディスプレイに入力します。



Enterボタンを押して本機にログインします。



必要に応じBackspaceボタンを押して、番号を削除し再び入力します。

プロパネルが管理者モードの場合、歯車の記号が画面の右下に表示されます。オペレーターモードの場合、ビデオの記号が表示されます。



### 本機ステータスボタン

本機ステータスボタンを使用して、4つの異なる本機のステータスインジケータにアクセスできます。デフォルトの表示では、本機がオンの場合、バッテリーのステータスが表示されます。4つのインジケータのいずれも、本機がオフになるまでデフォルト表示として設定できます。

本機ステータスボタンを押して、4つのすべての本機ステータスボタンにアクセスします。4つのすべての本機ステータスボタンが、デフォルトのボタンがディスプレイに再び表示されるまで、数秒間ディスプレイに表示されます。




バッテリー放電インジケータは、本機の運転中にバッテリーの充電レベルを表示します。


バッテリーが完全に充電されていると、5つのバーがすべて点灯します。インジケータにバーが1つしか表示されなくなったら、バッテリーを充電してください。バッテリーが20%より少ない状態では放電しないでください。(最後のバー)


注記: 本機の電源を初めて入れたときのバッテリー放電インジケータは、正確な値を示しません。本機を数分間運転してから、バッテリーの充電レベルを読み取ってください。

注記: 燃料電池オプションを装備した機種は、燃料電池ペンダント上にディスプレイがあります。

## 操作

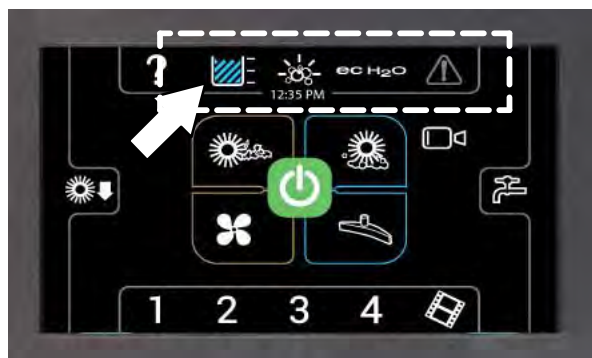
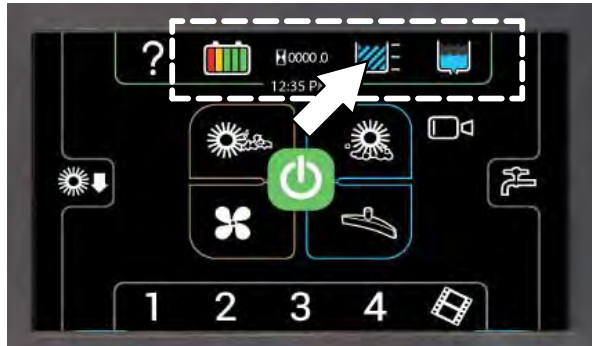
 アワーメーターは本機の操作時間を記録します。この情報に基づいて、本機の点検整備周期を確定します。

 洗浄液タンクインジケーターには、洗浄液タンク内の液体量が示されます。インジケーターのバーが表示されなくなったら、洗浄液タンクに洗浄液を入れてください。洗浄液タンクが空になると、本機は洗浄を停止します。

 汚水回収タンク満杯インジケーターは、回収タンクが満杯になると、FULLを表示します。汚水回収タンクがいっぱいになると、すべての洗浄機能が停止します。インジケーターにFULLが表示された場合は、汚水回収タンクを空にしてください。

### デフォルトのボタンの変更

4つのすべての本機ステータスボタンがディスプレイに表示されている間に、希望する本機ステータスボタンを押し、新規のデフォルトボタンに変更します。その他の3つの本機ステータスボタンはディスプレイに表示されなくなり、新たに選択した本機ステータスボタンが、本機がオフになるまでデフォルトとなります。本機がオンになると、バッテリーステータスボタンが再びデフォルトとなります。

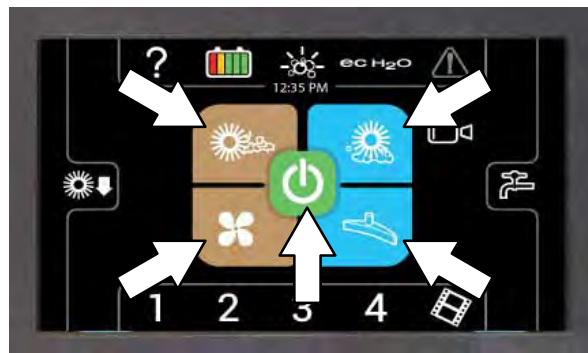


### 1-STEPボタン

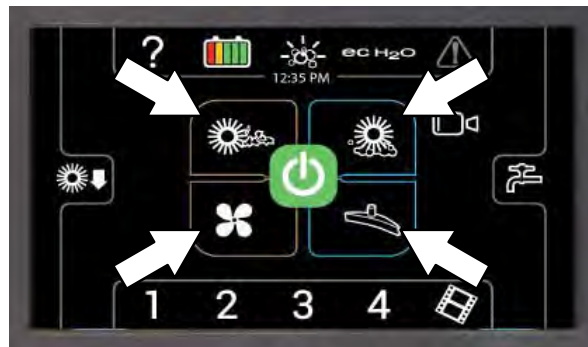
1-STEPボタンを押して、選択したすべての清掃と洗浄の機能を有効にします。洗浄が終了したら1-STEPボタンをもう一度押して、すべての洗浄とスweep機能を停止します。

注記：1-STEPボタンが無効になった後、残りの水を回収するため、スクイージーは下がったままで、バキュームファンが数秒間オンのままとなります。

1-STEPボタンと、選択したすべての洗浄およびスweep機能ボタンが、1-STEPボタンを押すと点灯します。



1-STEPボタンが押されるまで、選択したすべての洗浄および清掃ボタンの縁が点灯し、待機モードであることを示します。1-STEPボタンを押すと、選択したボタンが完全に点灯します。



### 洗浄メインブラシボタン

洗浄メインブラシをオンにする：洗浄メインブラシボタンを押します。ボタンが点灯します。

洗浄メインブラシをオフにする：洗浄メインブラシボタンを押します。ボタンが消灯します。



### 洗浄サイドブラシボタン (オプション)

洗浄サイドブラシをオンにする：洗浄サイドブラシボタンを押します。ボタンが点灯します。

洗浄サイドブラシをオフにする：洗浄サイドブラシボタンを押します。ボタンが消灯します。



### 洗浄バキューム ファン / スクイージーボタン

スクイージーを下げ、バキュームファンをオンにします。洗浄バキュームファン / スクイージーボタンを押します。ボタンが点灯します。

スクイージーを上げ、バキュームファンをオフにします。バキュームファン / スクイージーボタンを押します。ボタンが消灯します。



### スweepサイドブラシ

清掃サイドブラシをオンにする：スweepサイドブラシボタンを押します。ボタンが点灯します。

清掃サイドブラシをオフにする：スweepサイドブラシボタンを押します。ボタンが消灯します。





## 操作

### プレスイーブブラシボタン

プレスイーブブラシをオンにする：プレスイーブブラシボタンを押します。ボタンが点灯します。

プレスイーブブラシをオフにする：プレスイーブブラシボタンを押します。ボタンが消灯します。



### プレスイーブ バキュームファンボタン

プレスイーブバキュームファンをオンにする：プレスイーブバキュームファンボタンを押します。ボタンが点灯します。

プレスイーブバキュームファンをオフにする：プレスイーブバキュームファンボタンを押します。ボタンが消灯します。



### 洗浄液オン/オフボタン

洗浄液流量は、洗浄ブラシがオンの場合には常にオンのままとなるよう設計されています。角の周辺などで、洗浄液オン/オフボタンを押して、10秒間オフにできます。「洗浄液の流量設定」の項も参照してください。

洗浄液流量の終了（10秒間）：洗浄液オン/オフボタンを押します。すべての洗浄液流量インジケータが消灯します。（洗浄液流量は、10秒後に自動的に再起動します）。

洗浄液の流れを開始するには：洗浄液オン/オフボタンを押すと、洗浄液が流れ始めます。洗浄液インジケータライトが再度点灯し、洗浄液の流量は最後に使用した設定に戻ります。



### スクリーンロック

スクリーンロック機能は、画面を自動的にロックし、本機の操作中にマシンコントロールに誤って触れるのを避けることを目的としています。スクリーンロック設定は「管理者コントロール」で調整します。「スクリーンロックの設定/変更」の項を参照してください。

画面のロックを解除する：スクリーンロックアイコンを押します。





## 過酷環境スイッチ ( オプション )

過酷環境ボタンは、汚れがひどい場所で洗剤を補充します。

過酷環境ボタンを押すと、洗剤による洗浄が30秒間作動します。有効になると過酷環境ボタンが点灯し、タイムアウト/オフになると消灯します。過酷環境ボタンをさらに数秒押したままにして、洗剤による洗浄を行う過酷環境機能を5分間有効にします。

注記：過酷環境スイッチは、5分以上有効になるよう設定できます。テナント社のサービス代理店に連絡してください。



過酷環境洗浄の残り時間は、1-STEPボタンの中程に表示されます。タイマーが切れる、またはもう一度押すと、自動的にオフになります。

過酷環境スイッチがオンになると、ec-H2O洗浄モードは一時的にオフになります。過酷環境スイッチがタイムアウト/オフになると、ec-H2Oモードは自動的にオンになります。

過酷環境スイッチがオンの場合は、洗浄液フローとブラシ圧に最高/最強の設定が適用されますが、低い設定に調整できます。「ブラシ圧の設定」の項と「洗浄液の流量設定」の項を参照してください。

## ゾーンコントロールボタン

プロパネルを装備した機種は、異なる床清掃用途で、最大4つのプリセット洗浄/清掃設定を事前にプログラムできます。設定は、管理者モードを使用して事前に行う必要があります。ゾーンコントロールボタンのプログラムの項を参照してください。



必要なゾーンコントロールボタンを押します。選択したプリセットボタンが点灯し、ゾーン名がボタンの上に表示されます。洗浄液流量インジケータバー/調整ボタンブラシ圧カインジケータバーとブラシ圧カインジケータバー/調整ボタンがディスプレイに短時間表示され、選択したゾーンの設定を表示します。



## 操作

### リアビューカメラボタン

リアビューカメラボタンを押して清掃の実行状況をチェックします。リアビューカメラ画面は、コントロールパネルの画面に短時間表示されます。メインの操作画面は、リアビューカメラがタイムアウトした後、コントロールパネルに戻ります。コントロールパネルにタッチし、リアビューカメラをオフにしてメインの操作画面に戻ります。

安全のために：本機を使用する際には、必ず周りに気をつけてください。



方向スイッチが後退に入っており、本機が後退している間は常に、カメラが自動的にオンになります。

リアビューカメラは、回収タンクのパキウムホースが取り付けられている場所の上にあります。



### ヘルプボタン

安全のために：本機を使用する際には、動いている間にビデオ/ヘルプ画面にアクセスしないでください（プロパネル）。

ヘルプボタンを押して、ヘルプ画面にアクセスします。



必要なヘルプトピックについて、該当するボタンを押します。



言語選択ボタンを押して、言語画面に移動します。



ログイン/ログアウトボタンを押して、本機のオペレーティングシステムにログイン/ログアウトします。



コントロールヘルプボタンを押して、コントロールヘルプ画面にアクセスします。



スタートアップビデオボタンを押して、スタートアップビデオを視聴します。



詳細表示ボタンを押して、本機のオペレーティングシステム情報にアクセスします。



操作前チェックリストボタンを押して、操作前チェックリストにアクセスします。

言語選択ボタンを押します。一覧から適切な言語を選択し、本機のオペレーティングシステムの言語を変更します。選択した言語を示す旗が、画面上部に表示されます。



下向き矢印ボタンを押して、言語一覧を下に移動します。



上向き矢印ボタンを押して、言語一覧を上移動します。



左向き矢印ボタンを押して、前の画面に戻ります。



操作前チェックリストボタンを押して、操作前チェックリストにアクセスします。

コントロールヘルプボタンを押して、プロパネルコントロールについての情報にアクセスします。



左向き矢印ボタンを押して、メインヘルプ画面に戻ります。



ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。

詳細表示ボタンを押して、オペレーティングシステムソフトウェアについての情報にアクセスします。



下向き矢印ボタンを押して、言語一覧を下に移動します。



上向き矢印ボタンを押して、言語一覧を上移動します。



ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。



左向き矢印ボタンを押して、前の画面に戻ります。



右向き矢印ボタンを押して、一覧から本機の情報にアクセスします。

## 操作

### ビデオヘルプボタン

安全のために：本機を使用する際には、動いている間にビデオヘルプ画面にアクセスしないでください（プロパネル）。

注記：ビデオヘルプ画面/ビデオにアクセスする前に、本機を停止してください。本機が動いている間は、ビデオヘルプ画面/ビデオにアクセスしないでください。

ビデオボタンを押して、ビデオヘルプ画面にアクセスします。



適切なビデオボタンを押して、本機の特定のコンポーネントについてのヘルプビデオを表示します。



本機を回転ボタンを押して、本機の前または後ろ、その他の側面にあるビデオヘルプボタンにアクセスします。



ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。

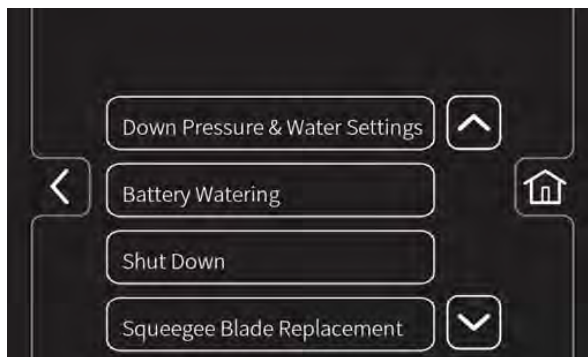


左向き矢印ボタンを押して、前の画面に戻ります。



ビデオ一覧ボタンを押して、すべてのヘルプビデオのテキスト一覧にアクセスします。

ビデオ一覧ボタンを押してビデオ一覧にアクセスした場合、適切なビデオを一覧から選択して表示します。



下向き矢印ボタンを押して、言語一覧を下に移動します。



上向き矢印ボタンを押して、言語一覧を上移動します。



ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。




左向き矢印ボタンを押して、前の画面に戻ります。





## PRO-CHECKの操作前チェックリストを実行


本機にプロパネルコントロールがある場合、Pro-Check操作前チェックリストを使用して事前にプログラムを行えます。オペレーターは、本機の実行前にプログラムを完了する必要があります。





 下向き矢印ボタンを押して、言語一覧を下に移動します。

 上向き矢印ボタンを押して、言語一覧を上移動します。


 完了 (チェックマーク) ボタンを押して、チェックリスト項目をチェックしたことを確認します。チェックリスト項目のチェックの際に問題が見つかった場合、問題発見 (X) ボタンを押します。

 ビデオヘルプボタンを押して、特定のチェックリスト項目に関連するビデオを表示します。

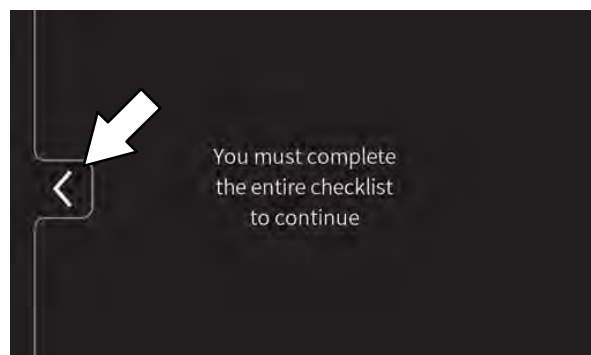
 チェックリストの完了後に本機の使用を開始する場合、Enterボタンを押します。

 ヘルプボタンを押して、Pro-Check操作前チェックリストヘルプ画面にアクセスします。



 左向き矢印ボタンを押して、メインヘルプ画面に戻ります。

オペレーターは、Pro-Check操作前チェックリストが完了するまで、メインの操作画面にアクセス/本機を使用することはできません。左向き矢印ボタンを押して、チェックリスト画面に戻ります。



## コントロールの操作 - すべての機種

### 非常停止ボタン

非常停止ボタンは、本機を即座に停止します。

本機の電源を切るには：非常停止ボタンを押します。

本機の電源を再始動するには：非常停止ボタンを右に回し、ボタンを解除します。キースイッチをオフの位置に回し、次にキーを右（時計回り）いっぱいまで回して放すと、オン位置になります。



非常停止ボタンは、緊急時のみ使用してください。このボタンは、通常の運転停止用には意図されていません。

### 方向スイッチ

前進または後進を選択するには、方向スイッチを使用します。走行ペダルを踏むと、本機は走行を開始します。



注記：方向スイッチが後進に入ると、アラームが鳴ります。

注記：オプションのフラッシュライト/後退アラームが装備されている機種のみ：オプションの後退ライトとアラームは、本機が後進しているときのみ作動します。

### ヘッドライト/フラッシュライトスイッチ（オプション）

ヘッドライトとフラッシュライトをオンにするには：ヘッドライト/フラッシュライトスイッチの上部を押します。

フラッシュライトをオンにするには：ヘッドライト/フラッシュライトスイッチの中間位置を押します。

すべてのライトをオフにする：ヘッドライト/フラッシュライトスイッチの下部を押します。



### 走行ペダル

走行ペダルを踏むと、本機は走行を開始します。



### ブレーキペダル

ブレーキペダルを踏み本機を停止します。



### パーキングブレーキペダル

パーキングブレーキペダルの上につま先を置き、ブレーキペダルとパーキングブレーキペダルの両方を踏み込み、パーキングブレーキを作動させます。ブレーキペダルを踏むと、パーキングブレーキは解除されます。



### 運転席

シートの前後位置は前後調整レバーで調整します。



シートベルト（デラックスシートオプションのみ）

安全のために：本機を始動する前に、シートを調節し、シートベルトを締めてください。





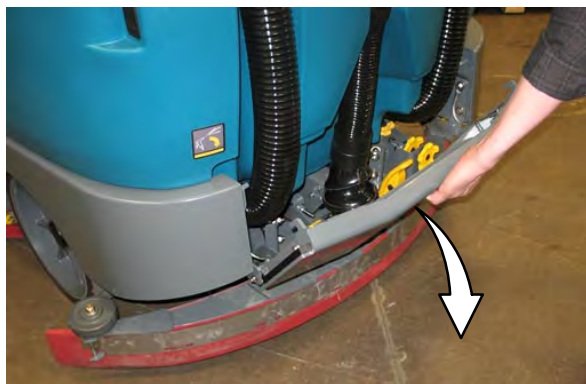
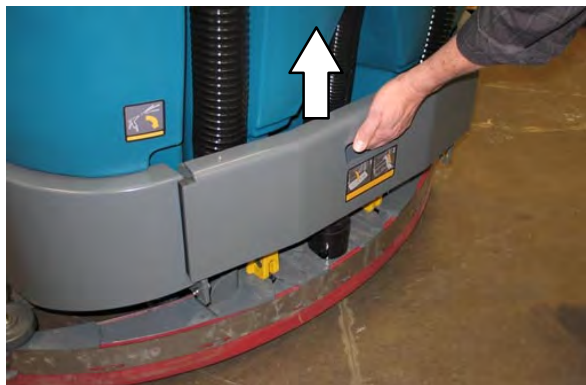
## 操作

### リアバンパードア/ステップ

回収タンクを清掃する場合、*リヤバンパードア/ステップ*から本機上部に簡単にアクセスできます。本機背面の下部のリヤスクイージーとスクイージーバキュームホース付近にアクセスするために、*リヤバンパードア/ステップ*を降ろすことができます。

洗浄液タンクと回収タンクの両方を完全に空にするには、*リヤバンパードア/ステップ*を降ろしてください。

*リヤバンパードア/ステップ*を開くには、ハンドルを使用して*リヤバンパードア/ステップ*を持ち上げ、下に向かって開きます。



注記：リヤバンパードア/ステップの踏み板の部分のみを踏み込みます。リヤバンパードア/ステップの両側の踏み込み禁止のマークが付いた部分は踏み込まないでください。



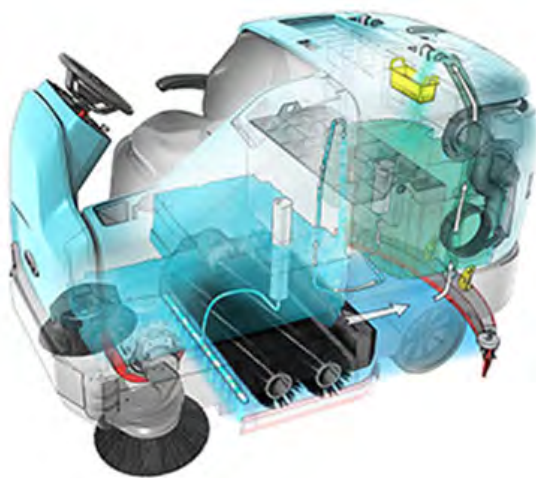
リヤバンパードア/ステップを閉じるには、ハンドルを使用して持ち上げ、上昇位置に固定します。



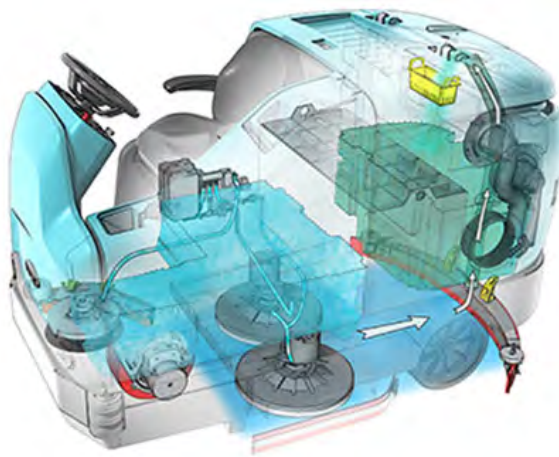
安全のために：リアバンパードア/ステップを降ろした状態で本機を操作しないでください。本機のいかなる部分にも同乗者を乗せないでください。



## 本機の概要



シリンダーブラシのT17



ディスクブラシのT17

1-STEPボタンを使用すると、すべての洗浄機能が作動し、すぐに洗浄を開始できます。

従来の洗浄モードでは、水と洗剤の混合液を使用して床を洗浄します。

オプションのES（リサイクル洗浄）モードでは、汚水回収タンクの使用済み洗浄液をESシステムでろ過し、洗浄液タンクに戻して再利用します。タンクに戻った洗浄液に洗剤が注入され、洗浄液の洗浄性能を再生させます。

オプションの*ec-H2O*（電解水）モードでは、通常の水がモジュールを通過し、酸素が水中に送り込まれ、電流が帯電されます。電気分解された水は、酸性とアルカリ性の混合液に変化して、pH値が中性のクリーナーが生成されます。この電解水は汚れに作用し、汚れを微細な粒子に分解して床面から遊離させるため、本機での洗浄および清掃が簡単になります。この変換された水は、汚水回収タンクに入ると通常の水に戻ります。*ec-H2O*システムは、ダブル洗浄や頑固な汚れの洗浄など、すべての用途に使用できます。

## ブラシとパッドについて

最良の結果を得るには、洗浄用途に適したブラシやパッドを使用してください。以下にブラシとパッドの説明と、それぞれの最適な用途を示します。

注記：使用するブラシまたはパッドのタイプを選択する場合、汚れの程度と種類が重要な要素になります。推奨品については、テナント社代理店にお問い合わせください。

**ナイロンブラシ（シリンダーおよびディスク）\***  
柔らかいナイロン製のブラシは、コーティングを施した床面の洗浄に適します。表面を削らずにクリーニングします。

**丈夫なポリプロピレン製のブラシ（ディスク）**  
丈夫なポリプロピレン製のブラシは、より強力な洗浄に適します。固着した汚れ、ごみ、砂などを簡単に剥しながら洗浄できます。

**ポリプロピレンブラシ（シリンダーおよびディスク）\***  
汎用ポリプロピレン製のブラシは、高光沢コーティング処理された床面を傷付けることなく、薄く堆積した汚れを洗浄します。

**タイネックスブラシ（シリンダーおよびディスク）\***  
研磨用の細粒が含まれたナイロンファイバーが、しみや固着した汚れを取り除きます。すべての床面で強力な効果があります。頑固な汚れ、油脂、およびタイヤ跡の洗浄に効果があります。

\*

このブラシは、サイドブラシにも提供されます。

**ストリッピングパッド（茶）**  
床の再コーティングの準備として床の表面仕上げを剥がすために使用します。

**洗浄パッド（青）**  
中程度から頑固な汚れの洗浄に適しています。埃、こぼれた液体、こすり傷を取り除きます。

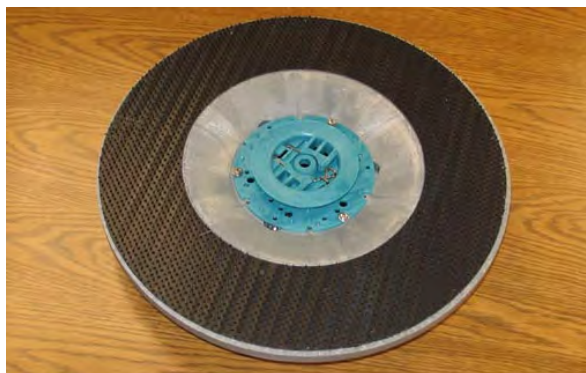
**バフパッド（赤）**  
床の表面仕上げを剥がさずに軽い汚れを洗浄するのに適しています。

**研磨パッド（白）**  
研磨面またはバニシ仕上げの床面に適しています。

**高生産性パッド（黒）**  
剥がれにくい表面仕上げや下塗り塗料を強引に剥がしたり、非常に頑固な汚れを洗浄するのに適しています。このパッドを使用するときは、突起付きパッドドライバーではなく、専用のグリップパッドドライバーを使用してください。

**下地調整用パッド（えび茶）**  
床面の塗り直しの場合に、化学薬品を使用しない床の表面仕上げの除去に適しています。

**グリップパッド ドライバー**  
グリップ面の裏当てにより、パッドの全面を使用することが可能で、パッドを突き刺さずに保持することができます。スプリング式のセンタリング装置は、すべてのテナント社製パッドに使用でき、素早く簡単にパッドを交換できます。



**突起付きパッドドライバー**  
標準パッドドライバーは、突起付きの裏面でパッドを保持します。このドライバーは、黒色のヘビーデューティパッド以外のすべてのテナント社製パッドに使用できます。



### 本機の運転時

---

大きなサイズのゴミは洗浄前に拾っておいてください。ブラシにまとわり付いたり絡まる可能性があるワイヤひも、荷造りバンド、大きな木片なども拾っておいてください。

できるかぎり直線に運転してください。本機を柱にぶつけたり、側面をこすらないよう注意してください。洗浄幅は数センチメートル程度重なるようにしてください。

本機作動中、ステアリングホイールを急に回さないでください。本機はステアリングホイールの動きに敏感に反応します。非常時以外、突然の方向転換は避けてください。

洗浄するときは、必要に応じて本機の数、ブラシの圧力、洗浄液の流量を調節してください。ブラシの圧力と洗浄液の流量を最低にすると、最高の性能を発揮します。

清掃能力が低い場合は、清掃を停止し、本マニュアルの「本機の故障診断」を参照してください。

使用後は、毎回「毎日の点検整備手順」を実施してください ( 本マニュアルの「本機の点検整備」参照 )。

斜面では、本機をゆっくり運転してください。下り坂ではブレーキペダルを使用し、本機の数速度を制御してください。斜面は下り方向ではなく、登り方向に洗浄してください。

安全のために：本機を使用するとき、斜面や滑りやすい場所ではゆっくり進んでください。

周囲温度が43\_C ( 110\_F ) 以上の場所で本機を運転しないでください。周囲温度が氷点下0\_C ( 32\_F ) 以下の場所で洗浄機能を使用しないでください。

安全のために：本機を使用する場合は、傾斜が8.7%以上の斜面での本機の使用、または傾斜が12%以上の斜面での輸送 ( GVWR ) は避けてください。

## 運転前チェックリスト

本機を操作する前に、次の手順を実施してください。

- 漏れ箇所を確認してください。
- 左側サイドスクイージーの磨耗や損傷を点検してください。
- メインブラシの磨耗や損傷を点検してください。メイン洗浄ブラシに絡まったワイヤ、糸くずなどを取り除いてください。
- シリンダーブラシを装備した機種:  
ごみトレイが空できれいなことを確認してください。
- サイドブラシオプションを装備した機種:  
洗浄ブラシに絡まったワイヤ、糸くずなどを点検してください。
- サイドブラシオプションを装備した機種:  
スクイージーの磨耗や損傷を点検してください。
- プレスイープオプションを装備した機種:  
洗浄ブラシに絡まったワイヤ、糸くずなどを点検してください。
- プレスイープオプションを装備した機種:  
ダストコントロールフィルターのバッグを点検してください。
- プレスイープオプションを装備した機種:  
ごみ容器が空であることを確認してください。
- ライブワンドオプションを装備した機種:  
ごみ取りトレイが空であることを確認してください。
- リヤスクイージーの磨耗や損傷を点検してください。
- 汚水回収タンクのカバーシールの磨耗や損傷を点検してください。
- バキュームファンのフィルターがきれいであることを確認してください。
- ESオプションを装備した機種:  
汚水回収タンク底部のESフィルターがきれいであることを確認してください。
- 右側スクイージーの磨耗や損傷を点検してください。
- 洗浄液タンクのカバーシールの磨耗や損傷を点検してください。

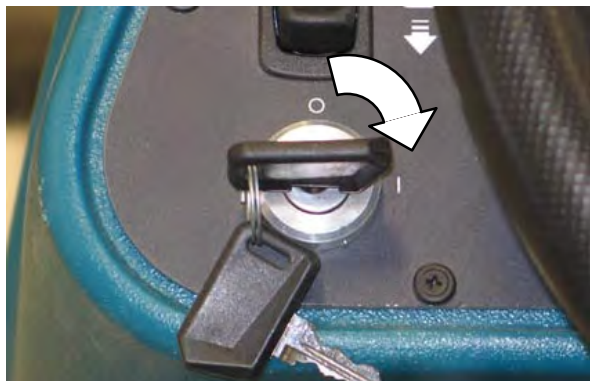
- *ec-H2O*洗浄:  
従来タイプの洗剤/還元剤がすべて排出され、洗浄液タンクのすすぎが完了していることを確認してください。
- *ec-H2O*洗浄:  
洗浄液タンクがきれいな冷水で満たされていることを確認してください。
- クラクション、ヘッドライト、テールライト、安全ライト、後退アラームを確認してください（装備されている場合）。
- ブレーキとステアリングが適正に作動することを確認してください。
- パーキングブレーキペダルが適切に動作するか点検してください。
- タイヤの損傷を点検してください。
- メンテナンス記録を点検し、メンテナンス要件を確認してください。



## 本機の始動

安全のために：本機を始動する前に、シートを調整し、シートベルトを締めてください（装備している場合）。

1. 運転席に座ってください。
2. キースイッチをオン位置に回します。



3. 必要に応じてライトを点灯してください。
4. 方向スイッチを運転する方向に入れます。
5. 走行ペダルを踏むと、本機は走行を開始します。

注記：本機は、オペレーターが運転席に座らないと走行を開始しません。

## 洗剤タンクの充填（オプション）

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. 洗剤タンクにアクセスするには、左シュラウドを開きます。
2. 洗剤タンクからキャップを取り外します。



3. 洗剤を洗剤タンクに入れます。



4. 洗剤タンクのキャップを再度取り付けます。

## 洗浄液タンクの充填

### 従来の洗浄モード

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. ハンドルを回し、洗浄液タンクカバーを持ち上げて取り外します。



2. 洗浄液タンクに少し水を入れます（水温は60 5C / 1405Fを越えないこと）。必要な量の洗剤を洗浄液タンクに入れます。さらに、洗浄液タンクのインジケータータブの約25 mm（1インチ）まで水を充填してください。



**警告：**引火性物質は、爆発や火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。

**注意：**従来の洗浄を行う場合、推奨する洗剤のみを使用してください。不適切な洗剤の使用が原因で本機が故障した場合、メーカーの保証は受けられません。

**注記：**泡が過剰に発生する場合は、推奨消泡剤を汚水回収タンクに入れてください。各洗剤の推奨事項は、テナント社のサービス代理店にお問い合わせください。

3. 洗浄液タンクカバーを閉じます。

### ec-H2O洗浄（ec-H2Oモード）

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. ハンドルを回し、洗浄液タンクカバーを持ち上げて取り外します。



2. 洗浄液タンクには、きれいな冷水（215C / 705F以下）のみを充填してください。温水を使用したり、従来タイプの床洗剤を追加したりしないでください。ec-H2Oシステムが故障する原因になります。洗浄液タンクのインジケータータブの約25 mm（1インチ）まで水を充填してください。



**警告：**引火性物質は、爆発や火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。

**注記：**従来タイプの洗剤を洗浄液タンクに入れた状態で、ec-H2Oシステムを使用しないでください。ec-H2Oシステムを始動する前に、洗浄液タンクの水を抜き取り洗浄し、きれいな冷水を充填してください。従来タイプの洗浄洗剤が原因で、ec-H2Oシステムが故障する可能性があります。

3. 洗浄液タンクカバーを閉じます。

## 操作

### ES (リサイクル洗浄) モード – 手動によるタンクの充填

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. 洗浄液タンクカバーを開きます。

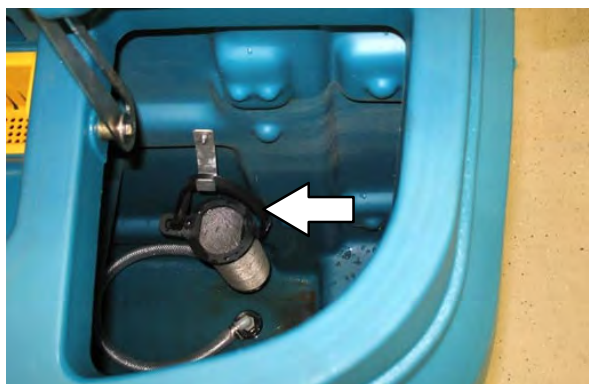


2. 洗浄液タンクに水を入れます (水温は605C / 1405Fを越えないこと)。洗浄液タンクのインジケータータブの約25 mm (1インチ) まで水を充填してください。

3. 洗浄液タンクカバーを閉じます。




4. ESフィルターの最上部に達するまで汚水回収タンクに水を充填してください。(水温は605C / 1405Fを越えないこと)。



5. 汚水回収タンクのカバーを閉じます。

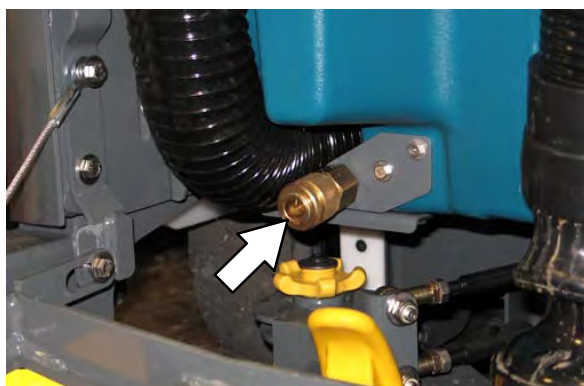
6. 洗剤タンクに洗剤を入れます。

 警告：引火性物質は、爆発や火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。


### 自動充填 (オプション)

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、機を水平な場所に止め、パーキングブレーキを掛けて電源を切ってください。

1. リヤバンパードア/ステップを下げます。
2. 水 (水温は605C / 1405Fを越えないこと) タンクのホースを自動充填の接続部に接続します。



3. キースイッチをオン位置に回し、水タンクを始動します。タンクは自動的に適切なレベルまで充填されます。

 警告：引火性物質は、爆発や火災の原因になります。タンクに引火性物質を入れないでください。

注意：リサイクル洗浄を行う場合、推奨する泡の少ない洗剤のみを使用してください。不適切な洗剤の使用が原因で本機が故障した場合、メーカーの保証は受けられません。

4. リヤバンパードア/ステップを上げます。



## ec-H2Oボタン (オプション)

ec-H2Oボタンでec-H2Oシステムを作動させるには、1-STEPボタンを使用します。ec-H2Oシステムをオンにするには、ec-H2Oボタンを押します。

過酷環境スイッチを装備したec-H2Oの機種のみ：  
過酷環境スイッチを装備した機種は、起動時にec-H2O設定が適用されます。

標準コントロールパネルを装備した機種：ec-H2Oボタンでec-H2Oシステムを作動させるには、1-STEPボタンを使用します。ボタンの上のライトが点灯します。



標準パネル

ec-H2Oボタンの真上のLED (発光ダイオード) ライトの下部にある点滅する赤色のライトは、ec-H2Oシステムを洗浄する必要があることを示します。「点検整備」の項の「ec-H2Oモジュールの洗浄手順」の項を参照してください。



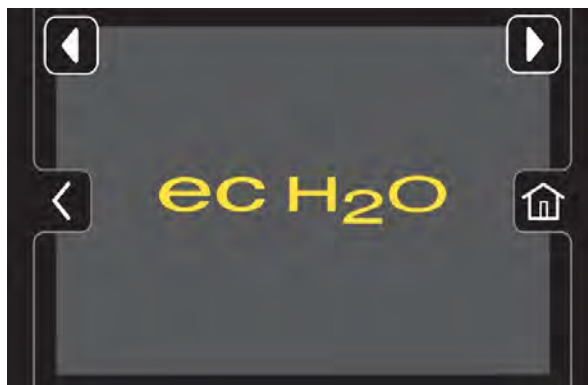
標準パネル

プロパネルコントロールを装備した機種：背景が黒から多色に変わり、斜め線がec-H2Oボタンから消え、ec-H2Oボタンが押され有効であることが表示されると、ボタンが点灯します。



Pro-Panel

ec-H2Oボタンが赤色に変わり、故障/アラートインジケータが点滅し、ec-H2Oエラーがある場合にec-H2Oエラーメッセージが画面に表示されます。



Pro-Panel

### ES ( リサイクル洗浄 ) ボタン ( オプション )

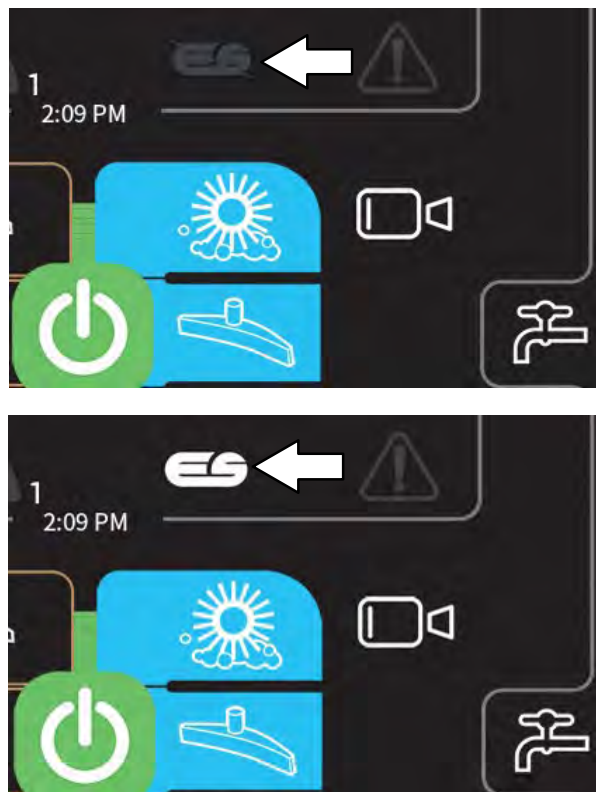
ESボタンでESシステムを作動させる場合は、1-STEPボタンを使用します。

標準コントロールパネルを装備した機種：ESボタンでESシステムを作動させる場合は、1-STEPボタンを使用します。ボタンの横のライトが点灯します。



標準パネル

プロパネルコントロールを装備した機種：斜めの線がESボタンから消え、ESボタンを押して有効なことが示されている場合、ボタンが点灯します。



Pro-Panel

## 洗浄ブラシ圧

通常の洗浄条件では、ブラシ圧を最小に設定してください。汚れがひどい洗浄では、高いブラシ圧に設定してください。走行速度と床の条件は、洗浄性能に影響を与えます。ブラシが磨耗している場合は、ブラシ圧を高くする必要があります。電源のオン/オフ時に、前回使用時の設定が適用されます。

### 洗浄ブラシ圧の設定 - 標準パネル

ブラシ圧の設定を変更する場合は、1-STEPボタンをオンにした状態でブラシ圧ボタンを押します。ブラシ圧インジケータバーに現在のブラシ圧の設定が表示されます。

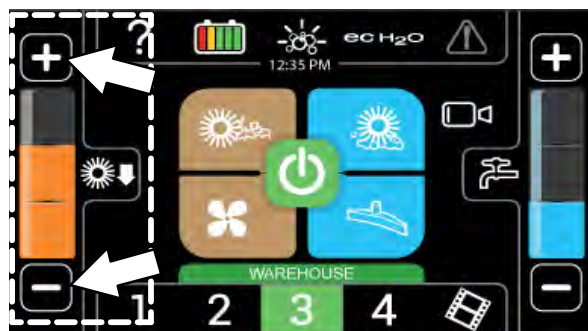


### 洗浄ブラシ圧の設定 - プロパネル

ブラシ圧ボタンを押して、ブラシ圧ボタン上げ(+)ボタン、ブラシ圧下げ(-)ボタン、ブラシ圧インジケータバーにアクセスします。



ブラシ圧上げ(+)ボタンとブラシ圧下げ(-)ボタンを使用して、ブラシ圧を変更します。ブラシ圧インジケータバーに現在のブラシ圧の設定が表示されます。

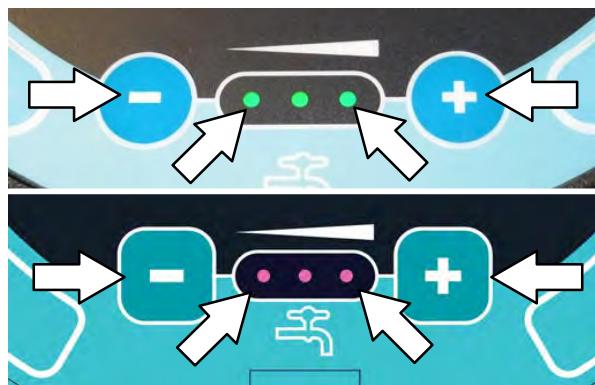


## 洗浄液流量

走行速度と床の条件は、洗浄性能に影響します。通常の洗浄の場合は、洗浄液の流量を最小（左側のライト）に設定します。汚れがひどい洗浄の場合は、洗浄液をより高い流量（中間または右側のライト）に設定してください。本機の電源のオン/オフ時に、前回使用時の設定が適用されます。

### 洗浄液流量の設定 - 標準パネル

1-STEPボタンをオンにし、洗浄液増量ボタン（+）または洗浄液減量ボタン（-）のいずれかを押すと、洗浄液の流量を設定できます。洗浄液流量インジケータライトには、現在の洗浄液の流量設定が表示されます。



### 洗浄液流量の設定 - プロパネル

洗浄液流量ボタンを押して、洗浄液増量ボタン（+）、洗浄液減量ボタン（-）、洗浄液流量インジケータバーにアクセスします。



洗浄液増量ボタン（+）と洗浄液減量ボタン（-）を使用して、洗浄液の流量レベルを設定します。洗浄液流量インジケータバーには、現在の洗浄液の流量設定が表示されます。

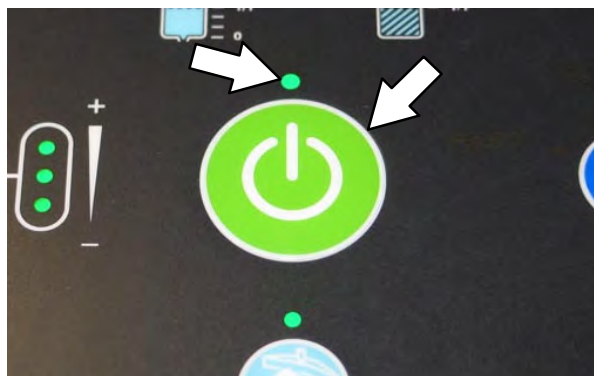




## 洗浄 - 標準パネル

安全のために：オペレーターマニュアルを読み、その内容を理解するまで、本機を操作しないでください。

1. 電源スイッチを入れます。
2. 1-STEPボタンを押します。ボタンの上のライトが点灯します。プリセットされた洗浄機能がすべてオンになります。



3. 必要に応じて、清掃する場所に必要な洗浄モードを起動します。
4. 必要に応じて、ブラシ圧と洗浄液流量を調整します。
5. 方向スイッチを前方にセットします。
6. 走行ペダルを踏み、洗浄を開始します。

注記：従来の洗浄方法では、ec-H2Oシステムを作動させないでください。従来タイプの洗浄洗剤が原因で、ec-H2Oシステムが故障する可能性があります。ec-H2Oシステムを始動する前に、洗浄液タンクの水を抜き取り洗浄し、きれいな冷水を充填してください。

ec-H2Oの機種のみ：ec-H2Oボタンの真上のLED（発光ダイオード）ライトの下部にある点滅する赤色のライトは、ec-H2Oシステムを洗浄する必要がありますを示します。「点検整備」の項の「ec-H2Oモジュールの洗浄手順」の項を参照してください。



**警告：** 引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください。

安全のために：本機を使用するとき、斜面や滑りやすい場所ではゆっくり進んでください。

注記：本機を後進させると、自動的にスクイージーが上がります。これにより、スクイージーの損傷が防止されます。

7. 走行ペダルを放し、ブレーキペダルで本機を停止します。
8. 1-STEPボタンを押すと、洗浄が停止します。ボタンの上のライトが消灯し、しばらくすると洗浄機能が停止します。

注記：本機運転中に、故障コードまたは警告コード（点滅している警告/故障インジケータライト、LCDに表示されるコード、アラーム）が発生した場合は、本機を停止し、故障の原因、および故障または警告を解消する修正措置について、本マニュアルの「故障インジケータ」または「警告コード」の項を参照してください。



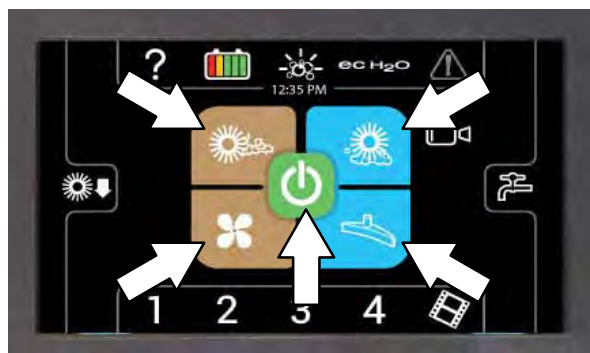
## 洗浄 - プロパネル

安全のために：オペレーターマニュアルを読み、その内容を理解するまで、本機を操作しないでください。

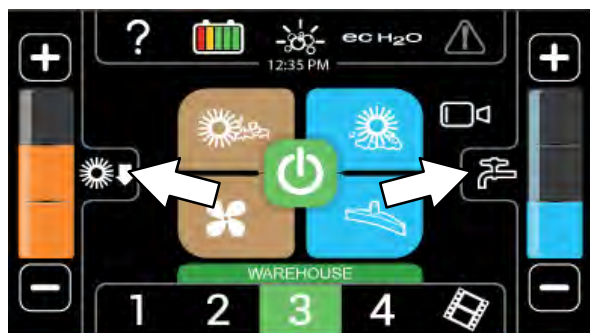
1. 本機を始動してください。
2. 該当する場合、本機にログインします。PRO-ID ログイン画面を参照してください。
3. 該当する場合、Pro-Check操作前チェックリストを実行してください。「Pro-Checkの操作前チェックリストを実行」を参照してください。

注記：洗浄前に、洗浄モード/設定の設定を確認してください。

4. 1-STEPボタンを押します。1-STEPボタンと選択したその他すべての洗浄/スweepボタンが点灯します。



5. 必要に応じて、洗浄ブラシ圧と洗浄液流量を調整してください。



清掃する場所で、必要に応じた洗浄モードまたはゾーン設定を起動します。

6. パーキングブレーキを解除してください。
7. 方向スイッチを前方にセットします。
8. 走行ペダルを踏み、洗浄を開始します。

注記：従来の洗浄方法では、ec-H2Oシステムを起動させないでください。従来のタイプの洗浄洗剤が原因で、ec-H2Oシステムが故障する可能性があります。ec-H2Oシステムを始動する前に、洗浄液タンクの水を抜き取り洗浄し、きれいな冷水を充填してください。



警告：引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください。

安全のために：本機を使用するとき、斜面や滑りやすい場所ではゆっくり進んでください。

注記：本機を後進させると、自動的にスクイージーが上がります。これにより、スクイージーの破損が防止されます。

9. リヤビューカメラボタンを随時押して、本機の後方の清掃の実行状況をチェックします。



10. 走行ペダルを放し、ブレーキペダルで本機を停止します。
11. 1-STEPボタンを押すと、洗浄が停止します。ボタンは点灯しなくなり、洗浄/清掃機能がその後停止します。

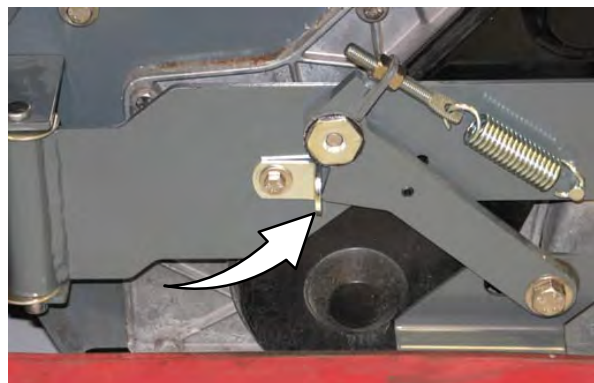
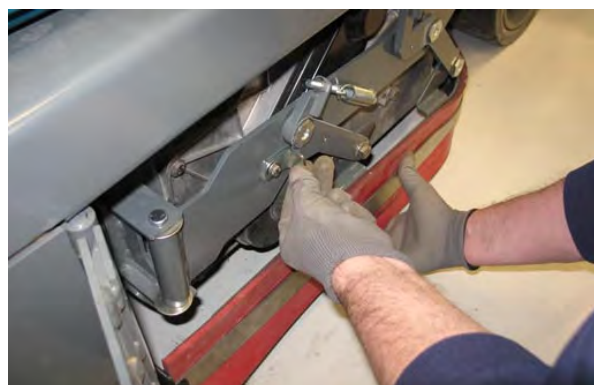
注記：本機操作中に故障やアラートコードが見つかった場合、本機を停止し、本マニュアルの「故障/アラート」の項を参照して原因を調べ、故障やアラートをなくすための是正措置を取ってください。

## ダブル洗浄

ダブル洗浄は、汚れのひどい場所を2回以上洗浄するプロセスです。1回目は、洗浄液を床に浸透させるために、リヤスクイージーとサイドスクイージーを上げて行います。汚れがひどい場所では、ダブル洗浄を実施します。

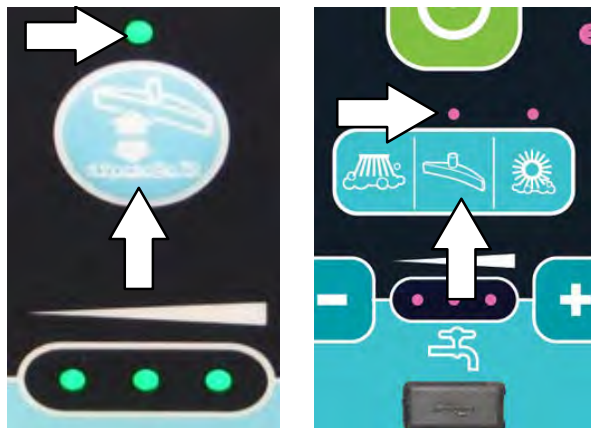
ダブル洗浄は、*ec-H2O*洗浄システム（オプション）、リサイクル洗浄システム（オプション）、または従来の洗浄方法を使用して実施できます。

手動で両側のスクイージーアセンブリーを持ち上げ、スクイージーが上昇位置に固定されるように、ダブル洗浄ラッチをセットします。



1-STEPボタンを押し、次にバキュームファン/スクイージーボタンを押します。バキュームファン/スクイージーボタンが消灯しスクイージーが上がり、次に、バキュームファンの動作が停止します。汚れのひどい場所を洗浄します。床を洗浄液で湿らせ、5～15分待ってください。

標準パネルを装備した機種：1-STEPボタンを押し、次にバキュームファン/スクイージーボタンを押します。バキュームファン/スクイージーボタンが消灯しスクイージーが上がります。次に、バキュームファンの動作が停止します。



プロパネルを装備した機種：1-STEPボタンを押し、次にバキュームファン/スクイージーボタンを押します。バキュームファン/スクイージーボタンが消灯しスクイージーが上がります。バキュームファンの動作が停止します。



汚れのひどい場所を洗浄します。床を洗浄液で湿らせ、5～15分待ってください。

安全のために：本機を使用するとき、斜面や滑りやすい場所ではゆっくり進んでください。

2回目の床の洗浄前に、サイドスクイージーを下げ、バキュームファン/スクイージーボタンを押してリヤスクイージーを下げ、バキュームファンを作動させてください。ボタンの上のライトが点灯します。2回目の床の洗浄では、洗浄液を回収します。



**警告：**引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください。

*注記：*必要に応じ、床の2回目の洗浄では、洗浄液の流量を減らしてください。

*注記：*ダブル洗浄は、洗浄液が棚の下に流れたり、商品を損傷するような場所では推奨しません。

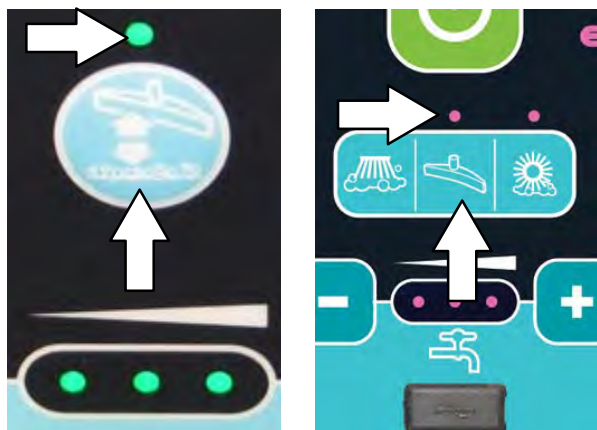
## 水回収モード（洗浄なし）

本機は、洗浄を行わずに水や非引火性の液体を回収することができます。

**警告：**引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください。

水や非引火性の液体を回収する前に、1-STEPボタンが有効でその他すべての清掃機能がオフになっていることを確認してください。

標準コントロールパネルを装備した機種：洗浄/バキュームファン/  
スクイージーボタンを押します。ボタンの上のライトが点灯し、スクイージーが下がります。次に、バキュームファンが作動を開始します。こぼれた水または非引火性の液体を回収します。



プロパネルを装備した機種：洗浄/バキュームファン/  
スクイージーボタンを押します。ボタンの上のライトが点灯し、スクイージーが下がります。バキュームファンが作動を開始します。こぼれた水または非引火性の液体を回収します。



## 洗浄の停止

1. 本機の運転中に、1-STEPボタンを押すと、クリーニングが停止します。スクイージーが短時間床に下がったまま洗浄ヘッドの水が吸引され、その後上がります。
2. 走行ペダルを放し、ブレーキペダルで本機を停止します。



## 汚水回収タンクの排水と清掃

汚水回収タンクの排水と清掃は、毎日、または汚水回収タンク満杯故障コードがLCDディスプレイに表示されたときに行ってください。

タンク外側の清掃には、ビニールクリーナーを使用してください。

1. 本機を床の排水路の近くまで移動します。
2. リアバンパードア/ステップを下げます。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

3. 汚水回収タンクからドレンホースを取り外します。

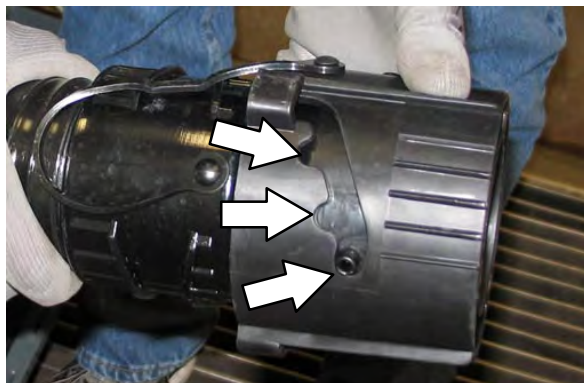


4. 床の排水路の近くでホースを持ち、ドレンノズルを回して開け、ホースを床の排水路の近くに置きます。

注記：ドレンホースノズルを開ける前に、ノズルの先端が確実に排水路に向けられていることを確認してください。

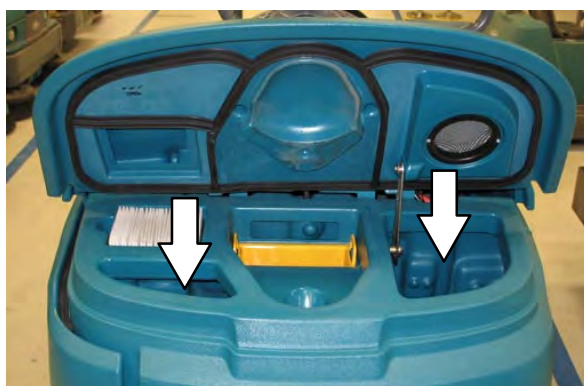


5. 必要に応じてドレンノズルを回し、流量を調整してください。



6. 汚水回収タンクのカバーを持ち上げ、きれいな水で汚水回収タンクを洗浄してください。タンク最上部の近くのセンサーも洗浄してください。

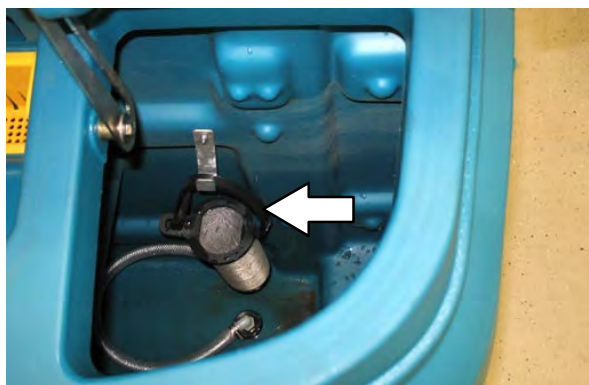
ESを装備した機種のみ：第2口アーセンサー（表示省略）を清掃します。





7. ES

装置：回収タンク底部のESフィルターを洗浄してください。

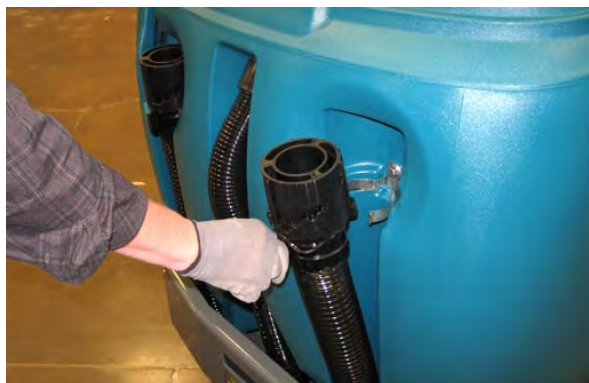


8. 漏れを防止するために、ノズルのプラグ部品とドレンホースカフの内側を清掃します。



注記：タンクの洗浄に蒸気を使用しないでください。高温により、タンクと部品が損傷することがあります。

9. ドレンカフを回して閉じ、ドレンホースを汚水回収タンクのクリップに差し込みます。



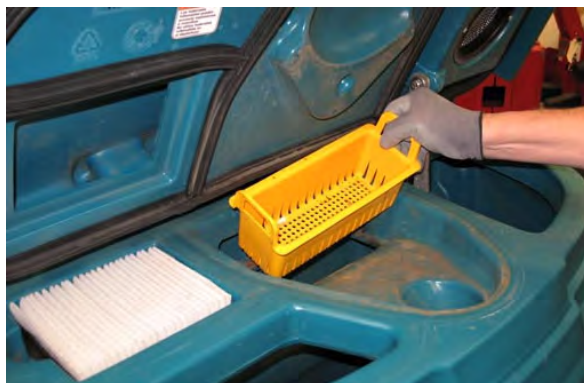
10. バキュームファンのフィルターは毎日点検してください。フィルターは、湿った布で汚れを落としてください。汚れがひどい場合はホースで水をかけてください。フィルターが完全に乾いてから本機に取り付けてください。



11. バキュームスクリーンを汚水回収タンクカバーから取り外し、スクリーンをすすぎます。



12. ごみトレーを汚水回収タンクから取り外し、トレーの中のごみをすべて洗い流します。



13. 汚水回収タンクのカバーを閉じます。

14. シリンダー洗浄ヘッド：ごみ容器を取り外して清掃します。清掃が終わったら、ごみ容器を洗浄ヘッドに戻してください。



注記：ごみ容器を取り外すときは、洗浄ヘッドを約25mm ( 1 in ) 下げる必要があります。

注記：ごみ容器は、本機の右側以外から取り外すことができません。

15. リヤバンパードア/ステップを上げます。

## 洗浄液タンクの排水と清掃

ES（リサイクル洗浄）を装備した機種のみ：毎日、洗浄液タンクを空にし、清掃してください。

タンク外側の清掃には、ビニールクリーナーを使用してください。

1. 本機を床の排水路の近くまで移動します。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

2. リアバンパードア/ステップを下げます。
3. 洗浄液タンクからドレンホースを取り外します。

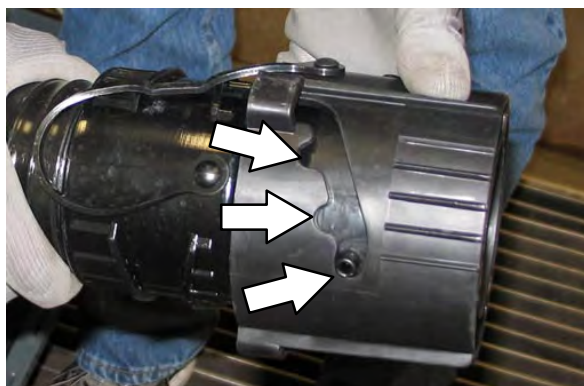


4. 床の排水路の近くでホースを持ち、ドレンノズルを回して開け、ホースを床の排水路の近くに置きます。

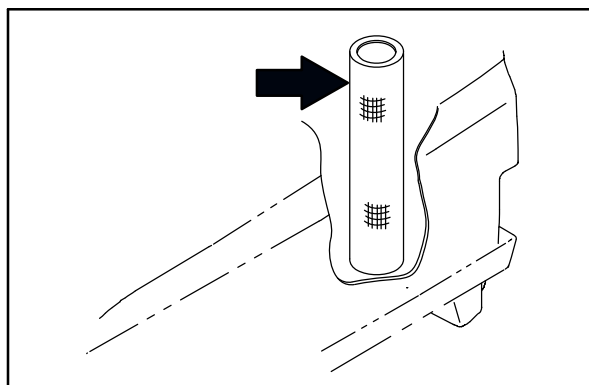
注記：ドレンホースノズルを開ける前に、ノズルの先端が確実に排水路に向けられていることを確認してください。



5. 必要に応じてドレンノズルを回し、流量を調整してください。



6. ハンドルを回し、洗浄液タンクのカバーを持ち上げ、きれいな水で洗浄液タンクを洗浄してください。タンク底部のESフィルターを洗浄してください。



注記：タンクの洗浄に蒸気を使用しないでください。高温により、タンクと部品が損傷することがあります。



## 操作

7. 漏れを防止するために、ノズルのプラグ部品とドレンホースカフの内側を清掃します。



8. ドレンカフを回して閉じ、ドレンホースを洗浄液タンクのクリップに差し込みます。

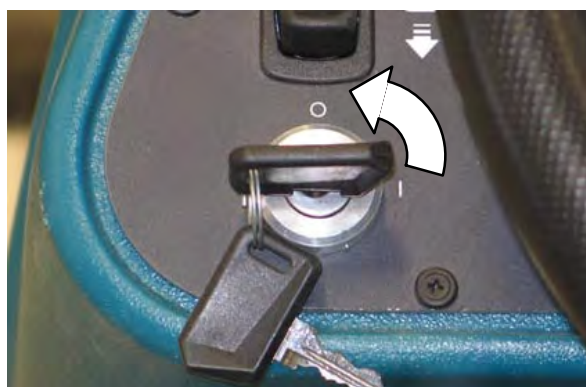


9. リヤバンパードア/ステップを上げます。

### 本機の電源を切る

1. 走行ペダルから足を離します。
2. 1-STEPボタンを押すと、洗浄が停止します。
3. ブレーキペダルを踏むと、本機が停止します。
4. キースイッチをオフ位置に回し、キーを取り外してください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。



## 故障インジケータ/警告コード

機械/電気的な問題が本機にある場合、故障/アラート警告がオペレータに表示されます。

すべての故障コードがアラームを鳴らし、操作員に故障の発生を知らせます。

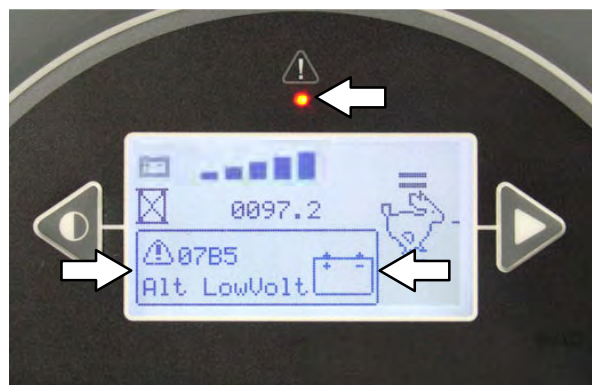
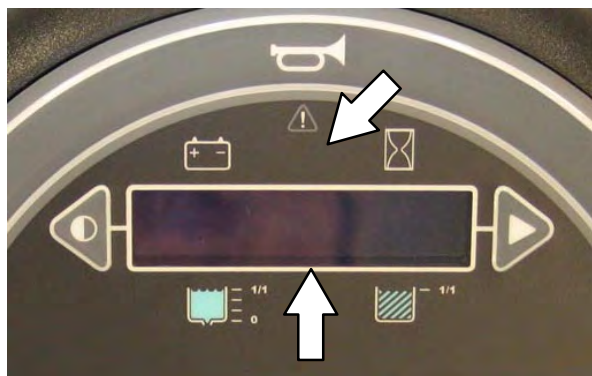
故障/アラートインジケータをリセットするには、本機を停止してから故障/アラートの原因を取り除いてください。故障インジケータは、本機を再始動するとリセットされます。

下記の故障/アラートインジケータの表を参照し、故障/アラートの原因と修復措置を特定してください。

### 故障/アラートインジケータ - 標準パネル

本機は赤色のインジケータライトとLCD（液晶ディスプレイ）の2種類の視覚インジケータを備えています。

赤色のインジケータライトは故障が発生すると点滅し続けます。





LCDは故障コードを表示します。故障が2種類以上あると、それぞれの故障コードを交互に表示します。

### 故障/アラートインジケータ - プロパネル

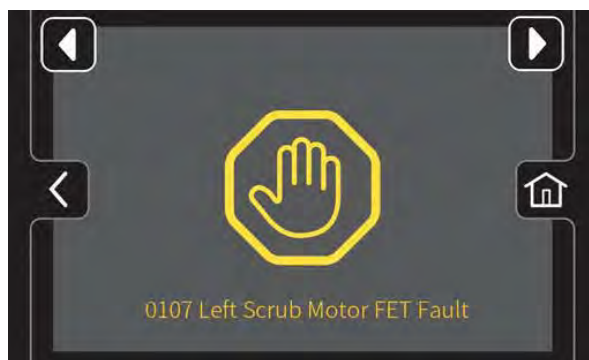
故障/アラートが発生したことを示す故障/アラートインジケータボタンが点滅し続けます。多色の背景が、黒色に変わります。





 点滅する赤色の故障インジケータボタンを押して、故障を表示します。故障/アラート画面がディスプレイに表示されます。


 点滅している黄色のアラートインジケータボタンを押してアラートを表示します。故障/アラート画面がディスプレイに表示されます。


故障/アラートテキストが、画面中央のアイコンの下に表示されます。



 右矢印ボタンを押して、故障/アラートで先に進みます。

 左矢印ボタンを押して、故障/アラートで戻ります。

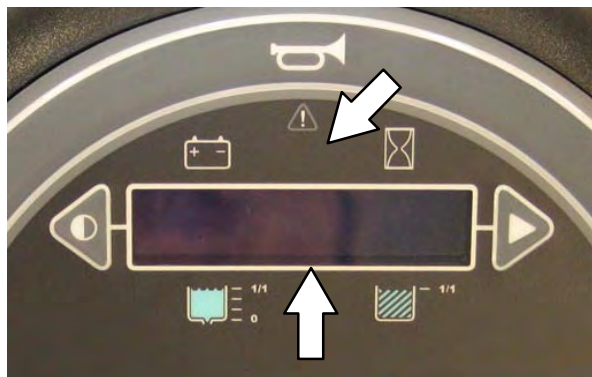
 ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。

 左向き矢印ボタンを押して、前の画面に戻ります。



## 操作

故障/警告コード  
( S/N 000000-012999 )



下記の表を参照し、故障の原因と修復措置を特定してください。

故障コード ( S/N 000000-012999 ) ( LCDの表示 )	原因	処置
F1: Rcv Tank Full	汚水回収タンクが満杯です	汚水回収タンクを空にしてください
F2: Sol Tank Empty	洗浄液タンクが空です	洗浄液タンクを充填してください。
F3: Batt Very Low	バッテリー残量の低下	バッテリーを充電してください
F4: F/L Br Flt##	フロントの左ブラシが作動していない	本機を停止し、再始動してください。 故障コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください
F5: R/R Br Flt##	右側のリヤブラシが作動していない	
F6: Vac 1 Short	バキュームファン1が作動していない	
F7: Vac 2 Short	バキュームファン2が作動していない	
F8: Check Brushes	ブラシが作動していない	ブラシを確認します。 磨耗が激しいブラシを交換します。 本機を停止し、再始動してください。 故障コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください

故障コード ( S/N 000000-012999 ) ( LCDの表示 )	原因	処置
F9: Propel Error	すべての洗浄機能が操作不可能 ( 1-STEPが機能しない )	本機を停止し、再始動してください。 故障コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください
F10: Pickup Error	すべての洗浄機能が操作不可能 ( 1-STEPが機能しない )	
F11: Scrub Error	すべての洗浄機能が操作不可能 ( 1-STEPが機能しない )	

W1: Batt. 低	バッテリー残量の低下。	バッテリーを充電してください。
W2: Unavailable	ESもec-H2Oも使用できない。	選択した洗浄モード ( ES/ec-H2O ) が使用できません。本機が走行モードになっている場合に表示されます ( 1-STEPが使用できません )。
W3: No [Side / Sweep] Config	サイドブラシが無効です。	サイドブラシは使用できません。プレスイープは使用できません。
W4: Not Active	選択した機能が無効です。	すべての機能を起動するには、1-STEPボタンを押します。
W5: Solution Off	洗浄液供給が使用できません。	洗浄液供給を起動してください。
W6: Brake On	パーキングブレーキが掛っています。	パーキングブレーキを解除してください。
W7: Side Br Wrn##	洗浄サイドブラシが操作不可。	本機を停止し、再始動してください。 故障コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください。
W8: L Side Br Short	左の清掃サイドブラシが操作不可。	
W9: R Side Br Short	右の清掃サイドブラシが操作不可。	
W10: L Sweep Br Shrt	左のプレスイープブラシが操作不可。	
W11: M Sweep Br Shrt	メインプレスイープブラシが操作不可。	
W12: R Sweep Br Shrt	右のプレスイープブラシが操作不可。	

# 操作

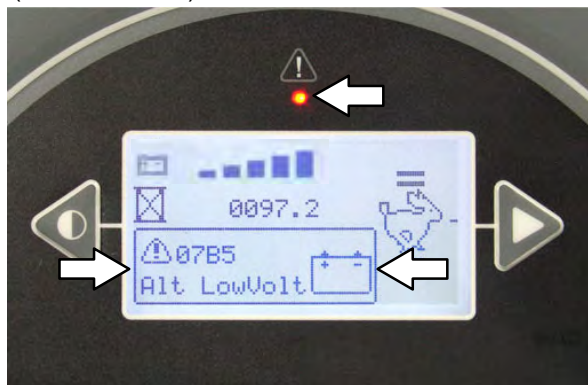
故障コード ( S/N 000000-012999 ) ( LCDの表示 )	原因	処置
W13: Open [Frnt/Left] Br	フロントメインブラシが操作不可。	対応するサーキットブレーカーを点検してください。 ハーネスの接続を点検してください。ハーネスが外れている場合は、接続してください。 故障コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください。
W14: Open [Rear/Rght] Br	リヤメインブラシが操作不可。	
W15: Open Side Brush	洗浄サイドブラシが操作不可。	
W16: Open L Side Br	左の清掃サイドブラシが操作不可。	
W17: Open R Side Br	右の清掃サイドブラシが操作不可。	
W18: Open L Sweep Br	左のプレスイープブラシが操作不可。	
W19: Open M Sweep Br	メインプレスイープブラシが操作不可。	
W20: Open R Sweep Br	右のプレスイープブラシが操作不可。	
W21: Sweep Vac Shrt	プレスイープバキュームファンが操作不可。	本機を停止し、再始動してください。 故障コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください。
W22: Open Vac 1	バキュームファン1が操作不可。	対応するサーキットブレーカーを点検してください。 ハーネスの接続を点検してください。ハーネスが外れている場合は、接続してください。 故障コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください。
W23: Open Vac 2	バキュームファン2が操作不可。	
W24: Open Sweep Vac	プレスイープバキュームファンが操作不可。	
W25: SqueegeeStall	リヤスクイージーが下がらない。	スクイージー/スクイージーアクチュエーターに物が挟まっていないことを確認してください。障害物を取り除いてください。 故障コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください。
W26: Side Stall	洗浄サイドブラシ/サイドブラシモーターの回転が妨げられています。	ブラシ/ブラシモーターに物が挟まっていないことを点検してください。障害物を取り除いてください。 故障コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください。
W27: LSide Stall	左の清掃サイドブラシ/サイドブラシモーターの回転が妨げられている。	
W28: RSide Stall	右の清掃サイドブラシ/サイドブラシモーターの回転が妨げられている。	
W29: Sweep Stall	プレスイープが下がらない。	プレスイープアクチュエーターに物が挟まっていないことを確認してください。障害物を取り除いてください。 故障コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください。
W30: DetPumpShort	洗剤ポンプが操作不可。	本機を停止し、再始動してください。 警告コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください。
W31: ES PumpShort	ESポンプが操作不可。	
W32: SidePumpShrt	洗浄サイドブラシポンプが操作不可。	
W33: Ec Pump Shrt	ec-H2Oポンプが操作不可。	
W34: DetPumpOpen	洗剤ポンプが操作不可。	対応するサーキットブレーカーを点検してく

故障コード ( S/N 000000-012999 ) ( LCDの表示 )	原因	処置
W35: ES PumpOpen	ESポンプが操作不可。	対応するサーキットブレーカーを点検してください。 ハーネスの接続を点検してください。ハーネスが外れている場合は、接続してください。 <del>故障コードが消えない場合は、本機の使用を</del>
W36: SidePumpOpen	洗浄サイドブラシポンプが操作不可。	
W37: Ec Pump Open	<i>ec-H2O</i> ポンプが操作不可。	本機を停止し、再始動してください。 警告コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください。
W38: [Side / Sweep] Offline	清掃/洗浄サイドブラシまたはプレスイープが操作不可。	
W39: ECH2O Offline	<i>ec-H2O</i> システムが操作不可。	本機を停止し、再始動してください。 警告コードが消えない場合は、本機の使用を停止し、テナント社のサービス代理店に連絡してください。

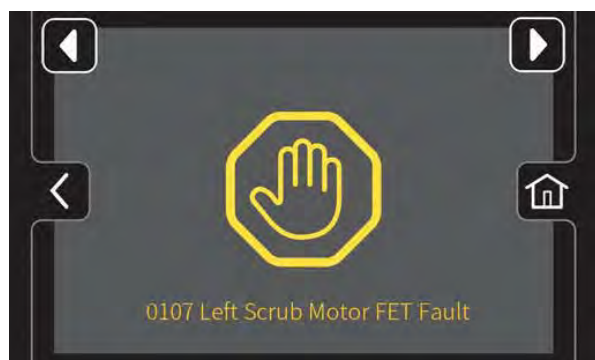
注記：その他すべての故障コードについては、テナント社のサービス代理店に連絡してください。

## 操作

故障/警告コード  
( S/N 013000- )



標準パネル



プロパネル

下記の表を参照し、故障の原因と修復措置を特定してください。

故障コード (S/N 013000- ) (LCDの表示)	原因	措置
0010 パッキングブレキがオン	パッキングブレキが掛っています。	パッキングブレキを解除してください。
0701 ECH2Oフラッシュが必要	Ec-H2Oシステムに不純物が詰まっています	ec-H2Oシステムをフラッシュ
0781 洗剤タンクが空	洗剤タンクが空です	洗剤タンクを充填します
0790 洗剤液タンクが空です	洗剤液タンクが空です	洗剤液タンクを充填してください。
0791 回収タンクが一杯です	汚水回収タンクが一杯です	汚水回収タンクを空にしてください
0792 洗剤液オフ	洗剤液供給が使用できません。	洗剤液供給を起動してください。
07A4 シートが空です	オペレーターが席にいません	シートに戻る
FF11 低バッテリー警告	バッテリー量の低下。	充電
FF12 超低バッテリー警告	バッテリー量の低下	充電
FFF0 E-ストップが押されました	緊急停止が作動しました	緊急停止解除

注記：その他すべての故障コードについては、テナント社のサービス代理店に連絡してください。



## オプション

### スプレーノズル (オプション)

スプレーノズルは、本機とその周囲の洗浄に使用します。スプレーノズルには、洗浄液タンクから水/洗浄液が供給されます。

安全のために：点検整備する場合、電気部品の近くで本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. 電源スイッチを入れます。
2. スプレーノズルスイッチの上側を押して、スプレーノズルをオンにします。スプレーノズルがオンになると、スイッチのライトが点灯します。



3. スプレーノズルにアクセスするには、左シュラウドを開きます。

4. スプレーノズルを本機の後部から取り出し、必要な箇所を清掃してください。



5. 清掃終了後は、丁寧にホースを引き、スプレーノズルを本機の窪みに収納してください。

注記：スプレーノズルを本機に収納するときは、スプレーノズルをしっかりと持ちホースを操作してください。スプレーノズルのホースから手を離して本機に乱暴に収納すると、本機やスプレーノズルアセンブリが損傷することがあります。

6. スプレーノズルスイッチの下側を押して、水の供給を停止します。スプレーノズルがオフになると、スイッチのライトが消灯します。

注記：洗浄を続ける前に、スプレーノズルスイッチがオフになっていることを確認してください。洗浄中にスイッチがオンになっていると、スプレーノズルのポンプが損傷することがあります。

## 高圧ウォッシャー（オプション）

高圧ウォッシャーは頑固な汚れの洗浄に使用します。高圧ウォッシャーを使う場合は、洗浄液タンクの洗剤は使用しないでください。高圧ウォッシャーが損傷する可能性があります。

**注記：**高圧ウォッシャーを初めて使う前、または洗浄液タンクが完全に空になった場合、高圧ウォッシャーポンプのプライミングを行ってください。「高圧ウォッシャーポンプのプライミング」を参照してください。

**安全のために：**点検整備する場合、電気部品の近くで本機に高圧スプレーやホースで水をかけないでください。

**安全のために：**本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. 本機をオフにして、パーキングブレーキをかけてください。

**注記：**パーキングブレーキがかかっていないと高圧ウォッシャーは動作しません。

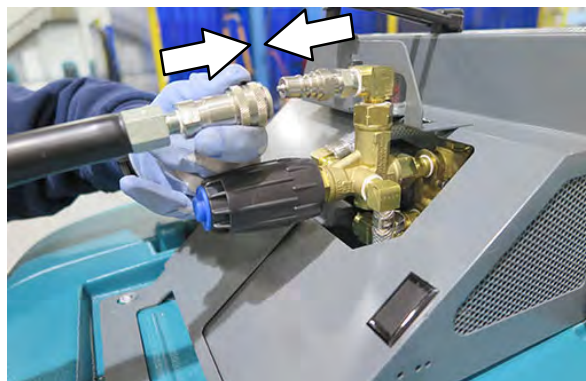
2. ホースタイの留め金を外し、高圧ウォッシャーホースを本機から外します。



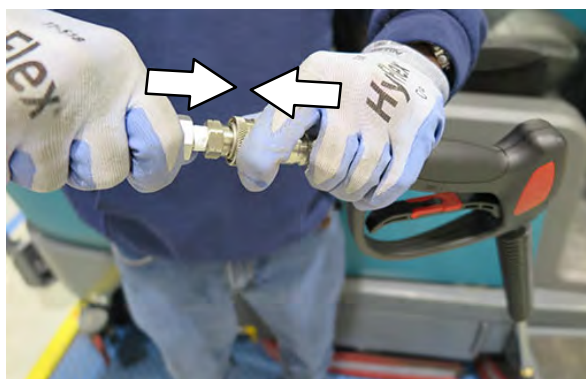
3. 高圧ウォッシャーワンドタイの留め金を外し、ワンドを本機から外します。



4. ホースを高圧ウォッシャーシステムにつないでください。



5. ホースのもう一方の端をワンドに接続してください。



6. ワンドのノズルを、必要な圧力に調節してください。

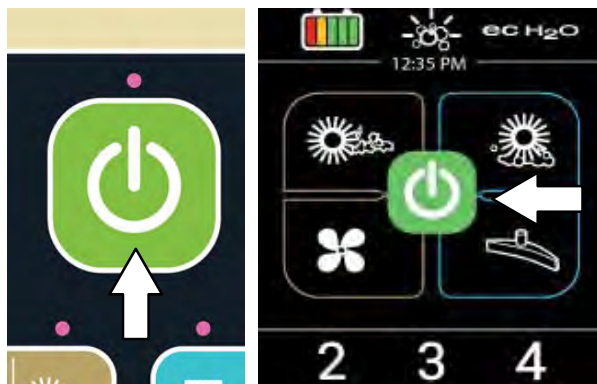
低圧にする場合はノズルを引き出し、高圧にする場合はノズルを押し込んでください。またノズルを左右に回して、スチームまたはファンに切り替えてください。



7. 本機を始動してください。



8. 1-STEPスクラブボタンがオフになっていることを確認してください。



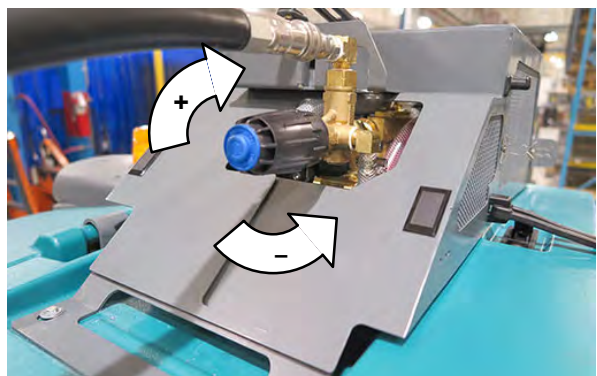
標準パネル

プロパネル

9. 高圧ウォッシャースイッチの上部を押して、高圧ウォッシャーをオンにします。高圧ウォッシャーがオンになると、スイッチのライトが点灯します。



10. 必要な場合は、圧力を調整してください。圧力を上げるときはノブを時計回りに回し、圧力を下げるときは反時計回りに回してください。



注記：システムでこの圧力調整をする前に、ワンドで圧力を調整してください。

11. レバーを握って、清掃を開始してください。

**警告：**他の人や動物に向けて噴霧しないでください。重傷を引き起こすことがあります。保護眼鏡を着用してください。スプレイヤーは必ず両手で持ってください。



12. 清掃が終わったら、レバーを離してください。

13. 高圧ウォッシャーをオフにする場合は 高圧ウォッシャースイッチの下部を押してください。

14. 高圧ウォッシャーワンドを安全な方向に向け、レバーを握ってシステムから圧力を解放します。

15. 本機の電源を切ります。

16. ホースとワンドを外し、正しい保管場所に戻してください。

## 操作

### 高圧ウォッシャーポンプのプライミング

初めて操作する前、または洗浄液タンクが完全に空になった場合、高圧ウォッシャーポンプのプライミングを行う必要があります。システムのプライミングを行うには、高圧ウォッシャーポンプを操作する前に、水/洗浄液を高圧ウォッシャーポンプに送るために洗浄液ポンプを起動する必要があります。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

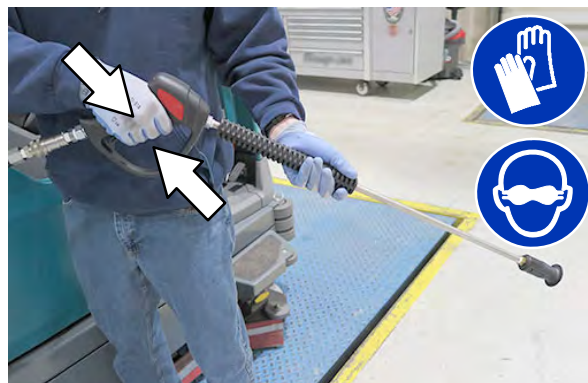
1. 本機をオフにして、パーキングブレーキをかけてください。
2. リヤホイールを固定します。
3. ホースとワンドを高圧ウォッシャーシステムにつないでください。
4. 本機を始動してください。
5. パーキングブレーキを解除してください。

注記：これにより、ポンプ内に水/洗浄液がない状態で作動することで高圧ポンプが損傷するのを防ぎます。

6. 高圧ワッシャースイッチの上部を押して、洗浄液ポンプを起動します。高圧ウォッシャーがオンになると、スイッチのライトが点灯します。



7. 水/洗浄液がワンドから流れ出るまで、レバーを握り続けます。



8. レバーを離します。
9. 高圧ウォッシャーをオフにする場合は 高圧ウォッシャースイッチの下部を押してください。
10. 本機をオフにして、パーキングブレーキをかけてください。
11. 高圧ワッシャーポンプのプライミングが完了しました。

## ウェットバキュームワンド (オプション)

バキュームワンドを使用すると、本機が届かない場所を清掃できます。

**警告：**引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. リアバンパードア/ステップを下げます。
2. バッテリー室のカバーの上にある保管トレーからバキュームワンド構成部品を取り外します。



3. バキュームホースをリヤスクイージーから取り外してください。



4. バキュームワンドホースをリヤスクイージーバキュームホースに取り付けます。



5. バキュームワンドノズルをバキュームワンドノズルホースに取り付けます。



6. バキュームワンドハンドルをバキュームワンドノズルに挿入し、締め付けてください。





## 操作

7. バキュームワンドホースカラーをバキュームホースハンドルに固定します。

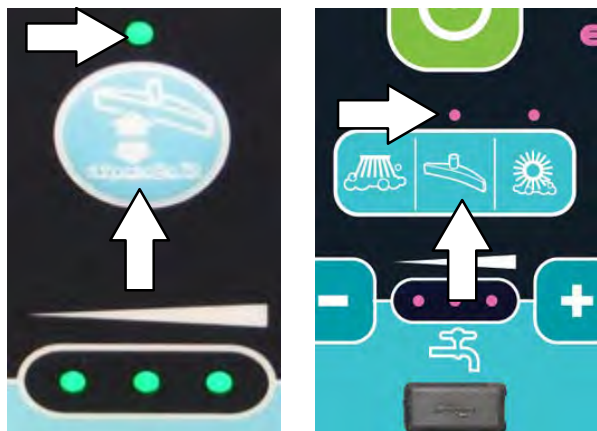


8. バキュームワンドハンドルを必要な長さに伸ばし、回して締め付けます。



9. 電源スイッチを入れます。

10. バキュームファン/スクイージーボタンを押して、バキュームファンをオンにします。スクイージーが完全に下がります。



標準パネル



Pro-Panel

11. 床をバキュームで清掃します。



12. バキュームの使用が終わったら、バキュームファン/スクイージーボタンを押してバキュームファンを停止します。スクイージーが上がります。

13. 本機の電源を切ります。

14. バキュームワンドホースをリヤスクイージーバキュームホースから取り外し、バキュームワンドを分解します。

15. バキュームワンド構成部品をバッテリー室のカバーの上にある保管トレーに戻します。

16. バキュームホースをリヤスクイージーに取り付けてください。

17. リヤバンパードア/ステップを上昇位置に上げ、リヤバンパーに固定します。

## ライブワンド (オプション)

ライブワンドは別のバキュームシステムを使用して、洗浄システム内に絡まる乾いたごみを取り出します。ドライバキュームシステムは、マシンとは別に、あるいはオペレーターが運転席に座っているマシン上で使用することができます。

### ライブワンドの操作 (本機から離して使用)

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. 保管場所からライブワンドを取り外します。



2. 電源スイッチを入れます。
3. ライブワンドスイッチをオンにします。

注記：ライブワンドは、本機のパーキングブレーキがかかっていない場合は、本機から離れた状態で動作しません。



4. 必要に応じて、乾いたごみを掃除します。
5. 終了したらライブワンドのスイッチをオフにし、ライブワンドを保管場所に戻します。

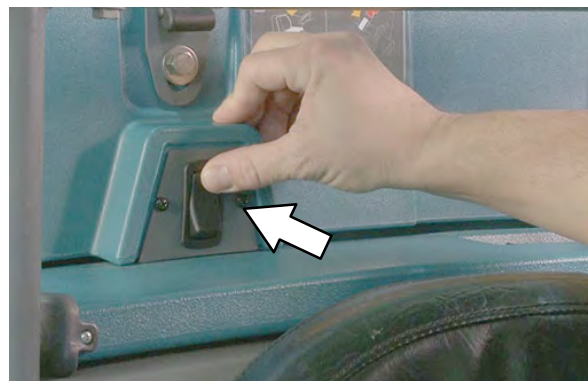
### ライブワンドの操作 (本機上での使用)

1. ライブワンドを、保管場所から使用位置に移動させます。



2. ライブワンドスイッチをオンにします。

注記：使用位置から取り外すまで、ライブワンドはオンになりません。



3. ライブワンドが必要になるまで、本機を通常のように操作します。





## 操作

4. ライブワンドを使用位置から持ち上げ、必要に応じて乾いたごみを掃除します。バキュームは自動的に開始します。



注記：ライブワンドを使用位置から取り外すと、本機のパワーが下がります。

5. 終了したら、ライブワンドを使用保管場所に設置します。ワンドが適切に固定され、バキュームをオフになっていることを確認してください。

ライブワンドバキュームごみトレイを空にする

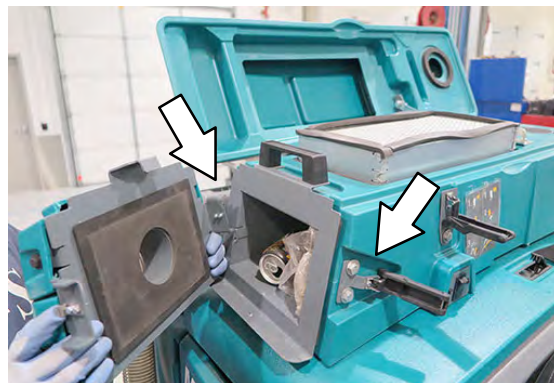
ライブワンドは、バキュームごみトレイに乾いたごみを集めます。バキュームごみ取りトレイは毎日空にしてください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. ライブワンドバキュームカバーの留め金を外して開きます。



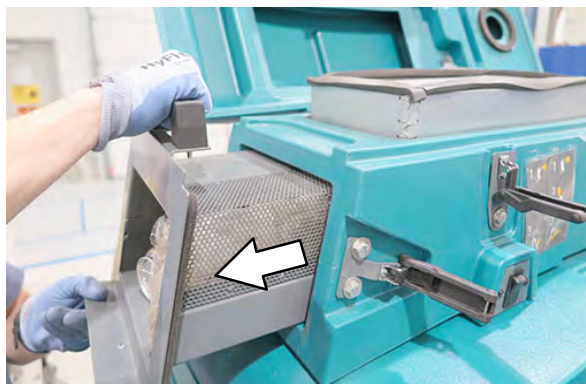
2. 留め金を外してライブワンドホースを外します。



3. ライブワンドホースをつりブラケットに掛けます。



4. ごみトレイを取り外し、空にします。トレイをバキュームチャンバーに戻します。



5. ライブワンドのバキュームホースを元に戻し、留め金を掛けます。
6. ライブワンドのバキュームカバーを元に戻し、留め金を掛けます。

## ライブワンドバキュームフィルターの洗浄

ライブワンドのバキュームフィルターは、50時間の操作毎に洗浄します。

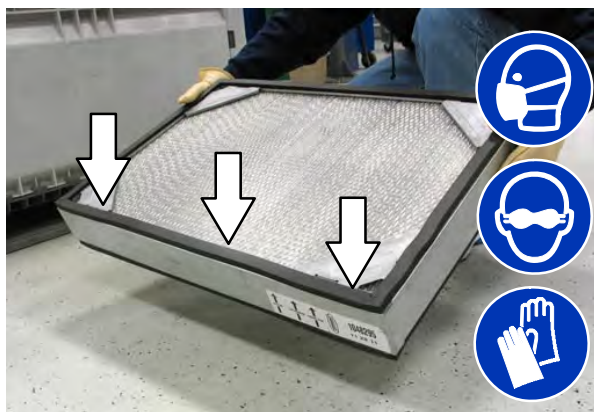
安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. ライブワンドバキュームカバーの留め金を外して開きます。
2. ライブワンドのバキュームフィルターを外し、以下の方法の1つを使って、ダストフィルターを掃除します。

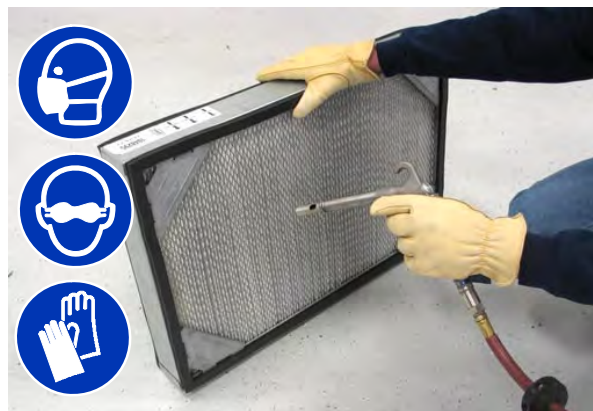


軽く叩く -

平らな面で、汚れた面を下にしてフィルターを軽く叩きます。フィルターの縁を損傷しないよう注意してください。フィルターの縁が損傷すると、フィルターでフィルターフレーム内を正しく密閉できなくなります。



圧縮空気を使用するときは、必ず保護眼鏡を着用してください。矢印の反対側のダストフィルターに空気を吹きかけます。絶対に690 kPa ( 100 psi ) を超える空気圧は使用しないでください。また、フィルターから50mm ( 2インチ ) 以内にノズルを近づけないでください。これは、本機内のダストフィルターを使って行うことができます。



3. 終了したらフィルターを再度取り付け、ライブワンドバキュームカバーを閉じて留め金を掛けます。

## 操作

### リヤスクイージーガード ( オプション )

リヤスクイージープロテクターは、リヤスクイージーの損傷を予防するために役立ちます。



リヤスクイージープロテクターを取り付けるには、ピンを引き抜き、プロテクターバーを下げてから再度ピンを差し込みます。



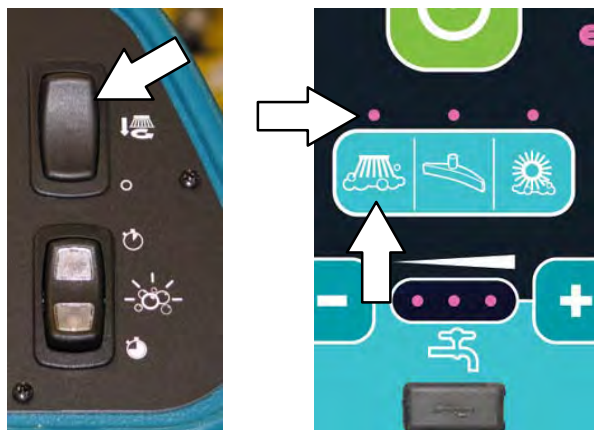
### 洗浄サイドブラシと清掃サイドブラシ ( オプション )

サイドブラシはごみをメインブラシの進路に掃き集めます。本機に洗浄サイドブラシが装備されている場合、洗浄液はサイドブラシにより散布されます。本機に清掃サイドブラシが装備されている場合、洗浄液はサイドブラシにより散布されません。



警告：引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください。

1. 電源スイッチを入れます
2. サイドブラシスイッチの最上部を押し、サイドブラシアセンブリーを有効にします。



標準パネル



Pro-Panel

3. 1-STEPボタンを押します。サイドブラシアセンブリーがメインブラシと一緒に下がります。

注記：1-STEPボタンは、サイドブラシがオン（上）の位置にあるときにサイドブラシアセンブリーを制御します。

4. 走行ペダルを踏み、洗浄を開始します。
5. サイドブラシスイッチの最下部を押し、サイドブラシを停止して上げます。



## プレスイーパアセンブリー (オプション)

本機の前面に装備されたプレスイーパアセンブリーは、ごみ収集の追加機能です。メインブラシと2つのサイドブラシが、ごみをホッパーに掃き集めます。ホッパーとバキュームダストバッグは、定期的に空にしてください。

本機では、プレスイーパアセンブリーを使用した操作も、使用しない操作もどちらも可能です。点検整備については、「点検整備」の項、「プレスイーパ」を参照してください。



**警告：**引火性物質や反応物質は、爆発や火災の原因になります。回収しないでください。

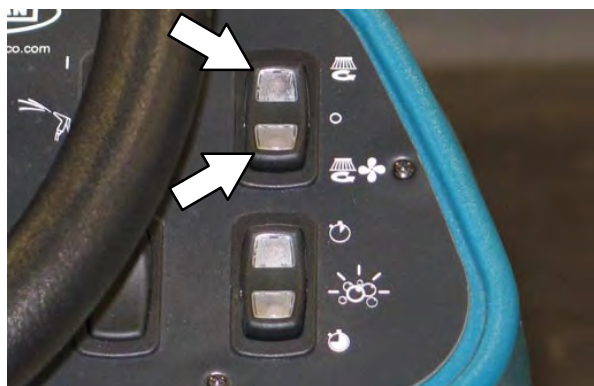
## プレスイーパの操作 (オプション) (標準パネル)

1. 電源スイッチを入れます
2. 1-STEPボタンを押し、洗浄およびプレスイーパの操作を行います。

**注記：**清掃のみを行う場合は、1-STEPボタンを押さないでください。プレスイーパは、洗浄機能なしでも使用できます。

3. プレスイーパスイッチの上部を押し、ダストコントロールを使用せずにプレスイーパを開始します。スイッチの上部が点灯します。

プレスイーパスイッチの下部を押し、ダストコントロールを使用してプレスイーパを開始します。スイッチの下部が点灯します。



**注記：**本機が前進すると、プレスイーパアセンブリーが清掃を開始し、ダストコントロールシステムが作動します。

4. プレスイーパスイッチの点灯部分を押し、プレスイーパシステムとダストコントロールシステムが停止します。

## プレスイーパの操作 (オプション) (プロパネル)

1. 電源スイッチを入れます
2. 1-STEPボタンを押し、洗浄およびプレスイーパの操作を行います。

**注記：**清掃のみを行う場合は、1-STEPボタンを押さないでください。プレスイーパは、洗浄機能なしでも使用できます。

3. プレスイーパブラシボタンを押し、ダストコントロールを使用せずにプレスイーパを開始します。

プレスイーパバキュームボタンを押し、ダストコントロールを使用してプレスイーパを開始します。



**注記：**本機が前進すると、プレスイーパアセンブリーが清掃を開始し、ダストコントロールシステムが作動します。

4. 「プレスイーパブラシ」または「プレスイーパバキューム」ボタンを押し、プレスイーパシステムとダストコントロールをオフにします。

## 操作

プレスイープごみホッパーを空にする

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. 両方のプレスイープカバーラッチを緩めます。



2. プレスイープカバーを持ち上げ、プレスイープカバーサポートを固定し、カバーを開いた状態でロックします。



3. プレスイープ装置からホッパーを取り出し、ホッパーを空にしてください。



4. プレスイープアセンブリーにホッパーを元どおり取り付けます。
5. バキュームダストバッグを点検してください。バキュームダストバッグが満杯の場合や損傷している場合は交換してください。



6. プレスイープカバーサポートを外し、プレスイープカバーを下げます。

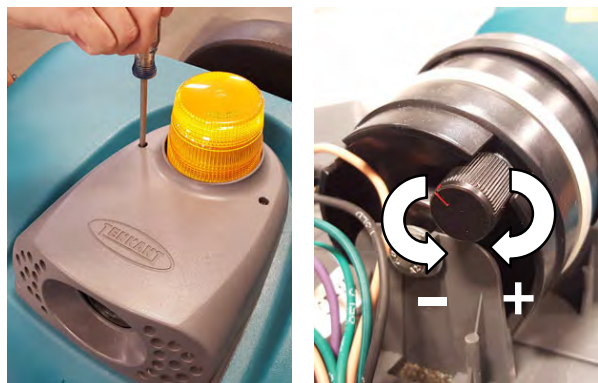
### 後退アラームの音量（オプション）

安全のために：本機を使用する際は、後退アラームに関する現場の安全の指針に従ってください。

後退アラームの音量は85～102 db(A)の間で調整できます。音量を調整するには、後退アラームのカバーを外し、音量ノブを回します。

音量を上げる：ノブを右側（時計回り）に回します。

音量を下げる：ノブを左側（反時計回り）に回します。



## 操作

### スライドアウトバッテリー（オプション）

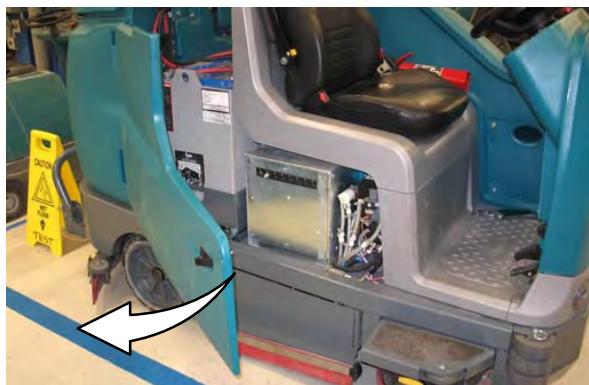
スライドアウトバッテリーを使用すると、オペレーターは素早く簡単にバッテリーを取り出して交換できます。バッテリーのサイズと重量に基づき、適切な装置と手順でバッテリーを取り出してください。「仕様」の項を参照してください。バッテリースライドアウトの高さは、508mm（20インチ）です。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

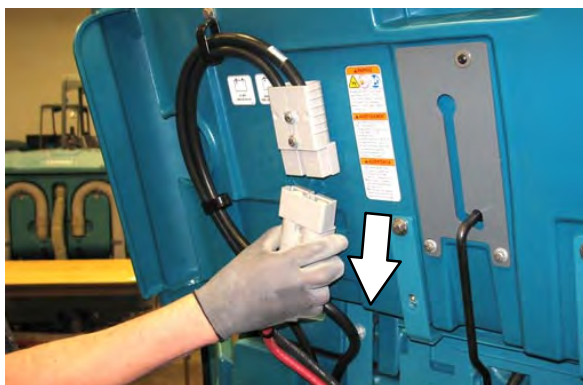
1. バッテリー室カバーを持ち上げて開き、サポートで固定してください。



2. 右シユラウドを開けます。



3. コネクターを下に引いて、本機からバッテリーサイドのケーブルコネクターを外します。ケーブルを引かないでください。



4. 本機からバッテリーリテーナプレートを取り外します。



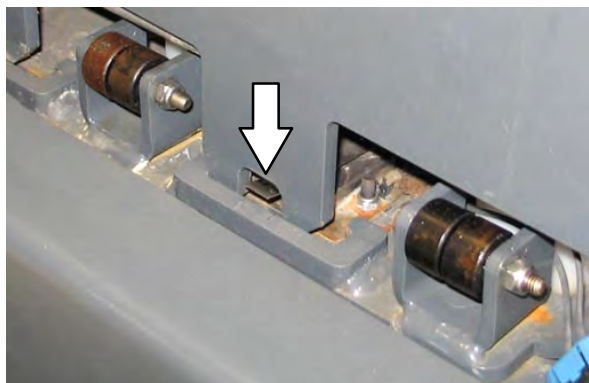
5. バッテリーカートをバッテリー室の近くに配置します。

安全のために：本機を点検整備するとき：いかなる金属部品もバッテリーのそばに置かないでください。非伝導性のバッテリー除去装置を使用してください。バッテリーを持ち上げる時は、ホイストを使用し、適切な補助を受けてください。バッテリーの据付けは、訓練を受けた担当者が行ってください。バッテリー取り外しに関する現場安全対策に従ってください。

6. バッテリーを本機からバッテリーカートにスライドさせます。
7. 新しいバッテリーをバッテリー室に取り付けます。



8. バッテリーリテーナプレートを本機に再度取り付けます。スイッチが入る位置まで、リテーナプレートがスイッチを押し下げる必要があります。スイッチが入っていない場合、本機は機能しません。



9. バッテリー室のサイドカバーとトップカバーを閉じてください。

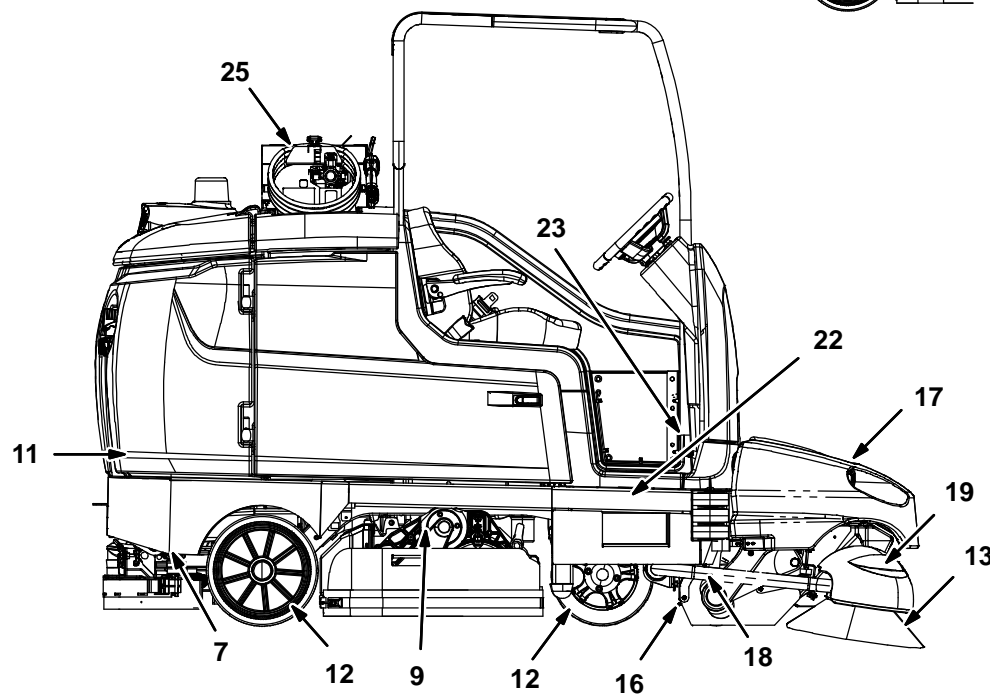
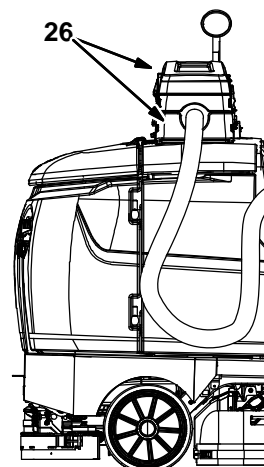
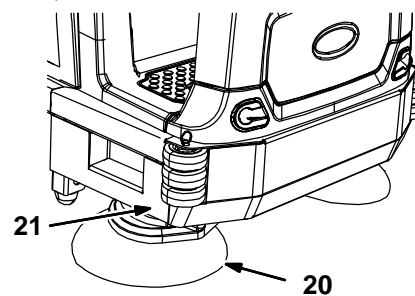
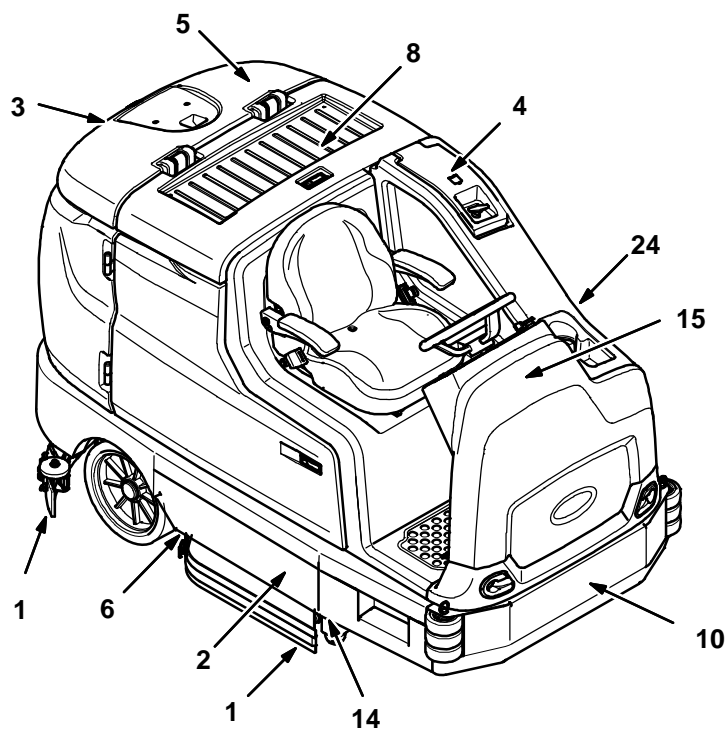


## トラブルシューティング

問題	原因	処置
本機が動作しない	非常停止ボタンのオン状態	ボタンを時計回りに回してリセットします
	本機の故障が検出された	故障インジケーターまたは警告コードを参照してください。
	バッテリーが放電している	充電
	バッテリーケーブルの緩み	緩んだケーブルを締め付けてください。
	バッテリーの故障	バッテリーを交換してください。
	キースイッチの故障	テナント社のサービス代理店に連絡してください。
	コントロールボードの故障	テナント社のサービス代理店に連絡してください。
水が残る、またはまったく水を吸引しない	スクイージーブレードの磨耗	スクイージーブレードを位置交換するか、新しいものと交換してください
	スクイージーの調整にずれ	スクイージーを調整してください。
	スクイージーアセンブリーの詰まり	スクイージーアセンブリーを掃除してください
	バキュームホースの緩み	バキュームホース接続部をしっかりと固定してください。
	バキュームホースの詰まり	バキュームホースを洗浄してください
	バキュームホースの損傷	バキュームホースを交換してください
	バキュームファンフィルターの汚れ	フィルターを洗浄してください。
	ごみがスクイージーにからまる	スクイージーからごみを取り除いてください。
	スクイージーまたは汚水回収タンクへのバキュームホースが未接続または損傷	バキュームホースを再接続するか交換してください。
	タンクカバーが完全に閉まっていない	物が挟まっていないか確認してください。
	汚水回収タンクのシールの破れ	シールを交換してください。
バキュームファンがオンにならない	回収タンクが満杯です	汚水回収タンクを空にしてください
	汚水回収タンクが泡で満杯	汚水回収タンクを空にしてください 洗剤の量を減らすか、別の洗剤を使用してください。 消泡剤を使用してください。
床に排出された洗浄液が少ない、またはまったく排出しない	洗浄液タンクが空です	洗浄液タンクを充填してください。
	洗浄液フローがオフ	洗浄液フローをオンにしてください。
	洗浄液供給ラインの詰まり	洗浄液供給ラインを洗浄してください。
	洗浄液ソレノイドの詰まり	洗浄または交換してください。

問題	原因	処置
洗浄性能が低い	洗浄ブラシにごみが絡まっている	ブラシからごみを取り除いてください。
	不適切な洗剤/ブラシパッドが使用されている	適切なブラシについては、テナント社のサービス代理店に問い合わせてください。
	洗浄ブラシパッドの磨耗	洗浄ブラシ/パッドを交換してください。
	ブラシ圧が高すぎる	洗浄ブラシ接地圧を下げてください。
	ブラシ圧が不均等	洗浄ブラシを水平にしてください。
	ごみ容器が満杯	ごみ容器を空にしてください。
	シリンダー洗浄ヘッドのブラシドライブベルトの破損	ベルトを交換してください。
	バッテリー残量の低下	充電器が自動的にオフになるまでバッテリーを充電してください。
稼働時間の減少	バッテリーが完全に充電されていない	充電器が自動的にオフになるまでバッテリーを充電してください。
	バッテリーの故障	バッテリーを交換してください。
	バッテリーのメンテナンスが必要	「バッテリーのメンテナンス」を参照してください
	バッテリー充電器の故障	充電器を交換してください
ESシステムが動作しない	ESボタンがオフになっている	ESボタンをオンにします
	タンク内のESセンサーに汚れがあるか、正しい位置にない	センサーを清掃し、正しい位置にセットしてください。
	ESポンプフィルターの詰まり	ESフィルターを清掃します
	汚水回収タンクの水位が低すぎる	汚水回収タンクの約半分まで水を充填してください。
	洗浄液タンクの水位が低すぎる	洗浄液タンクを充填してください。
ec-H2Oモデル: 警告および故障インジケータライトが赤で点滅	モジュール内に鉱物性の物質が堆積している	モジュールを洗浄します (「ec-H2Oモジュールの洗浄手順」を参照)
ec-H2Oモデル: 警告および故障インジケータライトが赤で点灯	モジュールの詰まり	テナント社のサービス代理店に連絡してください。
	洗浄液ポンプの故障	洗浄液ポンプを交換してください。
高圧ウォッシャーが動作しない	パーキングブレーキが掛かっている	パーキングブレーキを掛けます
	サーマルスイッチが高圧ポンプモーターで作動した	常温に戻します
	洗浄液ポンプサーキットが作動した	サーキットブレーカーをリセットしてください
	マシンの起動時にスイッチがオンになった	スイッチのオフ/オンを行います
高圧ウォッシャーの噴霧が低圧である	スプレーノズルが低圧に設定されている	スプレーノズルの設定を調整します
	スプレーポンプの圧力ノブが下がる	スプレーポンプの圧力ノブを調整します
ライブワンドのパキユーム性能が低い	ホースが詰まっている	詰まりを取り除きます
	ドライバキユームシステムのシールの破れ	シールを交換してください。

メンテナンス



356408

## メンテナンス表

以下の表には、各作業の責任者が記載されています。

O = オペレーター。  
T = 訓練を受けた者。

周期	責任者	参照番号	説明	点検内容	潤滑油/補充液	点検整備箇所
毎日	O	1	サイドスクイージーとリヤスクイージー	損傷、磨耗の点検。反りの点検	-	4
	O	2	メインブラシ	損傷、磨耗、ごみの点検	-	2
	O	3	汚水回収タンク	タンクとトップセンサーの清掃とカバーシールの点検	-	1
	O	4	洗浄液タンク	カバーシールの点検	-	1
	O	3	ESを装備した機種のみ：汚水回収タンク	タンク底部のフィルターと第2口アーセンサーの清掃。	-	2
	O	4	ESを装備した機種のみ：洗浄液タンク	タンクとレベルセンサーの清掃	-	1
	O	5	バキュームファンインレットフィルター、スクリーン、ごみトレイ	清掃	-	1
	O	6	シリンダーブラシのみ：ごみトレイ	清掃	-	1
	O	20	清掃/洗浄サイドブラシ (オプション)	損傷、磨耗、ごみの点検	-	1 (2)
	O	20	洗浄サイドブラシスクイージー (オプション)	損傷、磨耗の点検	-	1
	O	13	プレスイープサイドブラシ (オプション)	損傷、磨耗、ごみの点検	-	2
	O	16	プレスイープメインブラシ (オプション)	損傷、磨耗、ごみの点検	-	1
	O	17	プレスイープホッパー (オプション)	清掃	-	1
	O	26	ライブワンドバキュームごみ取りトレイ (オプション)	清掃	-	1
毎週	T	8	バッテリーセル	電解液レベルの点検	DW	複数
50操作時間毎	T	1	サイドスクイージーとリヤスクイージー	水準の点検	-	4
	O	16, 17	プレスイープスカートとシール (オプション)	損傷、磨耗の点検	-	4
	O	2	メインブラシ (シリンダー型)	手前から後方へブラシを回す	-	2

## 潤滑油/補充液

DW .... 蒸留水。

SPL ... 特殊潤滑剤、Lubriplate EMB グリース (テナントパーツ番号 01433-1)

GL .... SAE90ウェイト ギヤ潤滑剤

注記：埃のひどい所では、点検整備の間隔を短縮する必要があります。

## メンテナンス

以下の表には、各作業の責任者が記載されています。

O = オペレーター。  
T = 訓練を受けた者。

周期	責任者	参照番号	説明	点検内容	潤滑油/補充液	点検整備箇所
50操作時間毎	O	14	洗浄ヘッドスカート (ディスク)	スカートの損傷、磨耗の点検	-	2
	O	24	洗浄液供給フィルター	スクリーンをチェックし、掃除してください	-	1
	O	26	ライブワンドバキュームシール (オプション)	損傷、磨耗の点検	-	3
100操作時間毎	T	8	バッテリー補水システム (オプション)	ホースと接続部の損傷、磨耗の点検	-	複数
200操作時間毎	T	23	ブレーキ	調整状態の点検	-	1
	T	8	バッテリーの端子とケーブル	点検と清掃	-	2
	T	9	シリンダーブラシのドライブベルト	損傷、磨耗の点検	-	2
	T	18	プレスイープブラシのドライブベルト	損傷、磨耗の点検	-	1
	T	22	ドライブホイールピボット	注油	SPL	1
	T	15	ステアリングチェーン	注油、張力点検、損傷と磨耗の点検	GL	1
	T	10	ステアリングギヤチェーン	注油、張力点検、損傷と磨耗の点検	GL	1
500操作時間毎	T	11	バキュームファンモーター	モーターブラシの点検	-	2
	O	12	タイヤ	損傷、磨耗の点検	-	3
1000操作時間毎	T	21	清掃サイドブラシモーター	モーターブラシの点検 (使用開始から1000操作時間の点検後に100操作時間毎)	-	1 (2)
	T	18	プレスイープメインブラシモーター (オプション)	モーターブラシの点検 (使用開始から1000操作時間の点検後に100操作時間毎)	-	1
	T	19	プレスイープサイドブラシモーター (オプション)	モーターブラシの点検 (使用開始から1000操作時間の点検後に100操作時間毎)	-	2
	T	25	高圧ウォッシャーモーター	モーターブラシの点検 (機械工数ではなく、1000高圧ウォッシャー時間)	-	2

潤滑油/補充液

DW .... 蒸留水。

SPL .... 特殊潤滑剤、Lubriplate EMB グリース (テナントパーツ番号 01433-1)

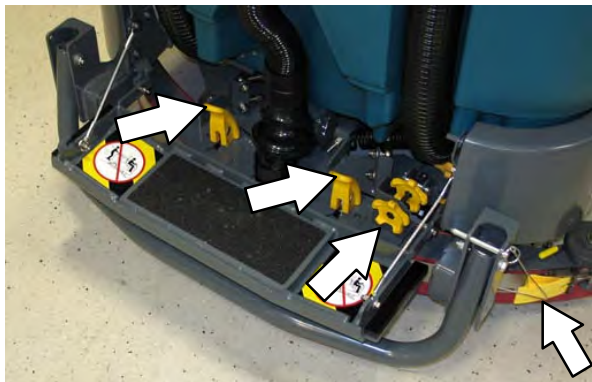
GL .... SAE90ウェイト ギヤ潤滑剤

注記: 埃のひどい所では、点検整備の間隔を短縮する必要があります。



## 黄色のタッチポイント

本機にはシンプルな修理アイテムを示す黄色のタッチポイントがあります。これらのメンテナンスでは工具が必要ありません。

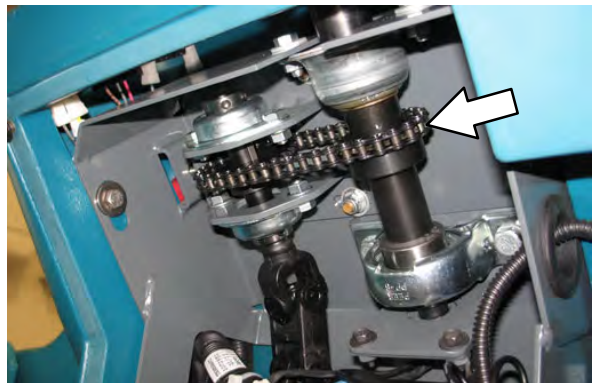


## 注油

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

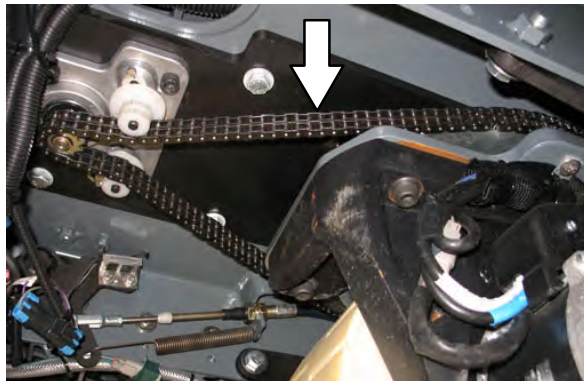
## ステアリングチェーン

ステアリングチェーンは、コントロールパネルの真下のステアリングコラムに取り付けられています。ステアリングチェーンは、損傷、磨耗を点検し、200時間毎に注油してください。



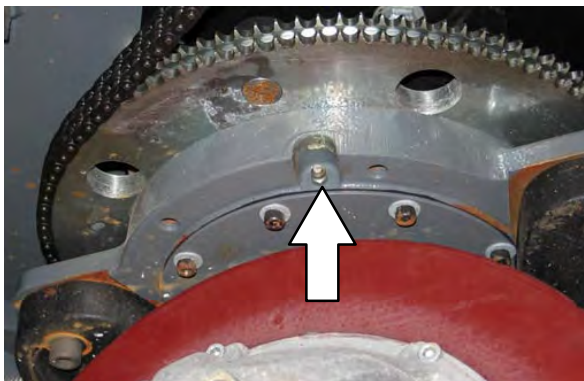
## ステアリングギヤチェーン

ステアリングギヤチェーンは、フロントタイヤの真上にあります。ステアリングギヤチェーンは、損傷、磨耗を点検し、200操作時間毎に注油してください。



## ドライブホイールピボット

ドライブホイールピボットは、フロントタイヤの真上にあります。ドライブホイールピボットは200時間毎に注油してください。



## バッテリー

安全のために：本機を離れる場合や本機を整備する場合は、本機を水平な床に停めて、スイッチを切ってキーを取り外してください。（装備されている場合は）パーキングブレーキをかけてください。

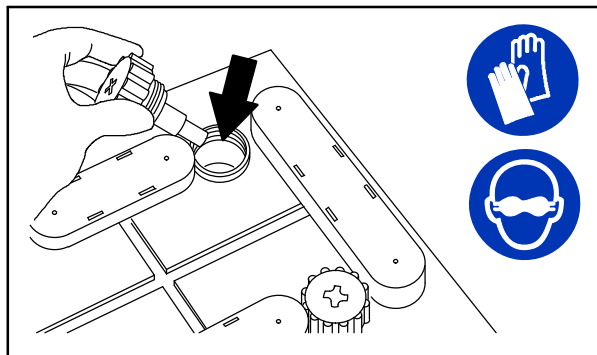
バッテリーの寿命は適切にメンテナンスされているかどうかにより異なります。バッテリーを長く使用するためには、次の点に注意してください。

- バッテリーの充電は一日一回までとし、少なくとも15分以上使用した後に行ってください。
- バッテリーを部分的に消費した後、長期間放置しないでください。
- ガスの蓄積を防止するために、必ず通気の良い場所でバッテリーを充電してください。周囲温度が27°C (80°F) 以下の場所でバッテリーを充電してください。
- 本機を再度使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。
- 液式（湿式）鉛酸バッテリーの電解液レベルを毎週点検し、適切な電解液レベルを維持してください。

### 電解液レベルの点検

鉛酸（湿式）バッテリーは、次に示すように、定期的な点検整備を必要とします。バッテリーは、毎週、電解液レベルを確認してください。

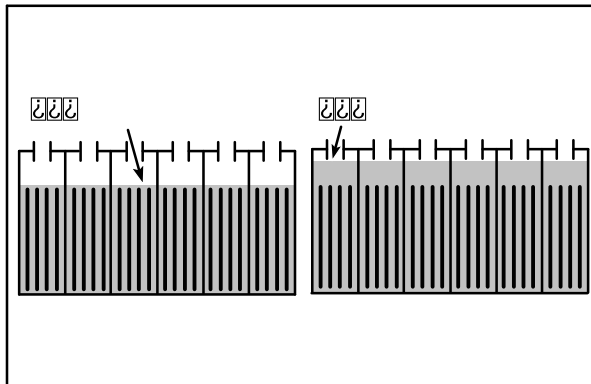
注記：バッテリー補水システムが装備されている機種の場合、電解液レベルの点検はしないでください。バッテリー補水システム（オプション）に進んでください。



08247

安全のために：本機を点検整備する場合は、金属製品をバッテリーに近づけないでください。バッテリー液には触れないでください。

充電前に、電解液レベルがバッテリープレートの少し上まであることを確認してください。液量が少ない場合は、蒸留水を補給してください。過充電に注意してください。充電中に電解液が膨張し、溢れる場合があります。充電後、確認用チューブの約3mm (0.12インチ) 下まで蒸留水を補給できます。



注記：充電中はバッテリーキャップが正しく取り付けられていることを確認してください。バッテリーの充電後、硫黄の匂いがすることがあります。これは問題ありません。

### メンテナンスフリーバッテリー

メンテナンスフリーバッテリーは補水が不要です。清掃や日常の整備点検などは必要です。

### 接続の点検/清掃

200操作時間毎に、バッテリー接続に緩みがないか点検し、バッテリーの表面、端子、ケーブルクランプなどを水に重曹を加えた溶液で清掃してください。磨耗または損傷したワイヤは交換してください。バッテリー清掃中は、バッテリーキャップを取り外さないでください。





## バッテリーの充電

**重要：**充電前に、充電器の設定がバッテリーの種類に適正に設定されているか確認してください。

**注記：**バッテリーの損傷やバッテリー寿命の低下を防ぐために、正しい規格の充電器を使用してください。

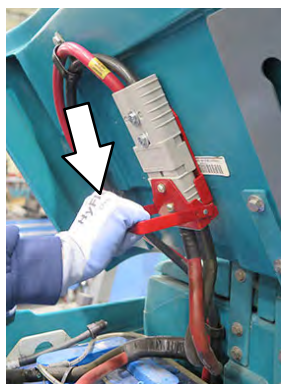
1. 本機を換気の良い乾燥した水平な場所まで移動させます。
2. 本機を停止し、電源を切ってください。

**安全のために：**本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

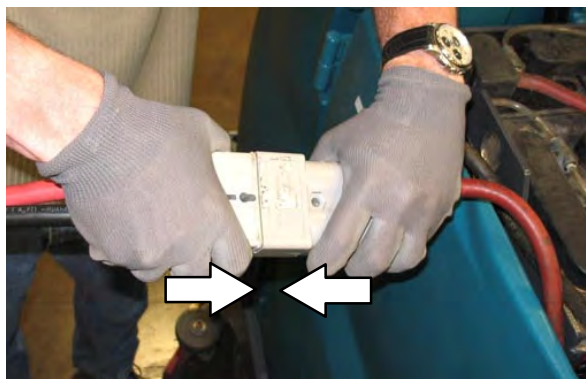
3. バッテリー室トップカバーを持ち上げて開き、サポートで固定してください。

**注記：**充電前にバッテリーの電解液レベルが適切であることを確認してください。「電解液レベルの点検」を参照してください。

4. 充電器の AC 電源コードを適切に設置されたコンセントに差し込んでください。
5. コネクターまたはまたはバッテリークイック切断レバー（オプション）を下に引いて、本機からバッテリーサイドのケーブルコネクターを外します。ケーブルを引かないでください。



6. 充電器コネクターをバッテリーケーブルに接続します。



## テナント製バッテリー充電器を使った充電

1. 必要に応じ、バッテリー充電器をオンにします。



**警告：**バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。火花や炎を絶対に近づけないでください。充電中は、バッテリー収納部のカバーを開けたままにしてください。

**注記：**充電器の故障コードがある場合は、バッテリーを充電器に接続すると、充電器のディスプレイ下部に故障コードが表示されます。故障コードの定義について、充電器のマニュアルを参照してください。



## メンテナンス

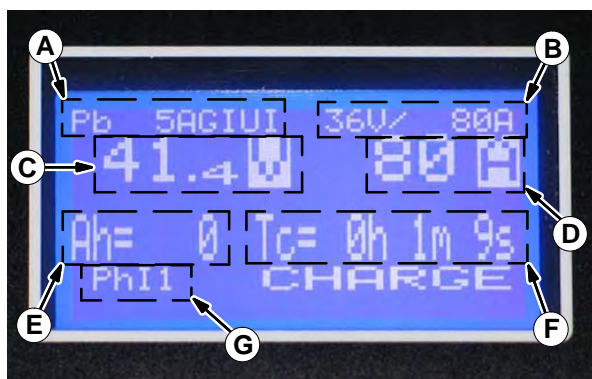
2. 充電器のディスプレイを確認してください。バッテリー充電中はディスプレイに「CHARGE」が表示されます。これは充電器の初期画面です。



3. 必要に応じてナビゲーションボタンを押し、追加画面を表示してください。選択を確定するには充電器の停止/開始/入力ボタンを押してください。初期画面に戻ります。詳細については、メーカーのオペレーターマニュアルを参照してください。



充電器のディスプレイ：



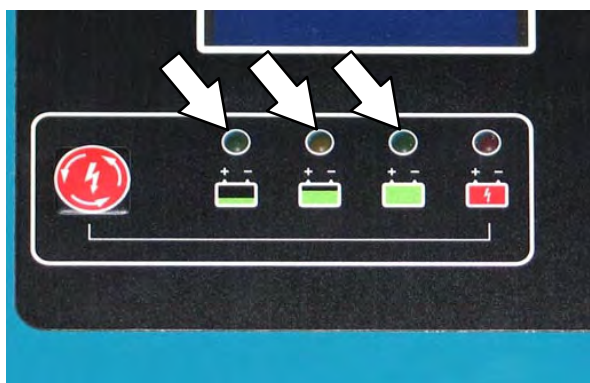
- A. 充電設定番号
- B. 充電器の定格（電圧および電流）
- C. バッテリー電圧（ボルト）
- D. バッテリー電流（アンペア）
- E. 充電アンペア時
- F. 充電時間（時/分/秒）
- G. 充電位相（位相1/位相2/位相3/メンテナンス）

注記：充電が完了する前に充電器のケーブルを外す必要がある場合は、充電器の停止/開始/入力ボタンを押して充電を停止してください。ディスプレイに「STOP」が表示され、赤色の充電停止ランプが点灯したことを必ず確認してから、バッテリーの充電ケーブルを外してください。

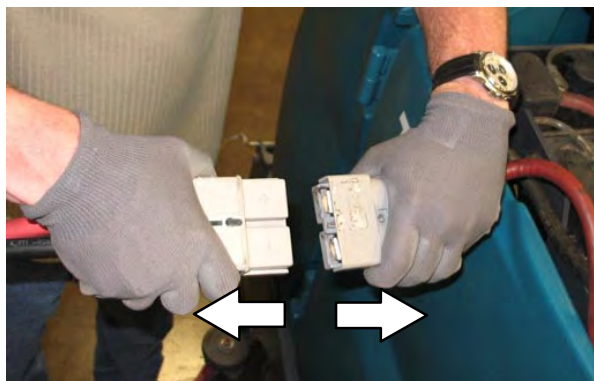




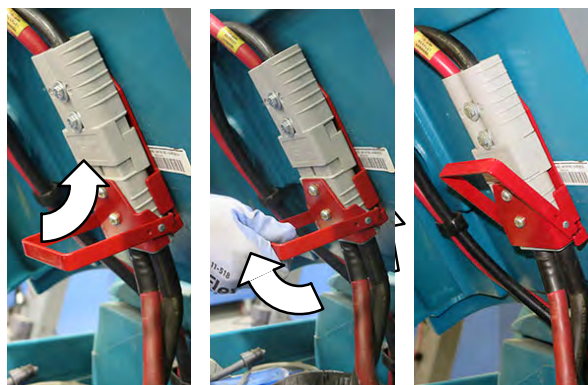
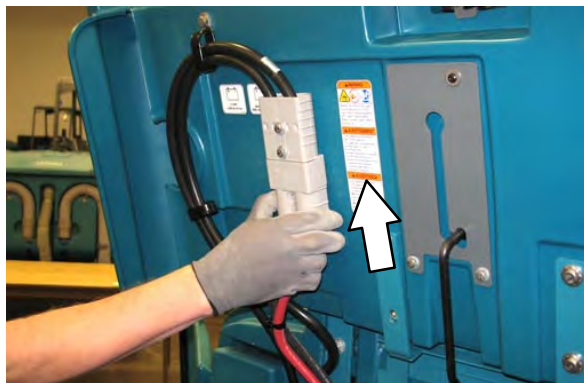
4. バッテリー充電中は、バッテリー充電器のステータスインジケータが左から右に点灯します。バッテリーの充電が完了すると、ディスプレイに「COMPLETE」が表示されます。ステータスインジケータがすべて点灯し、テナント充電器が充電を停止します。



5. 充電が完了した後、充電器コネクタをバッテリーのケーブルコネクタから外します。



6. バッテリーコネクタを本機のコネクタに接続し直します。



安全のために：本機を点検整備する場合、充電中は定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。アーク放電が発生することがあります。充電を中断する場合は、最初にAC電源コードを外してください。

7. バッテリー室のトップカバーを閉じてください。

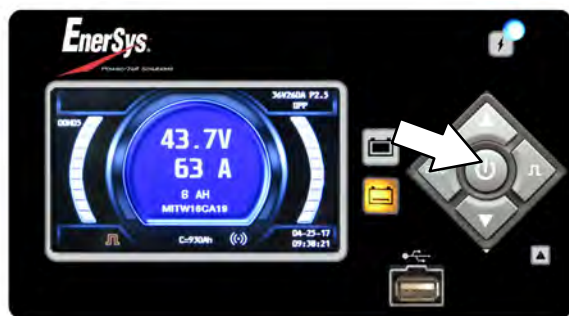
安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。



## メンテナンス

ENERSYS製バッテリー充電器を使った充電

1. 必要に応じ、バッテリー充電器をオンにします。

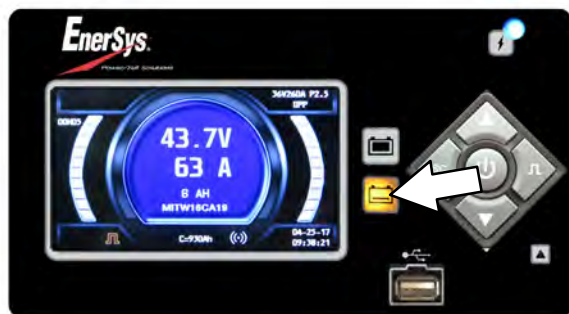


**警告：**バッテリーは水素ガスを排出します。爆発や発火の危険があります。火花や炎を絶対に近づけないでください。充電中は、バッテリー収納部のカバーを開けたままにしてください。

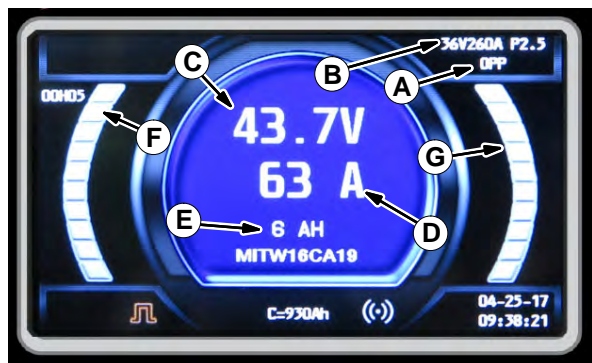
注記：バッテリーが充電器に接続されている時に、充電器の故障コードがある場合、充電器のディスプレイに故障コードが表示されます。故障コードの定義について、充電器のマニュアルを参照してください。



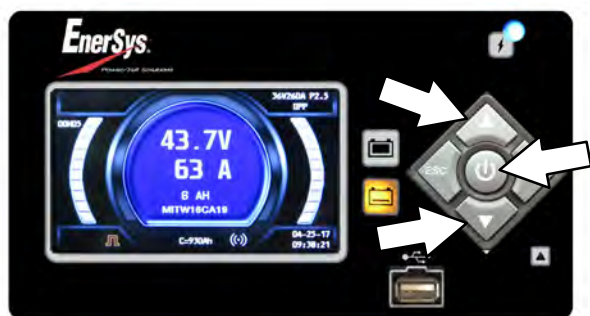
2. 充電器のディスプレイを確認してください。バッテリーの充電中、充電インジケータがディスプレイ上で点灯します。これは充電器の初期画面です。



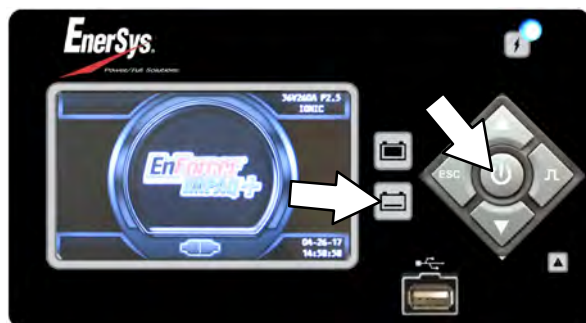
充電器のディスプレイ：



- A. 充電設定番号
  - B. 充電器の定格（電圧および電流）
  - C. バッテリー電圧（ボルト）
  - D. バッテリー電流（アンペア）
  - E. 充電アンペア時
  - F. 充電時間
  - G. 充電の割合
3. 必要に応じてナビゲーションボタンを押し、追加画面を表示してください。選択を確定するには充電器の **停止/開始/入力** ボタンを押してください。初期画面に戻ります。詳細については、メーカーのオペレーターマニュアルを参照してください。



注記：充電が完了する前に充電器のケーブルを外す必要がある場合は、充電器の停止/開始/入力ボタンを押して充電を停止してください。バッテリー-充電器ケーブルを外す前に、充電インジケータが点灯していないことを必ず確認してください。



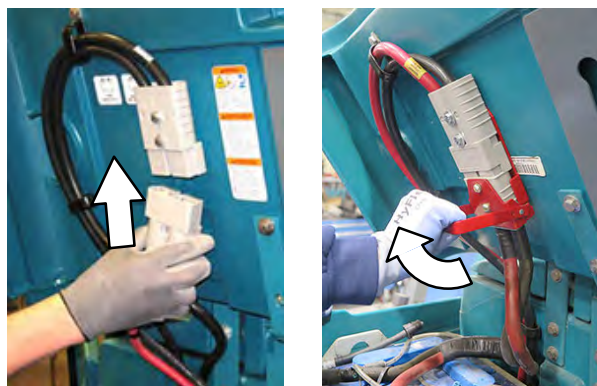
4. バッテリーの充電中、黄色の充電インジケータが点灯します。充電が完了すると、黄色の充電インジケータライトが消え、緑色の充電完了インジケータが点灯します。バッテリーが完全に充電されると、充電器は充電を停止します。



5. 充電が完了した後、充電器コネクタをバッテリーのケーブルコネクタから外します。



6. バッテリーコネクタを本機のコネクタに接続し直します。



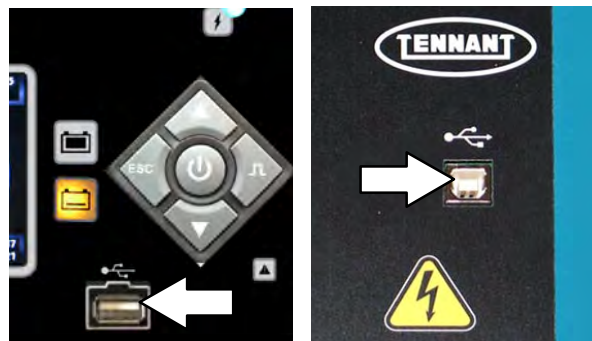
安全のために：本機を点検整備する場合、充電中は定置型充電器のDCコードを本機のソケットから外さないでください。アーク放電が発生することがあります。充電を中断する場合は、最初にAC電源コードを外してください。

7. バッテリー室のトップカバーを閉じてください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

### 充電器のUSBポート

充電器のUSBポートは、点検整備用コンピュータの充電器の接続に使用します。接続は認定修理担当者のみが行ってください。携帯電話などの許可されていない電子機器を充電器のUSBポートに接続しないでください。バッテリー充電中はUSBポートに何も接続しないでください。



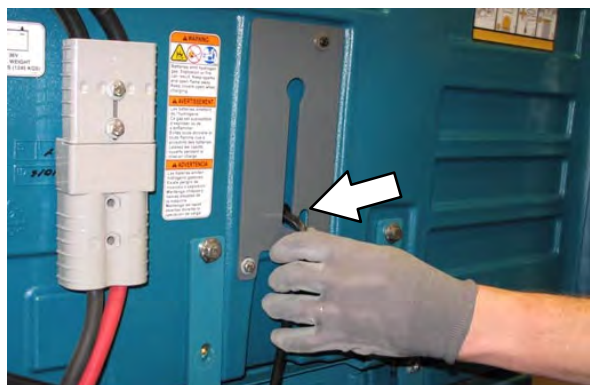
## バッテリー注水システム ( オプション )

オプションのバッテリー注水システムは、バッテリーの適切な電解液レベルを保持するための安全かつ簡単な方法を提供します。

100時間の使用毎に、バッテリー注水システムのホースと接続の損傷や磨耗を点検してください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. バッテリー室カバーを持ち上げて開き、サポートで固定してください。

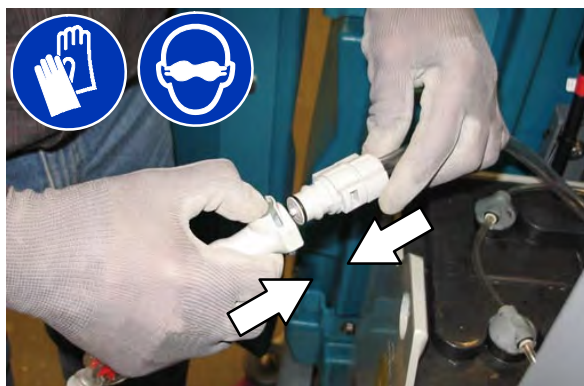


2. バッテリー補水システムを使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。充電前にバッテリーに水を加えないでください。充電中に電解液レベルが膨張し、溢れることがあります。「バッテリーの充電」を参照してください。
3. バッテリー注水システムのホースを給水源に取り付けてください。

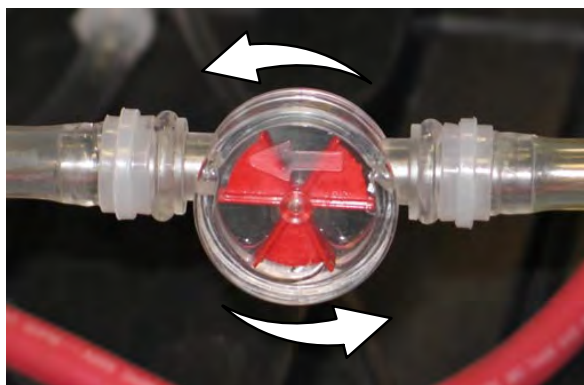
**注記：**バッテリーの寿命を維持するためには、水質が重要です。常に、バッテリー製造業者の要件を満たした水を使用してください。

**注記：**バッテリー注水システムへの給水は、常に7.57リットル/分 (2ガロン/分) 以上でなければなりません。給水水压を確認するには、パージャーを使用してください。詳細については、メーカーのオペレーターマニュアルを参照してください。

4. バッテリー注水システムのホースをバッテリーフィルホースに取り付けてください。



5. 給水を開始します。フローインジケーター内部のインジケーターが回転します。バッテリーが満杯になると、インジケーターの回転は停止します。



6. バッテリー注水システムのホースを給水ホースから外してください。
7. 給水を終了します。
8. 給水後、後で使用するためにバッテリー注水システムのホースを保管場所に戻してください。



### 燃料電池 ( オプション )

---

本機では、燃料電池システムを装備することができます。燃料電池の詳細情報については、燃料電池の供給元にお問い合わせください。



## サーキットブレーカー、ヒューズ、リレー

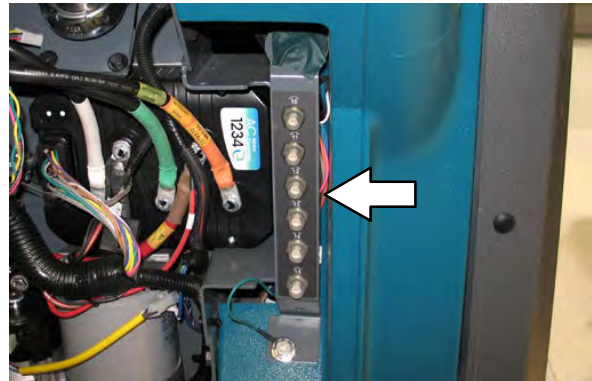
### サーキットブレーカー

サーキットブレーカーは、回路が過負荷になった場合に電流を遮断するように設計された一時的な保護装置です。サーキットブレーカーが作動した場合は、ブレーカーを常温に戻してから、手でリセットボタンを押してリセットしてください。

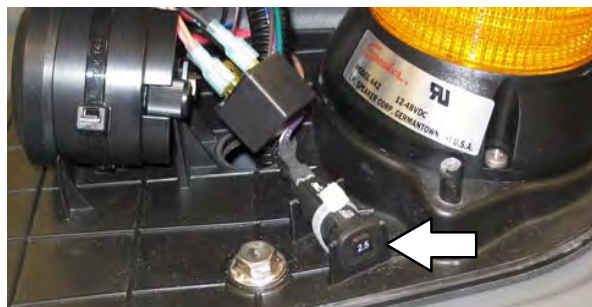
サーキットブレーカー1から9は、運転席の下バッテリー室サイドカバーの後ろにあります。



サーキットブレーカー10から15は、ステアリングシュラウドアクセスパネルの後ろにあります。



サーキットブレーカー16は、汚水回収タンクの上に取り付けられたオプションのライトアセンブリの内側にあります。



サーキットブレーカーは、作動原因の過負荷が解消されるまで電流を遮断し続けます。

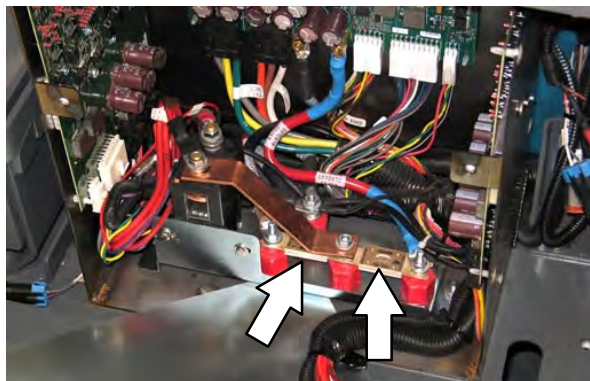
サーキットブレーカーと保護対象の電気部品を下記の表に示します。

サーキット ブレーカ ー	定格	保護回路
CB1	60 A	水回収モジュール
CB2	50 A	ブレスイープモジュール (オプション)
CB3A	20A	サイドブラシ清掃モジュール (オプション)
CB3B	35 A	サイドブラシ洗浄モジュール (オプション)
CB4	2.5 A	キースイッチ
CB5	2.5 A	水回収モジュール
CB6	2.5 A	洗浄モジュール
CB7A	-	未使用
CB7B	2.5 A	ブレスイープモジュール (オプション)
CB7C	2.5 A	サイドブラシ洗浄モジュール (オプション)
CB8	2.5 A	ec-H2Oモジュール
CB9	2.5 A	ec-H2Oポンプ
CB10	15 A	スプレーノズル (オプション) / 高圧ウォッシャー (オプション)
CB11	15 A	ライト (オプション)
CB12	2.5 A	ヘッドライト (オプション)
CB13	2.5 A	オーバーヘッドガード上のストロボライト/フラッシュライト (オプション)
CB14	2.5 A	汚水回収タンクカバー上のストロボライト/フラッシュライト (オプション)
CB15	15 A	パワーステアリング (オプション)
CB16	2.5 A	後退アラーム/ライト (オプション)

## メンテナンス

### ヒューズ

ヒューズは、回路が過負荷になった場合に電流を遮断するように設計された一時的な保護装置です。指定された値より高い値のヒューズに交換しないでください。



ヒューズはコントロールボックス内のサーキットブレーカーパネルの後ろにあります。

ヒューズ	定格	保護回路
FU-1	150 A	走行
FU-2	100 A	洗浄モジュールの出力
FU-3	2.0 A	テレメトリーモジュールハーネス
直列ヒューズ	100 A	高圧ウォッシャー (オプション)
直列ヒューズ	40A	ライブワンド (オプション)

### リレー

リレーは、他の電気回路によって開閉が制御される電動式スイッチです。リレーは、入力回路より大きな電力の出力回路を制御することもできます。リレーはコントロールボックス内のサーキットブレーカーパネルの後ろにあります。

リレーと制御されている回路については、下記の表を参照してください。

リレー	定格	制御される回路
M1	36VDC、200A	メイン接触器
M2	36VDC、5 A	後退アラーム/ライト (オプション)
M3	36VDC、100 A	補助線の接触器

### 電動式モーター

バキュームファンモーターのカーボンブラシは、500操作時間毎に点検してください。清掃サイドブラシモーターとすべてのプレスイープモーターのカーボンブラシは、使用開始から1000操作時間後と、最初の点検後は100操作時間毎に点検してください。カーボンブラシの点検周期については、下記の表を参照してください。

カーボンブラシの点検	累積使用時間
サイドブラシモーター - スイープ (オプション)	1000*
プレスイープモーター (オプション)	1000*
バキュームモーター	500
高圧ウォッシャーモーター (オプション)	1000**

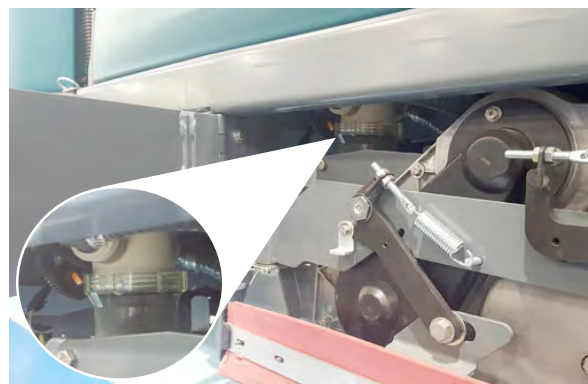
\*カーボンブラシは、使用開始から1000操作時間が経過した最初の交換後、100操作時間毎に点検してください。

\*\*機械工数ではなく、1000高圧ウォッシャー時間後に点検してください。

### 洗浄液供給フィルター

50操作時間毎に洗浄液供給フィルター画面を確認し、必要に応じて掃除してください。洗浄ヘッドを下げると、簡単に届きます。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。



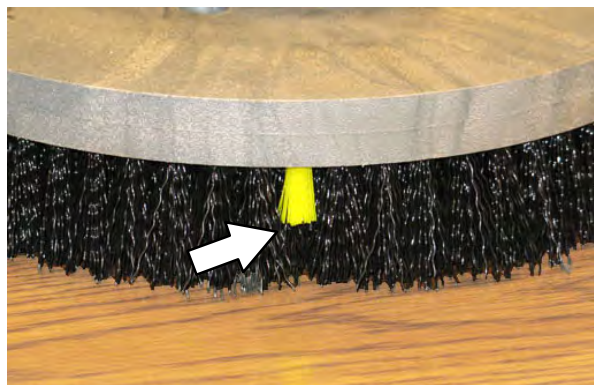


## 洗浄ブラシ

本機には、ディスクまたはシリンダー洗浄ブラシが装備されています。洗浄ブラシは、毎日ブラシやブラシのドライブハブに絡まったワイヤや糸くずを点検してください。また、ブラシやパッドに損傷、磨耗がないか点検してください。

### ディスクブラシとパッド

清掃効果がなくなったパッドは交換してください。清掃効果がなくなった、または毛先が摩耗して黄色のインジケータが点灯したら、ブラシを交換してください。



洗浄パッドは、パッドドライバーに取り付けて使用してください。洗浄パッドは、センターディスクで固定されています。パッドの両側を洗浄に使用できます。パッドを裏返して反対側を使用できます。

使用した洗浄パッドは、すぐに石鹼水で洗浄してください。パッドは高圧水で洗浄しないでください。パッドは、吊るすか平らに置いて乾かしてください。

**注記：**ブラシとパッドは、必ず一緒に交換してください。一緒に交換しないと、ブラシとパッドの洗浄性能のバランスが悪くなります。

### ディスクブラシまたはパッドドライバーの交換

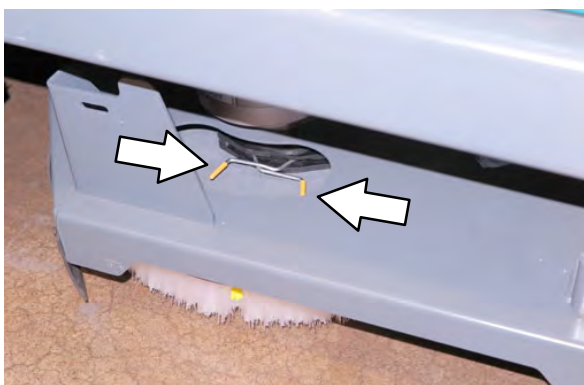
1. 洗浄ヘッドを上げます。
2. 本機の電源を切ります。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

3. メインブラシ点検ドアとサイドスクイージーサポートドアを開けます。



4. スプリングハンドルが見えるまでブラシを回します。



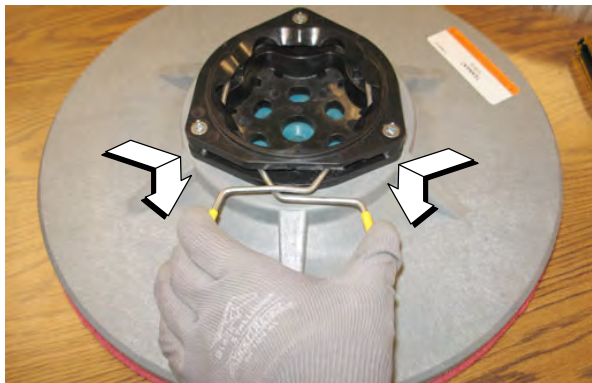
5. スプリングハンドルを押し、ブラシを床に落とします。ブラシを洗浄ヘッドの下側から取り外します。





## メンテナンス

6. 新しいブラシのスプリングを開き、簡単に取付けられるようにします。



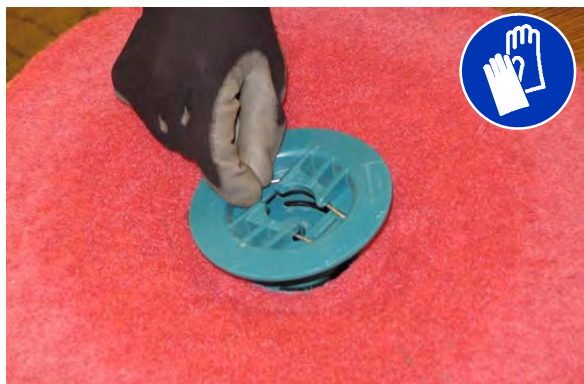
7. 新しいブラシを洗浄ヘッドの下側に置いて押し、ブラシドライブソケットをブラシドライブハブと位置合わせし、ブラシをブラシドライブハブの上に持ち上げブラシがハブにロックされるようにします。



8. ブラシがしっかりブラシドライブハブに取り付けられていることを確認してください。
9. スクイージーサポートドアを閉じて固定し、メインブラシ点検ドアを閉じます。
10. もう一方のブラシで同じ手順を繰り返します。

### ディスク洗浄パッドの交換

1. 本機からパッドドライバーを取り外します。
2. スプリングクリップを両側から摘んで押し、パッドドライバーからセンターディスクを取り外します。



3. パッドドライバーから洗浄パッドを取り外します。



4. 洗浄パッドを裏返すか、交換します。洗浄パッドをパッドドライバーの中央に置き、センターディスクを元通り取り付けて、パッドをパッドドライバーに固定します。
5. 本機にパッドドライバーを取り付けます。

## シリンダーブラシ

50操作時間毎に、前後のブラシを入れ替えてください。

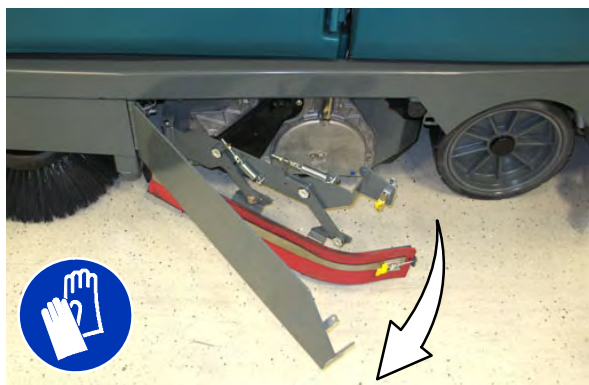
清掃効果がなくなったらブラシを交換してください。

**注記：** 磨耗したブラシは対で交換してください。ブラシの毛の長さが異なると、洗浄性能が低下します。

## シリンダー洗浄ブラシの交換

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. メインブラシ点検ドアとサイドスクイージーサポートドアを開けます。



2. アイドラープレートのリテーナハンドルを持ち上げて、リテーナリングをアイドラープレートのフックから取り外します。



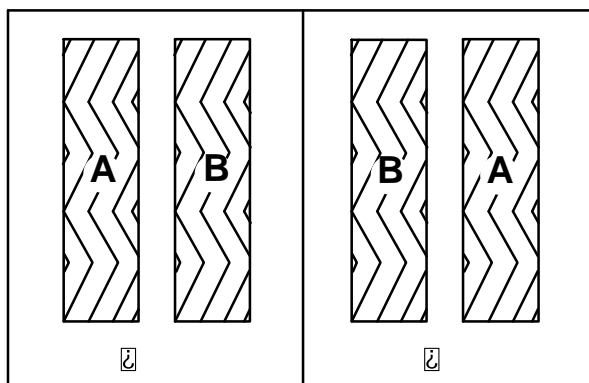
3. アイドラープレートを洗浄ヘッドから取り外します。



4. ブラシを洗浄ヘッドから取り外します。



5. ブラシを2列に洗浄ヘッドの開口部に向けて配置します。新しいブラシをドライブハブに取り付けます。
6. ブラシを入れ替える場合、前後のブラシが均等に磨耗するように常に前後一緒に入れ替えてください。ブラシは逆に入れ替えることができます。



7. アイドラプレート洗净ヘッドに取り付けます。



8. アイドラプレートリテーナを使用して、アイドラプレートを所定の位置に固定します。



注記：左右のアイドラプレートまたはブラシを入れ替えないでください。入れ替えた場合、訓練を受けた担当者による調整が必要となります。

9. スクイージーサポートドアを閉じて固定し、メインブラシ点検ドアを閉じます。
10. 洗浄ヘッドのもう一方のブラシで、この手順を繰り返します。

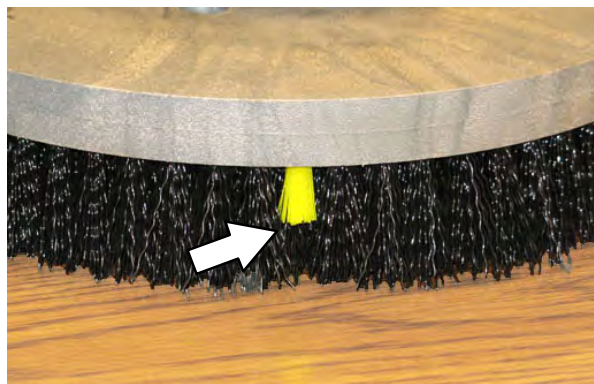


## サイドブラシ ( オプション )

毎日、サイドブラシの磨耗や損傷を点検してください。サイドブラシやサイドブラシのドライブハブに絡まった糸くずやワイヤを取り除いてください。

### 洗浄サイドブラシの交換

清掃効果がなくなったパッドは交換してください。清掃効果がなくなった、または毛先が摩耗して黄色のインジケーターが点灯したら、ブラシを交換してください。



1. サイドブラシアセンブリーを上げ、電源を切ります。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

2. スプリングハンドルを押し、サイドブラシを床に落とします。



3. サイドブラシをサイドブラシアセンブリーから取り外します。



4. 新しいブラシのスプリングを開き、簡単に取り付けられるようにします。



5. 新しいサイドブラシをサイドブラシアセンブリーの下に置き、サイドブラシをサイドブラシハブの上に持ち上げて、ブラシをハブに固定します。



## メンテナンス

### 清掃サイドブラシの交換

清掃効果がなくなったらブラシを交換してください。

1. サイドブラシアセンブリを上げ、電源を切ります。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

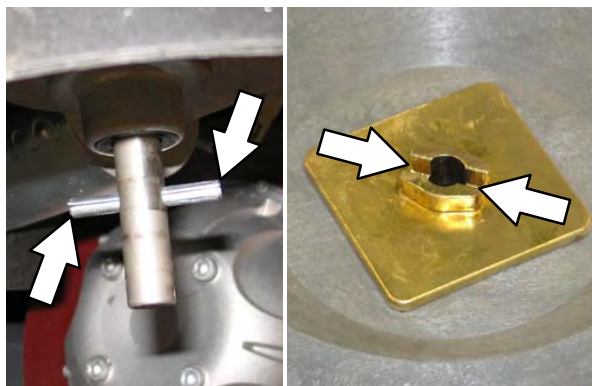
2. ブラシの中央に手を入れ、ブラシとリテーニングワッシャーをハブに固定しているコッターピンを取り外します。



3. サイドブラシとリテーニングワッシャーをサイドブラシアセンブリの下側から取り外します。



4. 新しいサイドブラシをサイドブラシの下に置き、サイドブラシソケットのチャンネルをサイドブラシハブのブラシロック（2ヶ所）に位置合わせします。



5. サイドブラシをサイドブラシハブの上に持ち上げてサイドブラシをハブに固定し、リテーニングワッシャーをハブに取り付けてコッターピンをハブに固定します。

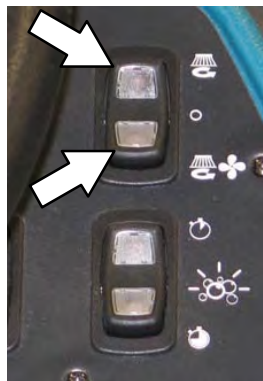
## プレスイープブラシ ( オプション )

プレスイープアセンブリーには、ディスクサイドブラシとシリンダーメインブラシが装備されています。ブラシは、ブラシやブラシのドライブハブに絡まったワイヤや糸くずを、毎日点検してください。毎日、ブラシの損傷や磨耗を点検してください。

### プレスイープサイドブラシの交換

清掃効果がなくなったらブラシを交換してください。

1. 電源スイッチを入れます。
2. プレスイープスイッチを押して、プレスイープアセンブリーを上げて清掃を停止します。



標準パネル



プロパネル

3. 本機の電源を切ります。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

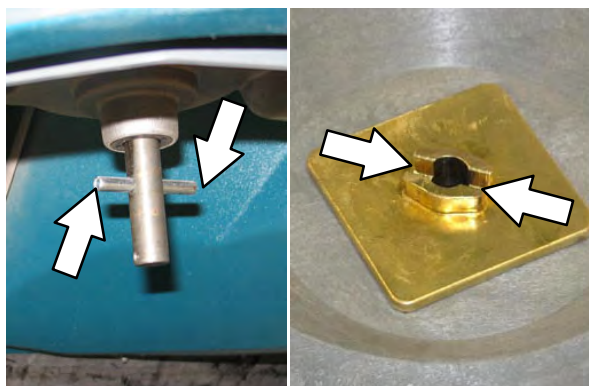
4. ブラシの中央に手を入れ、ブラシとリテーニングワッシャーをハブに固定しているコッターピンを取り外します。



5. サイドブラシとリテーニングワッシャーをプレスイープアセンブリーの下側から取り外します。



6. 新しいサイドブラシをサイドブラシの下に置き、サイドブラシソケットのチャンネルをサイドブラシハブのブラシロック (2ヶ所) に位置合わせします。



7. サイドブラシをサイドブラシハブの上に持ち上げてサイドブラシをハブに固定し、リテーニングワッシャーをハブに取り付けてコッターピンをハブに固定します。

## メンテナンス

### プレスイープシリンダーブラシの交換

50操作時間毎に、前後のブラシを入れ替えてください。

清掃効果が低下したらブラシを交換してください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

1. 本機の電源を切ります。
2. 両方のプレスイープカバーラッチを緩めます。



3. プレスイープカバーを持ち上げて開いたカバーを固定し、プレスイープカバーサポートで固定します。



4. 左ブラシームノブを緩めて取り外します。



5. 左ブラシームを取り外します。



6. プレスイープサイドスカートとサイドスカートプレートにプレスイープアセンブリーに固定する3つのノブを取り外します。





7. サイドスカートプレートとサイドスカートを  
プレスイープアセンブリーから取り外します  
。



8. シリンダーブラシを取り外し、新しいブラシ  
と交換します。



9. 新しいブラシの溝が付いた端をドライブハブ  
に取り付けます。
10. サイドスカート、サイドスカートプレート、  
左ブラシアームを元どおり取り付けます。



### スクイジーブレード

毎日、スクイジーブレードの損傷や磨耗を点検してください。ブレードが磨耗したら、エッジを逆にするか上下を逆にして、新しい拭き取りエッジの部分を使用してください。すべてのエッジが磨耗したら、ブレードを交換してください。

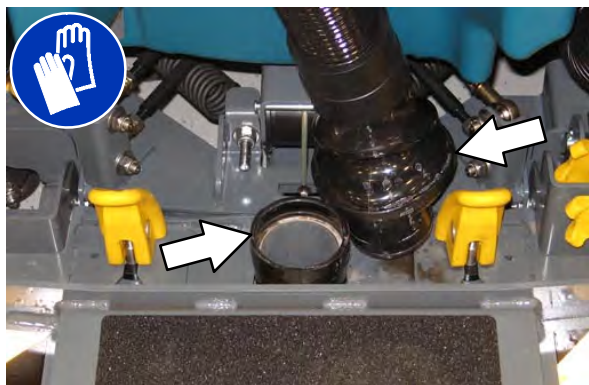
毎日、または様々な種類の表面を洗浄する場合、スクイジーブレードの反りを点検してください。リヤスクイジーは、50操作時間毎に水平を点検してください。

#### リヤスクイジーブレードの交換（またはローテーション）

1. 必要に応じてリヤバンパードア/ステップを下げます。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

2. バキュームホースをリヤスクイジーアセンブリーから取り外します。



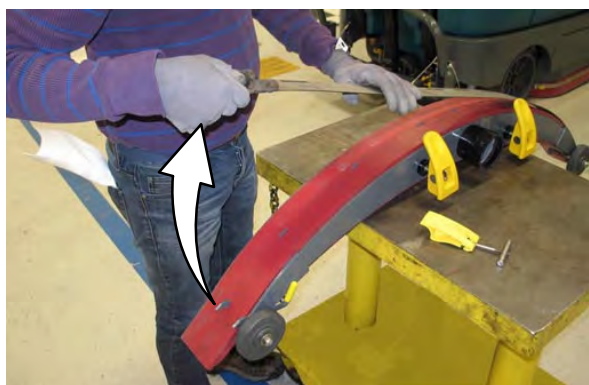
3. 両方のスクイジー取り付けハンドルを緩めます。



4. 本機からリヤスクイジーアセンブリーを取り外します。



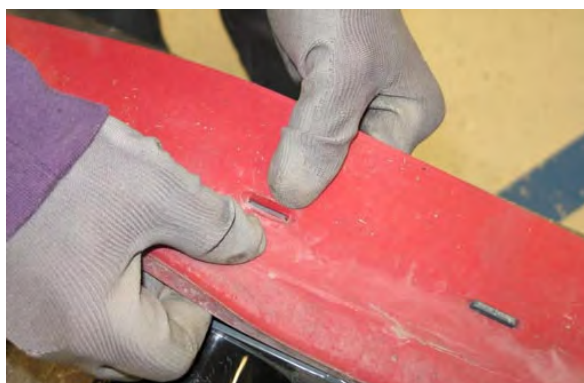
5. リヤリテーナラッチを緩め、ラッチとリテーナをスクイージーアセンブリーから取り外します。



6. スクイージーアセンブリーからリヤスクイージーを取り外してください。



7. ローテーションしたスクイージーブレード、または新しいスクイージーブレードをリヤスクイージーアセンブリーに置きます。スクイージーが、リヤスクイージーアセンブリーの各タブに確実に取り付けられていることを確認してください。



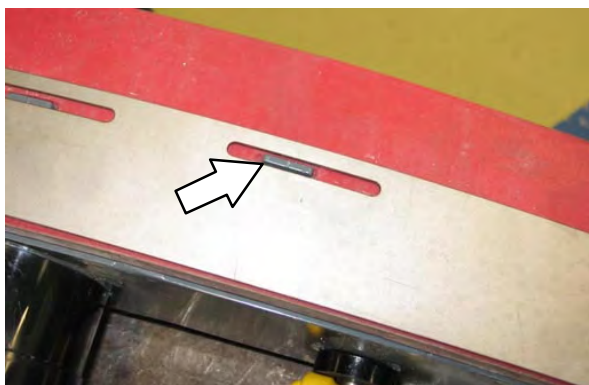
8. リテーナのヒンジ端部をリヤスクイージーアセンブリーのフックに挿入します。





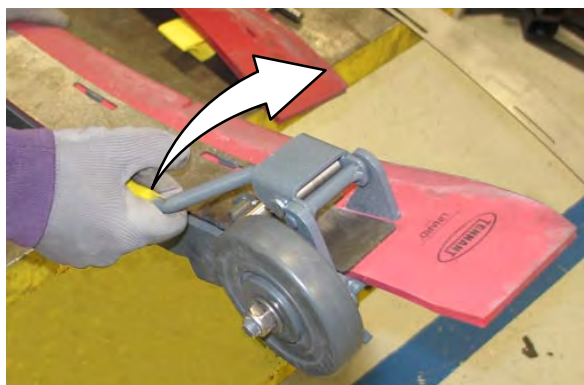
## メンテナンス

9. スクイージーアセンブリー全体にリテーナを取り付け、スクイージーアセンブリーのタブをリテーナのスロットに位置合わせし、ラッチをスクイージーアセンブリーの反対側に固定します。



10. スクイージーアセンブリーの前部の作業をするには、リヤスクイージーアセンブリーを反転させます。

11. フロントリテーナラッチを緩め、ラッチとリテーナをスクイージーアセンブリーから取り外します。



12. スクイージーアセンブリーからフロントスクイージーを取り外します。



13. ローテーションしたスクイジーブレード、または新しいスクイジーブレードをスクイジーアセンブリーに取り付けます。スクイジーブレードの穴がタブに掛けられていることを確認してください。



14. リヤスクイジーアセンブリーにフロントスクイジーリテーナを取り付けます。



15. 本機にリヤスクイジーアセンブリーを取り付けます。
16. リヤスクイジーアセンブリーで作業するためにリヤバンパードア/ステップを下げていた場合は、上げます。



### リヤスクイージーの水平調整

スクイージーブレードが洗浄する表面全体を均等に洗浄するためには、スクイージーの水平が大切です。この調整は、平坦で水平な床でおこなってください。

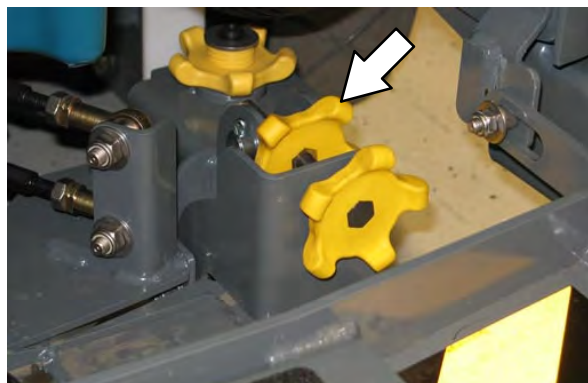
1. スクイージーを下げ、本機を数メートル前進させ、ゆっくり停止します。
2. スクイージーブレード全体で、スクイージーの反りを点検してください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

3. リヤバンパードア/ステップを下げます。
4. ブレード全体の反りが均等ではない場合、チルト調整ノブを使用して調整してください。

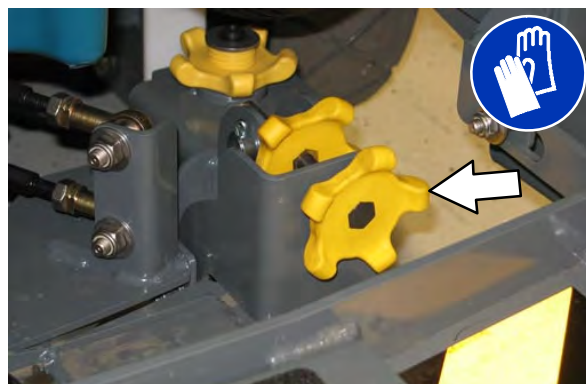
スクイージーの水平を調整しているときは、バキュームホースをスクイージーフレームから取り外さないでください。

5. スクイージーの水平を調整するには、チルトロックノブを緩めます。



6. チルト調整ノブを左（反時計回り）に回すと、スクイージーブレードの両端の反りが小さくなります。

チルト調整ノブを右（時計回り）に回すと、スクイージーブレードの両端の反りが大きくなります。



7. チルトロックノブを締めます。
8. 調整後、スクイージーを下げ、本機を前進運転し、スクイージーブレードの反りを再度確認してください。
9. 必要に応じて、スクイージーブレードの反りを再調整してください。
10. リヤスクイージーの水平調整完了後、リヤバンパードア/ステップを上げます。

# リヤスクイジーブレードの反りの調整

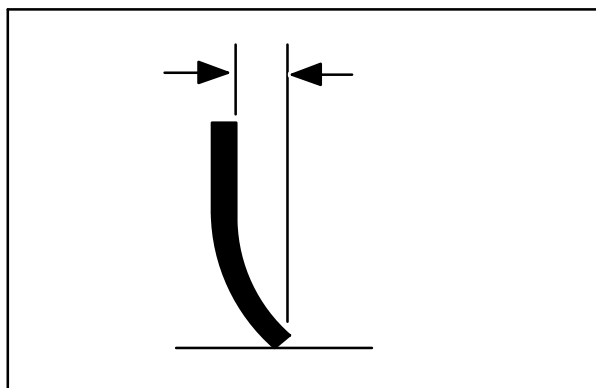
反りとは、本機が前方に動いたときにスクイジーブレードの全体が曲がる度合いのことです。最小の反りで床を拭き取る状態が、スクイジーの最適な反り状態です。

注記：反りを調整する前に、スクイジーが水平であることを確認してください。「リヤスクイジーの水平調整」を参照してください。

1. スクイジーを下げ、本機を数メートル前進させ、ゆっくり停止します。

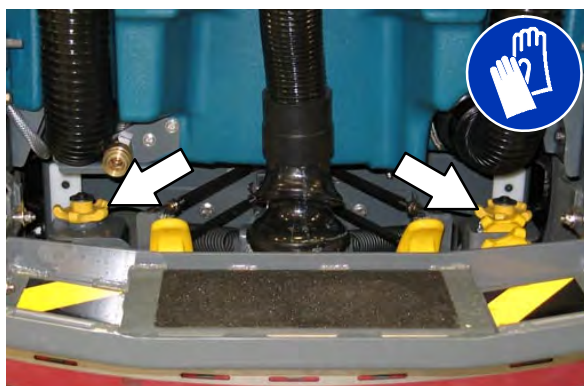
安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

2. スクイジーブレードの反りまたは「曲がり」の度合いを確認してください。滑らかな床を洗浄する場合の適切な反りは、12 mm ( 0.50インチ ) です。凹凸のある床を洗浄する場合の適切な反りは、15mm ( 0.62インチ ) です。

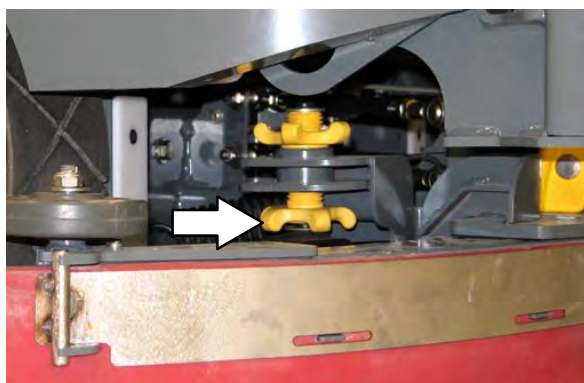


3. リヤバンパードア/ステップを下げます。

4. スクイジーブレード全体の反りを調整するには、本機両側のロックノブを緩めます。



5. 調整ノブを右（時計回り）に回すと反りが大きくなり、左（反時計回り）に回すと反りが小さくなります。



6. ロックノブを締めます。
7. 本機を前進運転し、スクイジーブレードの反りを再度点検してください。
8. 必要に応じて、スクイジーブレードの反りを再調整してください。
9. リヤスクイジーブレードの反りの調整完了後、リヤバンパードア/ステップを上げます。

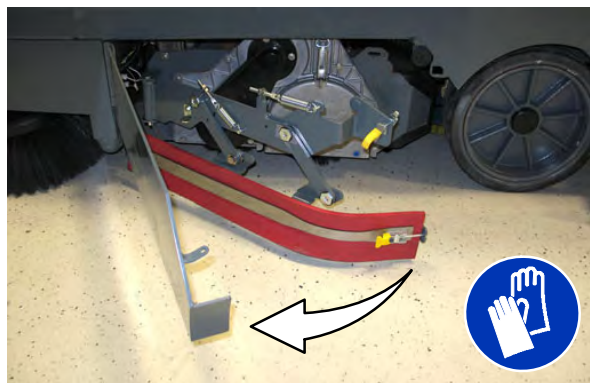
## メンテナンス

### サイドスクイージーブレードの交換またはローテーション

1. 必要に応じて、洗浄ヘッドを上げます。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

2. メインブラシ点検ドアとサイドスクイージーサポートドアを開けます。



3. サイドスクイージーアセンブリーからリテーニングバンドのラッチを外してください。



4. サイドスクイージーアセンブリーからリテーニングバンドを取り外してください。

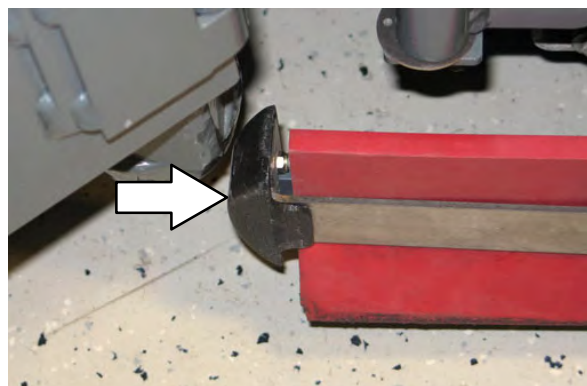


5. サイドスクイージーアセンブリーからスクイージーブレードを取り外してください。



6. 入れ替えたリヤスクイージーブレード、または新しいリヤスクイージーブレードをサイドスクイージーアセンブリーに取り付けます。

7. サイドスクイージーアセンブリーのリテーニングバンドリテーナタブにリテーニングバンドをかけてください。



8. サイドスクイージーアセンブリーにリテーニングバンドラッチを固定してください。



9. スクイージーサポートドアを閉じて固定し、メインブラシ点検ドアを閉じます。

10. 洗浄ヘッドのもう一方のサイドスクイージーで、この手順を繰り返します。



## サイドブラシスクイジーブレードの交換またはローテーション (オプション)

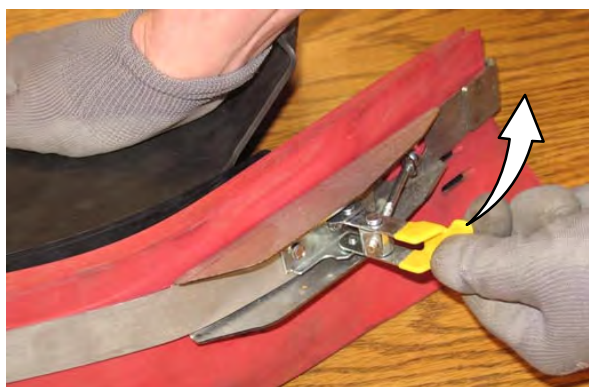
安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

サイドブラシスクイジーブレードの損傷や磨耗を、毎日点検してください。先端がブレードの半分以下の厚さに磨耗または損傷している場合は、ブレードを交換してください。

1. サイドブラシスクイジーアセンブリハンドルを緩め、本機からスクイジーアセンブリを取り外します。



2. リテーニングバンドのラッチを緩めてください。



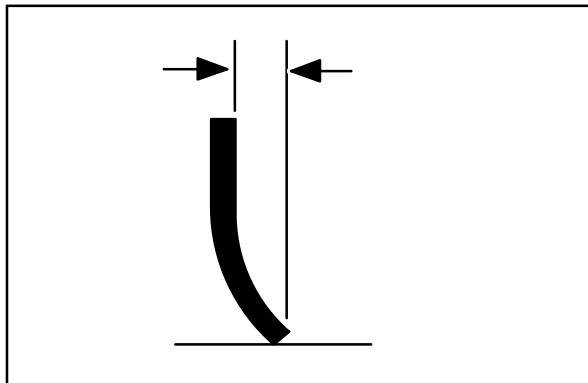
3. リテーニングバンド、スクイジーブレードおよびスペーサーをスクイジーフレームから取り外します。



注記：スクイジーを取り外す前に、スクイジーフレームに取り付けられたスクイジーのロットを確認してください。



注記：スクイジーブレードには、スクイジーブレードの反りを調整するためのスロットがあります。滑らかな床の場合は、スクイジーの反りが12mm (0.50インチ) になるように取り付けてください。凹凸のある床の場合は、スクイジーの反りが15mm (0.62インチ) になるように取り付けてください。



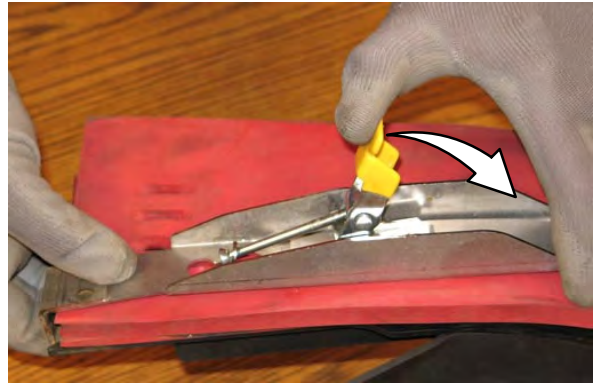


## メンテナンス

4. 入れ替えたスクイジーブレード、または新しいスクイジーブレード、スペーサー、リテーニングバンドをサイドブラシアセンブリに取り付けます。スクイジーブレードの穴がタブに掛けられていることを確認してください。



5. サイドブラシリテーニングバンドのラッチを締めてください。



6. サイドブラシスクイジーアセンブリーをサイドブラシアセンブリの上に元通り取り付けます。

## スカートとシール

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

### 汚水回収タンクシール

汚水回収タンクカバーシールの磨耗や損傷を点検してください。



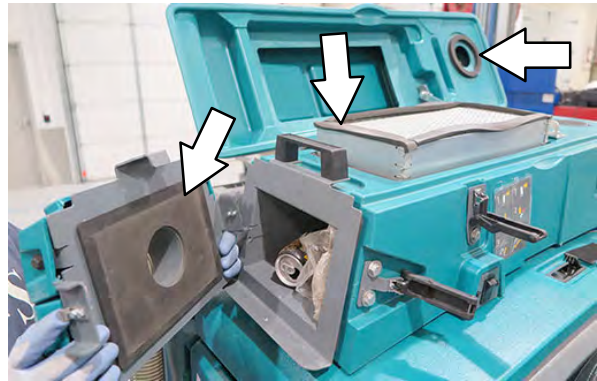
### 洗浄液タンクのシール

洗浄液タンクカバーシールの磨耗や損傷を点検してください。



## ライブワンドバキュームシール (オプション)

50操作時間毎に、ドライバキュームシールの磨耗や損傷を点検してください。



## メンテナンス

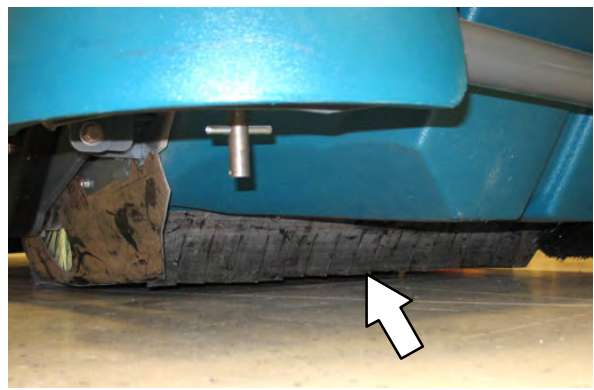
洗浄ヘッドスカート ( ディスク洗浄ヘッドのみ )

50操作時間毎に、洗浄ヘッドスカートの磨耗や損傷を点検してください。



プレスイープスカート ( オプション )

プレスイープスカートは、プレスイープメインブラシの周囲にあります。



50操作時間毎に、スカートの磨耗や損傷を点検してください。

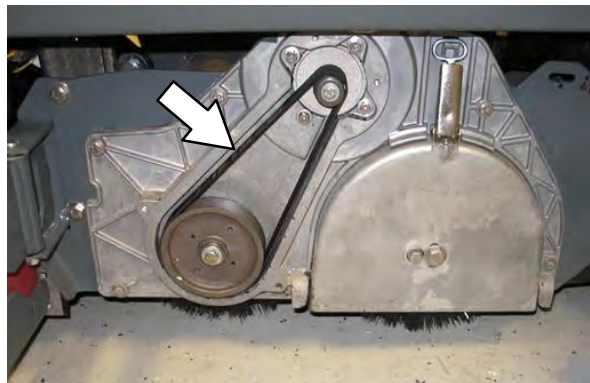


## ベルト

### シリンダーブラシのドライブベルト

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

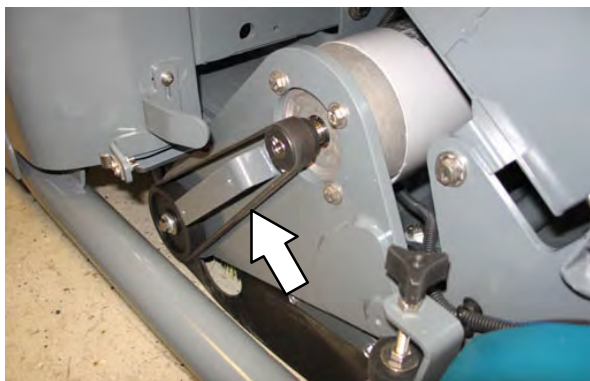
ブラシのドライブベルトは、シリンダーブラシ洗浄ヘッドに付いています。200操作時間毎に、ベルトの磨耗や損傷を点検してください。



### プレスイープブラシのドライブベルト (オプション)

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

プレスイープブラシのドライブベルトは、シリンダーブラシの右側のプレスイープアセンブリー内にあります。200操作時間毎に、ベルトの磨耗や損傷を点検してください。



## ブレーキ

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

フットブレーキとパーキングブレーキは、リアホイールのブレーキを制御するリンクージを操作します。

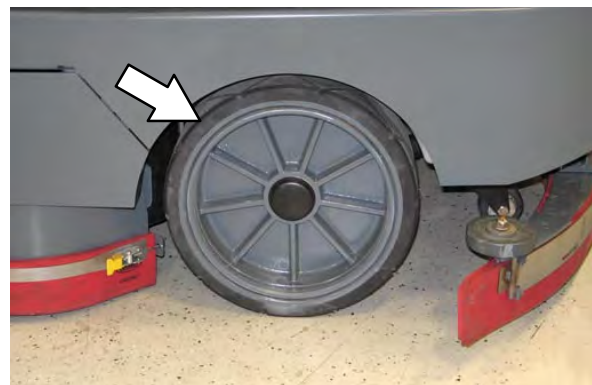
フットブレーキを掛けるときに、ペダルの踏みしろが25mm (1in) 以上にならないようにしてください。200操作時間毎に、ブレーキの調整を確認してください。



## タイヤ

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

本機には、ゴム製ソリッドタイヤが3本、それぞれ前側に1本、後側に2本装着されています。500操作時間毎に、タイヤの磨耗や損傷を点検してください。





### 本機の牽引・後押し・輸送

#### 本機の牽引・後押し

安全のために：本機を点検整備する場合は、オペレーターが運転席にいない状態で本機を押したり牽引したりしないでください。

本機が故障した場合、前後どちらからも押すことができますが、牽引できるのは前方からのみです。注意してください。

本機を移動（押すまたは牽引）する場合は、ごく短い距離に限定し、3.2 kph (2 mph)を超える力を加えないようにしてください。本機は、長い距離や高速で押したり牽引したりするようには設計されていません。

注意！本機を長い距離押したり牽引したりしないでください。走行装置に損傷を引き起こすことがあります。

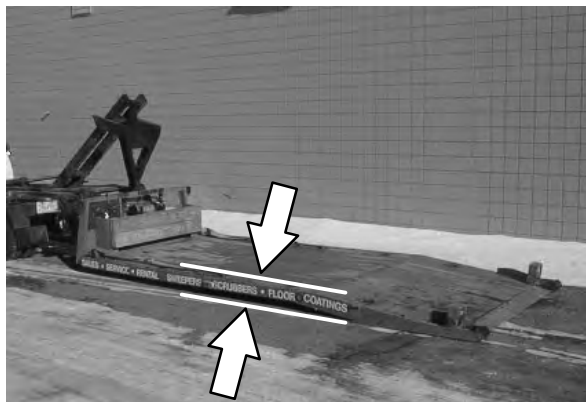
#### 本機の輸送

1. スクイージー、洗浄ヘッド、ブラシを上げます。

安全のために：本機をトラックまたはトレーラーに積み降ろしする際は、積み降ろし前にタンクを空にしてください。

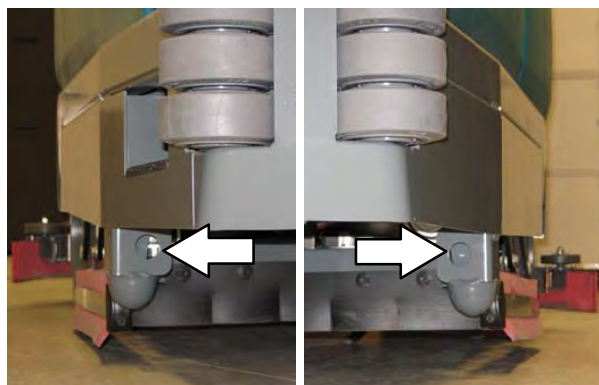
2. 本機をトラックまたはトレーラーの積み込み口につけます。
3. 積み込み面が水平でない場合、または地面より380mm以上の高さがある場合、本機の積み込みにはウィンチを使用してください。

積み込み面が水平で、地面から380mm（15インチ）以下である場合は、本機を運転しながらトラックまたはトレーラーに積むことができます。

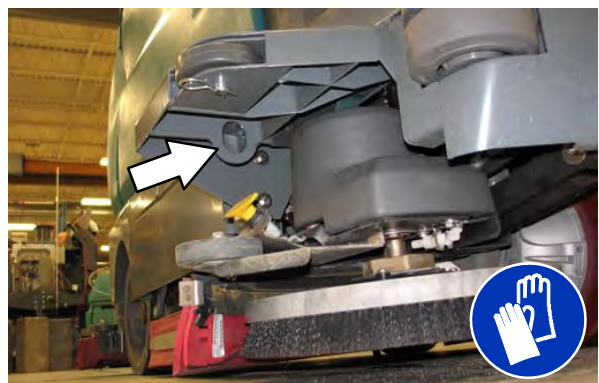


安全のために：本機をトラックまたはトレーラーに積み降ろしする時は、ウィンチを使用してください。積み込み面が水平でなく、地面から380mm以上の高さがある場合は、本機を運転しながらトラックまたはトレーラーに積み降ろししないでください。

- トラックまたはトレーラーにウィンチで載せるには、ウィンチのチェーンをスタビライザーの脚部に取り付けます。



洗浄サイドブラシオプションを装備した機種のみ：ウィンチのチェーン1本を洗浄サイドブラシアセンブリ上部のステップに取り付け、他方を本機の反対側にあるスタビライザーに取り付けます。

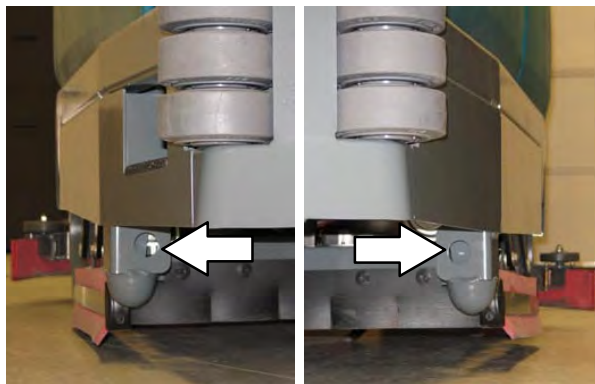


- 本機はトラックまたはトレーラーのフロント部にできるだけ近づけて配置してください。本機がトラックまたはトレーラーの中央線からそれて始動した場合は、いったん停止させ、ステアリングホイールを回して本機を中央に戻してください。

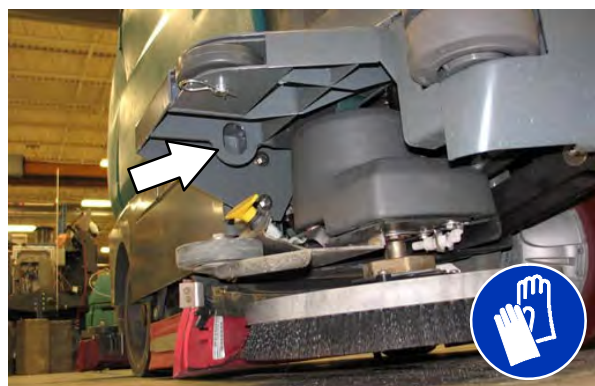
安全のために：本機をトレーラーのトラックに積みおろしする際には、平らな場所で停止し、パーキングブレーキをかけて、すべての固定用ロープで固定するまでキーをオン位置のままにしてください。

注記：キーがオンの位置にある場合、ドライブホイールのダイナミックブレーキシステムが稼働します。

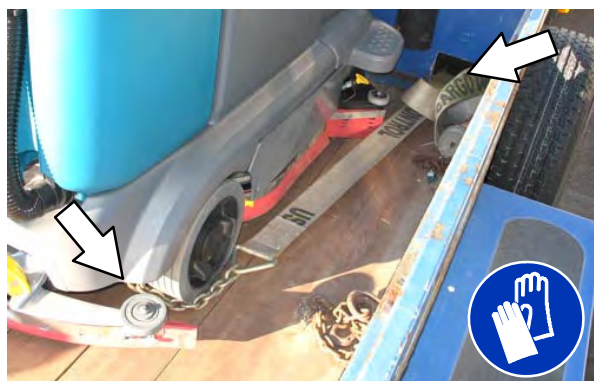
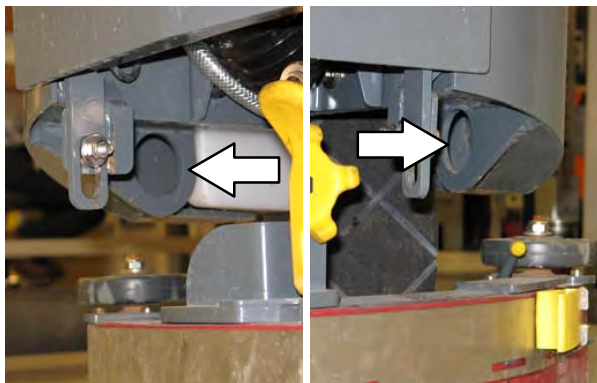
- 本機が動かないよう、それぞれのホイールの後ろに止め木を置いてください。
- 洗浄ヘッドと後部スクイージーを下げます。
- 固定用ロープを本機前部にある左右スタビライザーに取り付けます。



洗浄サイドブラシオプションを装備した機種のみ：固定用ロープ1本を洗浄サイドブラシアセンブリ上部のステップに取り付け、他方を本機の反対側にあるスタビライザーに取り付けます。



9. 固定用ロープを本機の後部にあるリヤジャッキングブラケットの穴に取り付けます。



注記：キーがオンの位置にある場合、ドライブホイールのダイナミックブレーキシステムが稼働します。

10. 本機の電源を切り、固定後にキーを抜きます。

本機の積み降ろし

1. パーキングブレーキをかけ、キーをオンの位置に回します。

注記：キーがオンの位置にある場合、ドライブホイールのダイナミックブレーキシステムが稼働します。

2. 本機からロープを外し、ブロックを外します。
3. 積み込み面が水平でない場合、または地面より380mm以上の高さがある場合、本機の積み降ろしにはウィンチを使用してください。

積み込み面が水平で、地面から380mm (15インチ) 以下の場合、本機を運転しながらトラックまたはトレーラーから降ろすことができます。

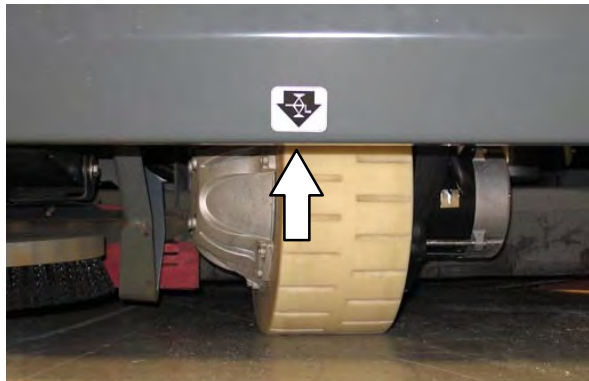
安全のために：本機をトラックまたはトレーラーから降ろすときは、ウィンチを使用してください。積み込み面が水平でなく、地面から380mm (15インチ) 以上の高さがある場合は、本機を運転しながらトラックまたはトレーラーから降ろさないでください。

## 本機のジャッキアップ

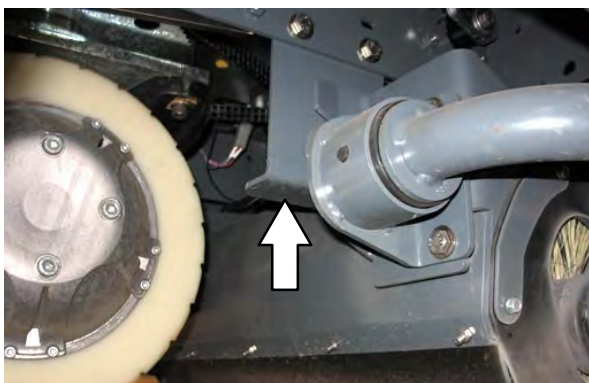
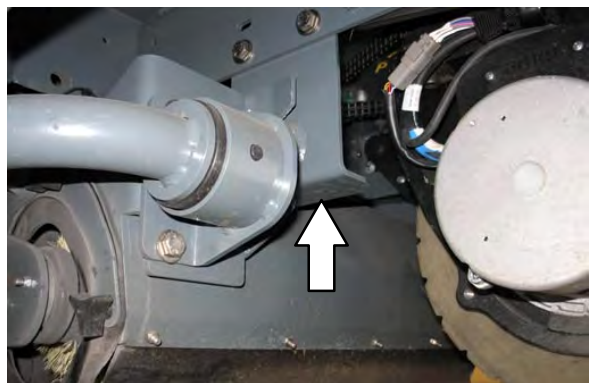
安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてキーを抜いてください。

本機をジャッキアップする前に、汚水回収タンクと洗浄タンクを空にしてください。

すべてのマシンの前部にあるジャッキポイント位置。



プレスイープオプションを搭載している機種の前部にあるジャッキポイント位置。



すべての機種の後部にあるジャッキポイント位置



安全のために：本機を点検整備するときは、本機のタイヤを輪留めで止めてからジャッキで持ち上げてください。本機の重量を支えられるホイストまたはジャッキを使用してください。指定された位置にのみジャッキを当ててください。ジャッキスタンドで本機を支えてください。



### ec-H2Oモジュールの洗浄手順

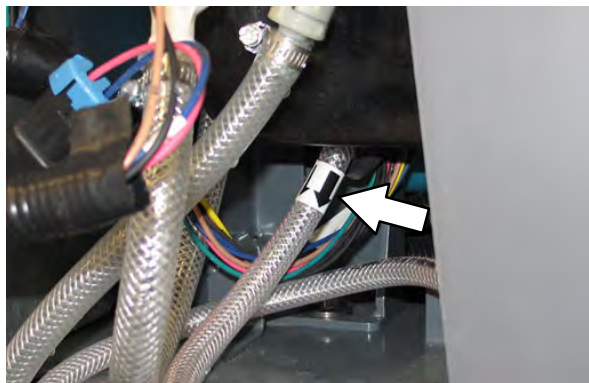
この手順は、赤色のインジケータライトが点滅しアラームが鳴った場合のみ、実行してください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてください。

1. *ec-H2O*アセンブリーにアクセスするには、右シールドを開きます。
2. *ec-H2O*マニホールドから出口ホースを取り外すには、コネクターボタンを押します。



注記：出口ホースを識別するには、*ec-H2O*アセンブリー下部のホース接続部付近にある矢印を確認してください。



3. *ec-H2O*室からドレンホースを取り外します。

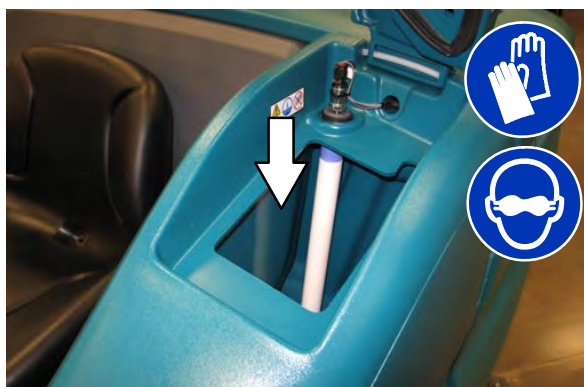
4. ドレンホースを *ec-H2O* 出口ホースに接続します。



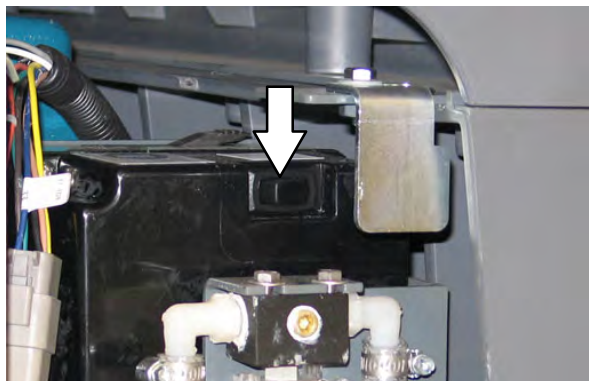
5. ドレンホースを空の容器に入れてください。



6. ホワイトビネガーまたはライスビネガーを約 7,6リットル (2ガロン) 洗浄液タンクに注いでください。



7. 本機を始動してください。
8. *ec-H2O*モジュールフラッシュスイッチをオンにして、洗浄サイクルを開始してください。



注記：洗浄サイクルが終了すると（約7分後）、自動的にモジュールの電源が切れます。システムのインジケータライトとアラームを解除するには、モジュールを完全に7分間運転しなければなりません。

9. きれいな冷水を約7.6リットル（2ガロン）洗浄液タンクに注いでください。
10. フラッシュスイッチをオンにして、モジュールに残ったビネガーを洗い流してください。1～2分後、フラッシュスイッチを再度押し、モジュールを停止してください。
11. *ec-H2O*マニホールドホースからドレンホースを取り外します。
12. 出口ホースを *ec-H2O*マニホールドホースに再接続してください。
13. ドレンホースを *ec-H2O*室の保管場所に戻します。
14. 右シユラウドを閉じます。

## 保管情報

本機を長期間保管する場合は、以下に注意してください。

1. バッテリーの寿命を延ばすため、本機を保管する前にバッテリーを充電してください。1か月に1回、バッテリーを再度充電します。
2. 保管する前にバッテリーを外します。
3. 洗浄液タンクと汚水回収タンクを完全に空にし、洗浄してください。
4. スクイージーと洗浄ヘッドは浮かしたままで、乾燥した場所に本機を保管してください。

**注意：**本機に雨がからないよう、屋内に保管してください。

5. 汚水回収タンクのカバーを開き、空気の循環をよくしてください。
6. 本機を寒冷地で保管する場合は、「凍結防止」に従ってください。

**注記：**損傷を防ぐために、本機を齧歯類や虫のいない環境で保管してください。

## 凍結防止

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてください。

1. 洗浄液タンク、汚水回収タンク、洗剤タンクを完全に空にしてください。
2. 7.6リットル（2ガロン）のプロピレングリコールを主成分とする不凍液、またはRV用不凍液を洗浄液タンクに入れてください。



3. オプションの洗剤タンクのみ装備した機種：1.9リットル（1/2ガロン）のプロピレングリコールを主成分とする不凍液/RV用不凍液を洗剤タンクに入れてください。



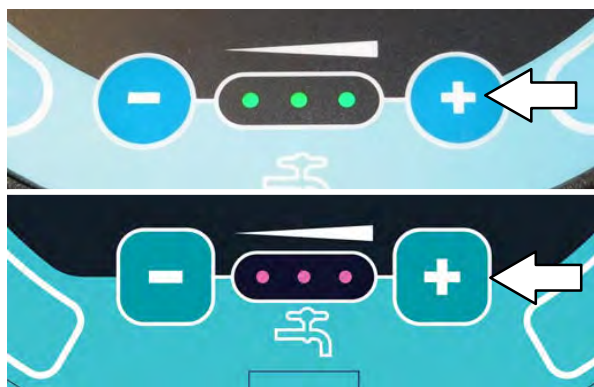
**注記：**オプションのESシステムを装備した機種では、プロピレングリコールを主成分とする不凍液、またはRV用不凍液をポンプラインに充填する必要があります。

4. 電源スイッチを入れます。
5. 1-STEPボタンを押します。





6. 洗浄液の流量が最大の設定になるまで、**洗浄液増量ボタン(+)**を繰り返し押してください。



標準パネル

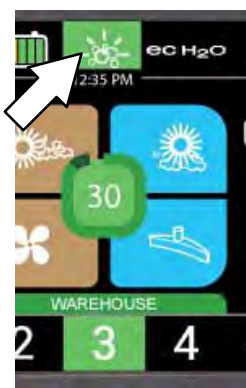


Pro-Panels

7. 過酷環境スイッチオプションを装備した機種のみ：過酷環境洗浄システムを作動させる場合は、**過酷環境スイッチ**の下部分または過酷環境ボタンを押してください。

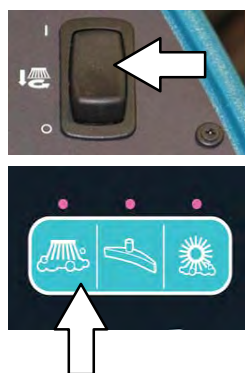


標準パネル



プロパネル

8. 洗浄サイドブラシオプションを装備した機種のみ：**サイドブラシスイッチ**または**サイドブラシボタン**を押し、サイドブラシを起動してください。



標準パネル



プロパネル

9. 不凍液がシステム全体に行き渡り、残った水がすべてなくなるまで本機を運転してください。
10. 洗浄サイドブラシオプションを装備した機種のみ：**サイドブラシスイッチ**を押し、サイドブラシを停止してください。
11. 本機を停止させます。
12. スプレーノズルオプションを装備した機種のみ：ポンプの保護のために、ワンドを数秒間作動させてください。
13. 高圧ウォッシャーオプションを装備した機種のみ：高圧ウォッシャーを不凍液でプライミングし、ポンプを保護するために高圧ウォッシャーを数秒間作動させます。「**高圧ウォッシャーポンプのプライミング**」を参照してください。
14. **1-STEP**ボタンを押し、システムの電源を切ってください。
15. 本機の電源を切ります。
16. 残った不凍液は、洗浄液タンク、汚水回収タンクおよび洗剤タンクから抜き取る必要はありません。



## メンテナンス

### 保管後の運転に備えて

不凍液は、本機の使用前に洗浄システムから完全に抜き取る必要があります。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてください。

1. 不凍液を洗浄液タンクから完全に抜き取ります。
2. 洗浄液タンクをすすいでください。洗浄液タンクの清掃方法は、「操作」の項の、「洗浄液タンクの排水と清掃」の項を参照してください。
3. 11.4リットル（3ガロン）のきれいな冷水を洗浄液タンクに入れてください。



4. オプションの洗剤タンクのみ装備した機種：1.9リットル（1/2ガロン）のきれいな冷水を洗剤タンクに入れてください。

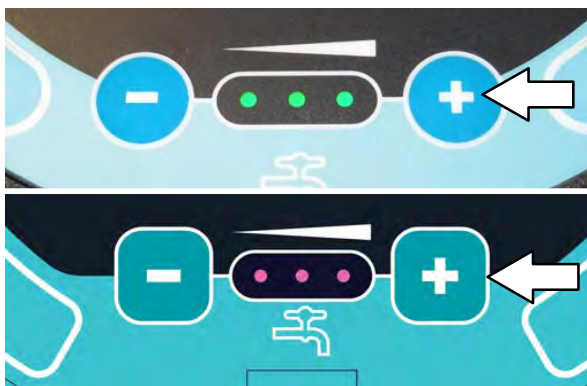


5. 本機を始動してください。

6. 1-STEPボタンを押します。



7. 洗浄液の流量が最大の設定になるまで、洗浄液増量ボタン(+)を繰り返し押ししてください。



標準パネル



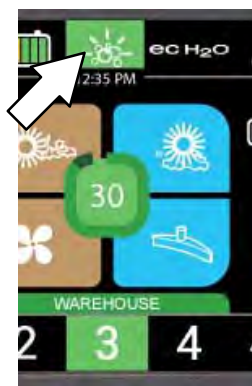
Pro-Panel

注記：ec-H2Oを搭載した機種のec-H2Oシステムは、本機の動作準備完了前にプライミングしてください。詳細については、「ec-H2Oシステムのプライミング」を参照してください。

8. 過酷環境スイッチオプションを装備した機種のみ：過酷環境洗浄システムを作動させる場合は、**過酷環境スイッチ**の下部分を押してください。



標準パネル



プロパネル

9. 洗浄サイドブラシオプションを装備した機種のみ：**サイドブラシスイッチ**を押し、サイドブラシを起動してください。



標準パネル



プロパネル

10. タンクが空になるまで本機を運転してください。

11. 洗浄サイドブラシオプションを装備した機種のみ：**サイドブラシスイッチ**を押し、サイドブラシを停止してください。

注記：オプションのESシステムを装備した機種では、ポンプラインから不凍液を抜き取る必要があります。

12. 本機を停止させます。

13. スプレーノズルオプションを装備した機種のみ：ワンドを数秒間作動させ、不凍液をポンプから排出してください。

14. **1-STEP**ボタンを押し、システムの電源を切ってください。

15. 高圧ウォッシャーオプションを装備した機種のみ：洗浄液タンクへのリターンラインを取り外して、バケツに入れます。



高圧ウォッシャーを数秒間作動させ、不凍液をポンプから排出します。レバーをさらに数秒間解除すると、リターンラインから不凍液がバケツに排出されます。高圧ウォッシャースイッチをオフにし、リターンラインを洗浄液タンクに再接続します。

**警告：**他の人や動物に向けて噴霧しないでください。重傷を引き起こすことがあります。保護眼鏡を着用してください。スプレイヤーは必ず両手で持ってください。



16. 本機の電源を切ります。



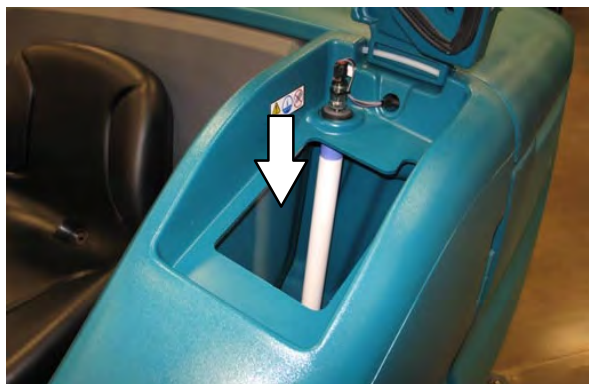
## メンテナンス

### ec-H2Oシステムのプライミング

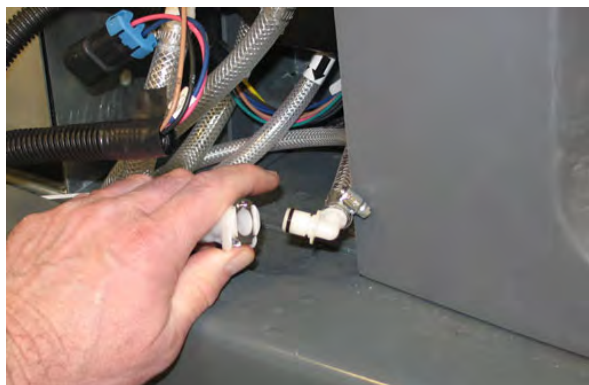
洗浄液タンクまたはec-H2Oシステムを空にしたまま本機を長期間保管した場合は、ec-H2Oシステムをプライミングしてください。

安全のために：本機から離れる場合または点検整備を行う場合は、本機を水平な場所に止め、電源を切り、パーキングブレーキを掛けてください。

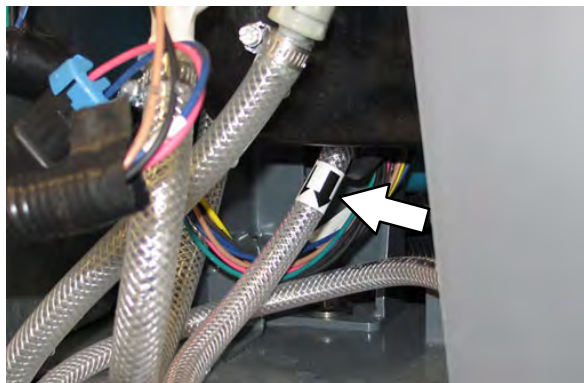
1. 洗浄液タンクにきれいな冷水を入れてください。本マニュアルの「洗浄液タンクの注水」の項を参照してください。



2. ec-H2Oアセンブリーにアクセスするには、右シユラウドを開きます。
3. ec-H2Oマニホールドから出口ホースを取り外すには、コネクターボタンを押します。



注記：出口ホースを識別するには、ec-H2Oアセンブリー下部のホース接続部付近にある矢印を確認してください。



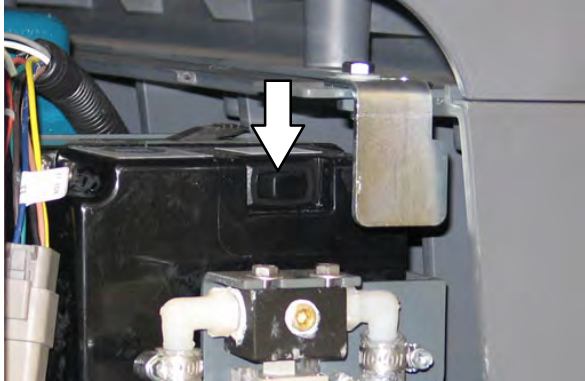
4. ec-H2O室からドレンホースを取り外します。
5. ドレンホースをec-H2O出口ホースに接続します。



6. ドレンホースを空の容器に入れてください。



7. 本機を始動してください。
8. *ec-H2O*モジュールのフラッシュスイッチをオンにしてください。システムから水を2分間、容器に抜き取ってください。



9. *ec-H2O*モジュールのフラッシュスイッチを押し、システムを停止してください。
10. *ec-H2O*マニホールドホースからドレンホースを取り外します。
11. 出口ホースを *ec-H2O*マニホールドホースに再接続してください。
12. *ec-H2O*室に元通りドレンホースを収納します。
13. 右シュラウドを閉じます。



## 仕様

## 本機の寸法と容量

項目	寸法/容量
全長 ( S/N 013000- )	2245 mm ( 88.4インチ )
全長 ( S/N 000000-012999 )	2230 mm ( 87.9インチ )
全長 ( プレスイープ装置含む ) ( S/N 013000- )	2880 mm ( 113.4インチ )
全長 ( プレスイープ装置含む ) ( S/N 000000-012999 )	2870 mm ( 113インチ )
全幅 ( スクイージーを除く )	1168 mm ( 46インチ )
全幅 ( スクイージーを含む )	1245 mm
全幅 ( サイドブラシを含む )	1346 mm ( 53インチ )
ホイールベース	1163 mm ( 45.8インチ )
全高 ( ステアリングホイールの上部 )	1480 mm
高さ ( 高圧ウォッシャーオプションを含む )	1680 mm ( 66.2インチ )
高さ ( ライブワンドオプション - プロモデルを含む )	1766 mm ( 69.5インチ )
高さ ( ライブワンドオプション、バックミラーを含む )	1979 mm ( 77.9インチ )
全高 ( ヘッドガード付き )	2096 mm
トレッド	1041 mm
ディスクブラシ直径	510 mm
シリンダーブラシ直径	230 mm
シリンダーブラシ全長	1015 mm
洗浄サイドブラシ用ディスクブラシ直径 ( オプション )	411 mm ( 16.18インチ )
清掃サイドブラシ用ディスクブラシ直径 ( オプション )	482.60 mm ( 19インチ )
プレスイープ用ディスクブラシ直径 ( オプション )	482.60 mm ( 19インチ )
プレスイープ用シリンダーブラシ直径 ( オプション )	203.20 mm ( 8インチ )
プレスイープ用シリンダーブラシ全長 ( オプション )	709.68 mm ( 27.94インチ )
洗浄幅	1015 mm
洗浄幅 ( 洗浄サイドブラシを含む )	1320 mm ( 52インチ )
洗浄幅 ( 右の清掃サイドブラシを含む )	1165 mm ( 46インチ )

項目	寸法/容量
洗浄幅 ( 両側の清掃サイドブラシを含む )	1320 mm ( 52インチ )
洗浄液タンク容量	285 L
汚水回収タンク容量	346 L ( 91.1ガロン )
洗剤タンク容量 ( オプション )	17.6 L
消泡空間	61 L
重量 ( 空 )	875 Kg ( 1925ポンド )
重量 ( 標準の510 AHバッテリーを含む )	1525 Kg ( 3365ポンド )
GVWR	2790 Kg ( 6150ポンド )
保護等級	IPX3

IEC 60335-2-72に準拠して決定された数値	測定値 - シリンダー洗浄ヘッド	測定値 - ディスク洗浄ヘッド
音圧レベル $L_{pA}$	68 dB ( A )	65 dB ( A )
音圧の不確定性 $K_{pA}$	2.8 dB ( A )	3.0 dB ( A )
音響出力レベル $L_{WA} +$ 不確定性 $K_{WA}$	88.2 dB ( A )	85.8 dB(A)
振動 - 手から腕	$<2.5 \text{ m/s}^2$	$<2.5 \text{ m/s}^2$
振動 - 全身	$<0.5 \text{ m/s}^2$	$<0.5 \text{ m/s}^2$

#### 本機の一般性能

項目	測定値
通路転回幅 ( サイドブラシなし )	2370 mm ( 93.25インチ )
通路転回幅 ( プレスイーブ使用時 )	2941 mm ( 115.75インチ )
走行速度 ( 前進 )	9 Km/h
洗浄時走行速度 ( 前進 )	6.5 Km/h
走行速度 ( 後進 )	5 Km/h
荷積み時の斜面の最大傾斜 ( 空の時 )	21%
洗浄時の斜面の最大傾斜	8.7%
洗浄時のランプの最大傾斜 ( オプションのランプキット装備時 )	10.5%
輸送時のランプの最大傾斜 ( GVWR )	12%
輸送時のランプの最大傾斜 ( GVWR ) ( オプションのランプキット装備時 )	14.8%
本機運転時の最大周辺温度	43_ C ( 110_ F )
本機の洗浄機能使用時の最低温度	0_ C ( 32_ F )

## 仕様

### 動力

タイプ	数量	ボルト	Ah 定格	重量
バッテリー ( 最大バッテリー寸法 : 406 mm ( 15.98インチ ) ( 全幅 ) × 963 mm ( 37.91インチ ) ( 全長 ) × 775 mm ( 30.51インチ ) ( 全高 )	1	36	510 @ 6時間レート	661 kg ( 1458ポンド )
	1	36	750 @ 6時間レート	963 kg ( 2124ポンド )
	1	36	930 @ 6時間レート	988 kg ( 2178ポンド )

タイプ	用途	VDC	kW ( hp )
電動式モーター	洗浄ブラシ ( ディスク )	36	1.125 (1.50)
	洗浄ブラシ ( シリンダー )	36	1.125 (1.50)
	バキュームファン	36	0.6 (0.8)
	走行	36	2.25 (3.0)
	高圧ウォッシャー	36	2.25 (3.0)
	ライブワンドバキューム	36	1.125 (1.5)

タイプ	VDC	amp	Hz	相	VAC
充電器 ( スマート )	36	21	45-65	1	85-265

### タイヤ

場所	タイプ	サイズ
フロント ( 1 )	ソリッド	幅 150 mm x 外径 350 mm
リヤ ( 2 )	ソリッド	幅 125 mm x 外径 380 mm

### 洗浄サイドブラシの洗浄液流量 ( オプション )

項目	測定値
洗浄液ポンプ	DC36V、最大1,51リットル/分

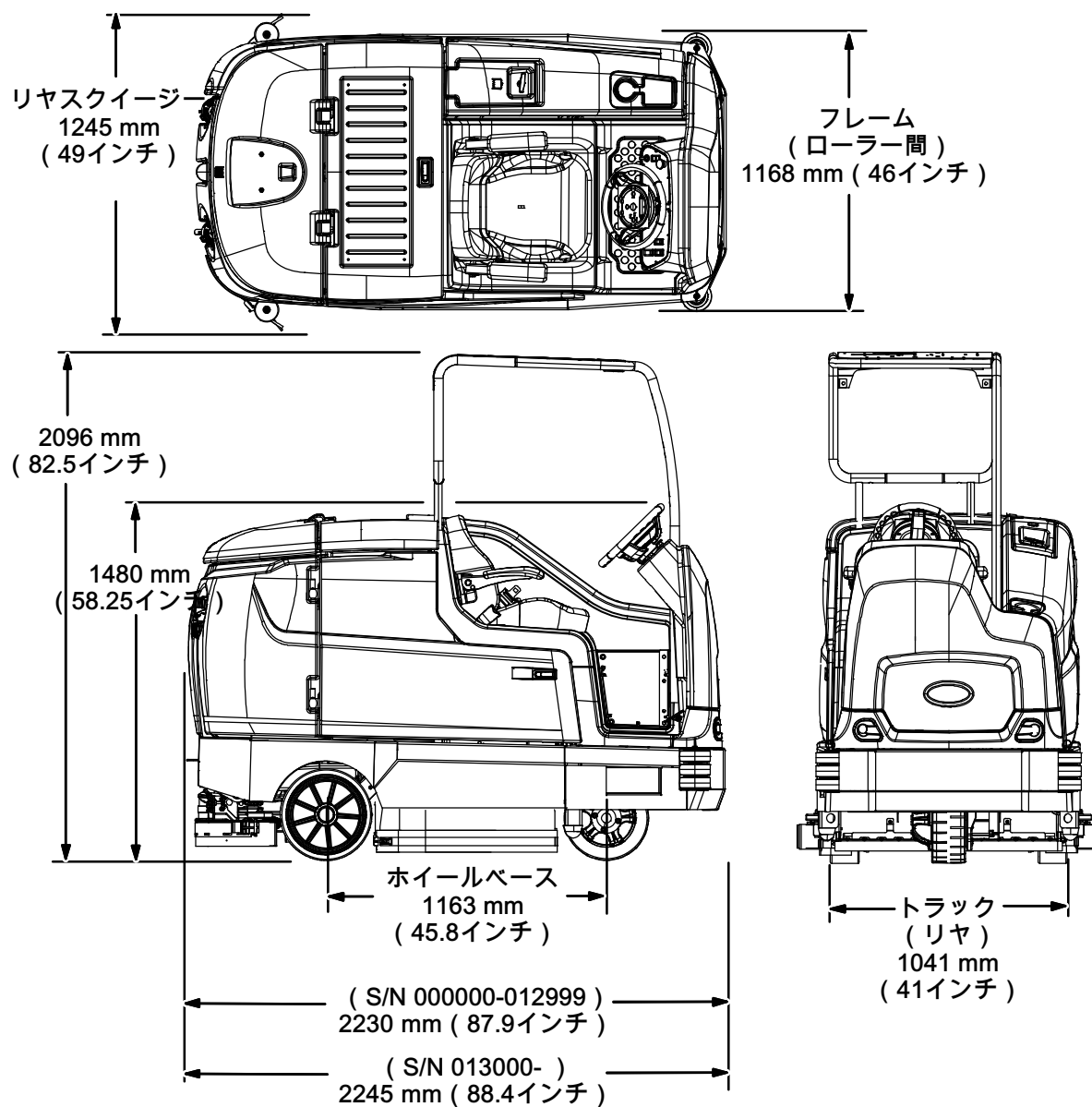
### ec-H2Oシステム (オプション)

項目	測定値
洗浄液ポンプ	DC36V、5A、流量6.8リットル/分
洗浄液流量 ( オプションの洗浄サイドブラシ 非装備の場合 )	最大3.79リットル/分
洗浄液流量 ( オプションの洗浄サイドブラシ 装備の場合 )	最大2.65リットル/分 - メイン洗浄ヘッドへ
	最大1.14リットル/分 - 洗浄サイドブラシへ

### 高圧ウォッシャー ( オプション )

項目	測定値
ポンプ圧 ( 最大 )	最大17236 kpa ( 2500 psi )
洗浄液の流量 ( 最大 @ 2500psi )	最大7.57リットル/分 ( 2.0 GPM )

## 本機の寸法



356389



## 管理者コントロール

### プロパネル管理者コントロール

管理者コントロール機能を使用して管理者は、オペレーターが本機で使用する洗浄設定をプログラムできます。ロックアウト機能は、オペレーターによる設定の変更や保存を防止する機能です。

管理者コントロール機能を使用することで、いつでも同じ状態で清掃作業ができるため、オペレーターの経験に関わらず作業品質を維持できます。また、オペレーターのトレーニング時間を削減します。

オペレーターホーム画面を表示するユーザーモードには2種類あります：

#### オペレーターモード -

管理者によって制御された許可と制限の下で本機を運転することができます。

#### 管理者モード -

すべての操作ボタンが利用可能な状態で本機の運転ができます。また、オペレーターモードの許可や制限を設定できます。

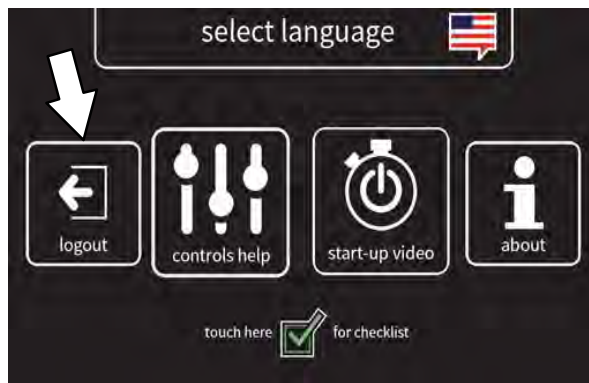
工場出荷後の初期状態では、本機は管理者モードで始動します。画面には事前に割り当てられたデフォルト管理者プロフィールが表示されます。出荷時設定の管理者ログイン番号は「1234」です。このログイン番号は有効化されるまで不要です。初期設定の管理者プロフィール名とログイン番号は本セクションで説明したように変更できます。新たに割り当てられた管理者モードログイン番号を忘れてしまった場合、テナント社のサービス部門までお問い合わせください。

#### 管理者モードの入力 - 初回のみ

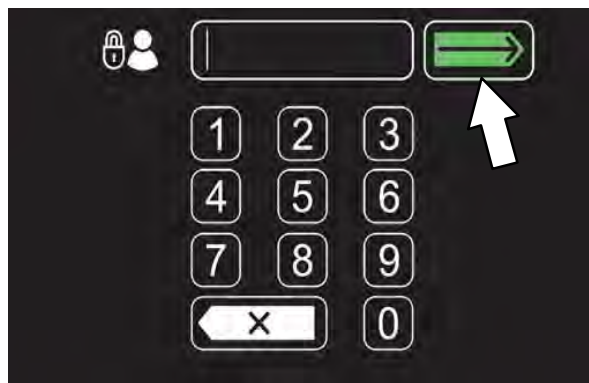
1. 電源スイッチを入れます。メインの操作画面がディスプレイに表示されます。
2. ヘルプボタンを押して、ヘルプ画面にアクセスします。




3. ログアウトボタンを押します。



4. キーパッドを使用して、出荷時設定の管理者ログイン番号「1234」を、キーパッドの上にあるディスプレイに入力します。管理者ログイン番号の入力が終了したら、Enterボタンを押します。



 必要に応じBackspaceボタンを押して、番号を削除し再び入力します。

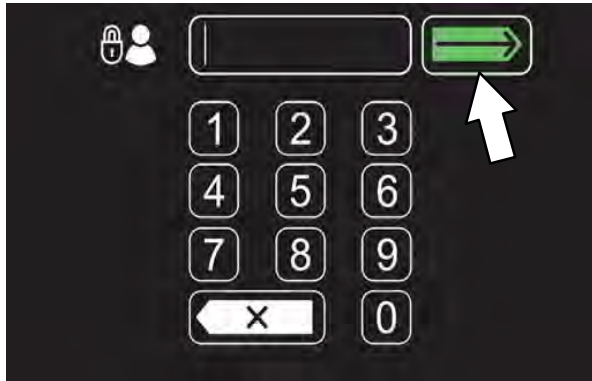
5. 管理者本機操作画面が、ディスプレイに表示されます。設定ボタンを押して、管理者設定画面にアクセスします。




6. プロファイルの追加/編集に進みます。

## 管理者モードの入力

1. 電源スイッチを入れます。ログイン画面がディスプレイに表示されます。
2. キーパッドを使用して、管理者ログイン番号をキーパッドの上にあるディスプレイに入力します。管理者ログイン番号の入力が終了したら、Enterボタンを押します。



 必要に応じBackspaceボタンを押して、番号を削除し再び入力します。

3. 管理者本機操作画面が、ディスプレイに表示されます。設定ボタンを押して、管理者設定画面にアクセスします。





## 管理者コントロール


### 管理者設定画面/画面アイコン


管理者メンテナンス画面を使用して、ユーザーパスワードやユーザー本機設定、その他の本機設定項目を設定/変更します。




 上向き矢印ボタンを押して、メニュー項目内を上に移動します。


 下向き矢印ボタンを押して、メニュー項目内を下に移動します。


 ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。


 「戻る」ボタンを押して、前の画面に戻ります。


以下のメニューボタンを使用して、さまざまな管理者設定メニュー/画面にアクセスします。


 ビデオヘルプボタンを押して、さまざまな本機のヘルプビデオにアクセスします。


 「プロフィールを追加/編集」ボタンを押して、本機のユーザーおよび管理者プロフィールを追加および/または削除、変更します。「**プロフィールの追加/編集**」を参照してください。


 「バッテリーの種類」ボタンを押して、本機で使用しているバッテリーの種類を変更します。「**バッテリーの種類の変更**」を参照してください。


 「ログイン可」ボタンを押して、本機の始動時に、どのユーザープロフィールでも必要なログイン番号を有効にします。


 「ログイン無効」ボタンを押して、本機の始動時に、どのユーザープロフィールでも必要なログイン番号を無効にします。「**ログインを無効にする**」を参照してください


 「タッチ補正」ボタンを押して、タッチポイントがずれた場合にタッチ画面の補正を行います。

 「チェックリストのエクスポート」ボタンを押して、「チェックリストのエクスポート」メニューにアクセスします。「**チェックリストのエクスポート**」を参照してください。

 「チェックリストの設定」ボタンを押して、「チェックリストの設定」メニューにアクセスします。「**操作前チェックリストを有効/無効にする**」を参照してください。

 「カメラ設定」ボタンを押して、カメラ設定画面にアクセスします。「**リアビューカメラ設定の変更**」を参照してください。

 日付/時刻の設定ボタンを押し、本機の日付と時刻をセットします。「**時間と日付の設定/変更**」を参照してください。

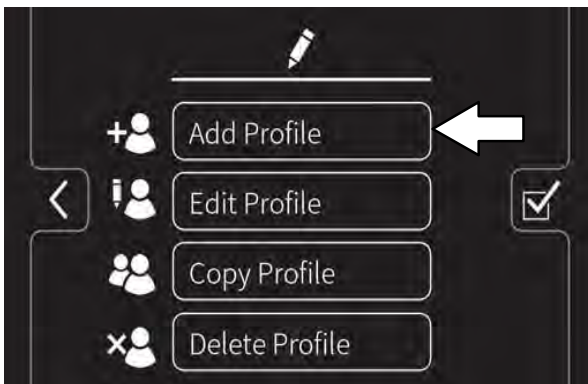
 「スクリーンロック」ボタンを押して、「スクリーンロック」設定画面にアクセスします。「**スクリーンロックの設定**」を参照してください。


## プロフィールの追加/変更


1. 本機の電源を入れ、管理者画面にログインし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「管理者モードの入力」を参照してください。
2. 「プロフィールの追加/編集」ボタンを押して、「プロフィールの追加/編集」画面にアクセスします。





3. 「プロフィールの追加」ボタンを押して、「プロフィールの追加」画面にアクセスします。





 「プロフィールの追加ボタン」を押して、画面とメニューにアクセスして新規プロフィールを追加します。

 「プロフィールを編集」ボタンを押して、既存のプロフィールを編集します。

 「プロフィールをコピー」ボタンを押して、既存のプロフィールをコピーします。

 「プロフィールを削除」ボタンを押して、既存のプロフィールを削除します。


 ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。


 「戻る」ボタンを押して、前の画面に戻ります。

4. 「オペレーター」ボタンを押して新規オペレーターを追加、または「管理者」ボタンを押して新規管理者を追加します。



注記：デフォルトの管理者は、プロフィール一覧から削除できません。

 「オペレーター」ボタンを押して、オペレーターのプロフィールを追加 / 編集 / コピー / 削除します。

 「管理者」ボタンを押して、管理者のプロフィールを追加 / 編集 / コピー / 削除します。

5. キーパッドを使用して、新規のユーザー/管理者の名前を入力します。Enterボタンを押します。





## 管理者コントロール


6. キーボードを使用して、新規のユーザー/管理者にログイン番号を割り当てます。新しいログイン番号は3～8桁の任意の番号を指定できます。Enterボタンを押します。

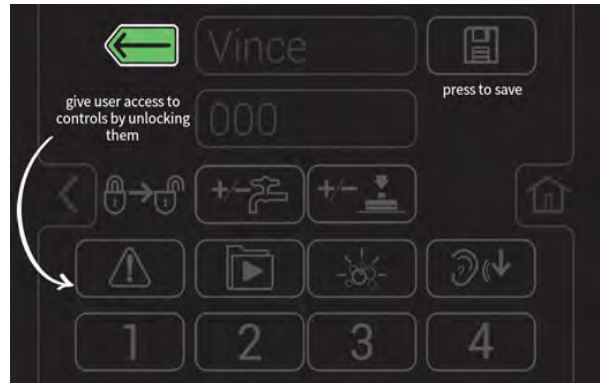



 必要に応じBackspaceボタンを押して、番号を削除し再び入力します。

7. 新しいユーザーがアクセスして利用するコントロールを選択します。緑色はロック解除されたコントロール、灰色はロックされたコントロールを示します。点滅している保存ボタンを押して、新規プロファイルを保存します。



 ヘルプボタンを押して、ヘルプ画面にアクセスします。



 「戻る」ボタンを押して、ユーザーアクセスページに戻ります。

8. オペレータープロフィールリストに新しいユーザープロフィールが保存されました。オペレーター、管理者共に、複数のユーザープロフィールを追加できます。「戻る」矢印を押して前の画面に戻り、ユーザープロフィールの追加やログインを有効にします。
9. 本機の始動時にログイン番号を有効にするには、「ログイン可」ボタンを押します。



「ログイン可」ボタンが、「ログイン可」から「ログイン不可」に変わります。ログインを無効にする方法の説明については、「ログインを無効にする」を参照してください。



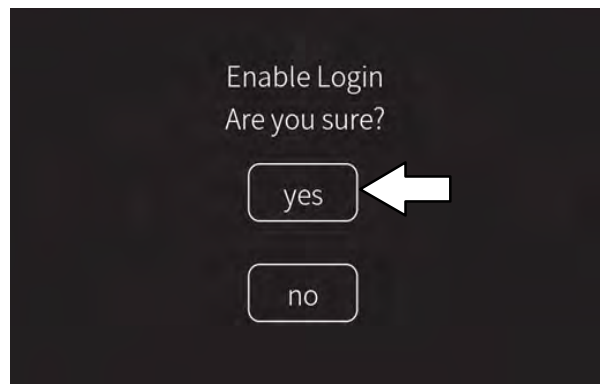
10. 上記の設定が完了すると、本機の始動時にログイン画面が表示されます。新しいユーザーが本機を使用するには、ログイン番号の入力が必要になります。
11. 本機の使用後は、ヘルプボタンを押してから、ログアウトボタンを押してログアウトすることをお勧めします。キーをオフ位置に回してもログアウトできます。
12. 「プロフィールを編集」ボタンや「プロフィールをコピー」ボタン、「プロフィールを削除」ボタンを使用して、現在のユーザープロフィールを管理します。

## ログインを有効にする

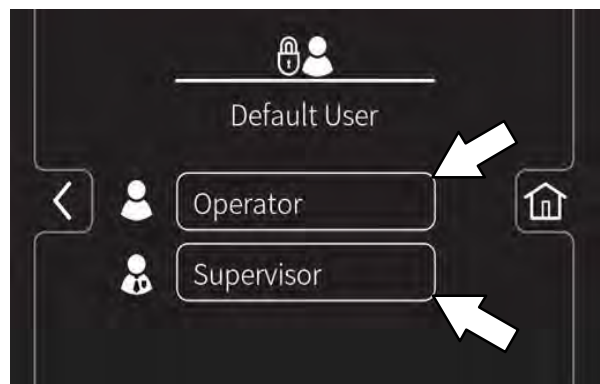
1. 本機の電源を入れ、管理者画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「*管理者モードの入力*」を参照してください
2. 「ログイン可」ボタンを押します。



3. 「はい」ボタンを押してデフォルトユーザー画面を表示します。



4. 「オペレーター」ボタンまたは「管理者」ボタンを押して、希望するデフォルトのユーザーを選択します。



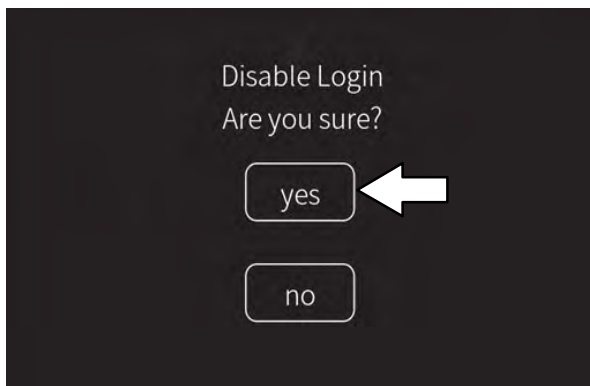
## 管理者コントロール

### ログインを無効にする

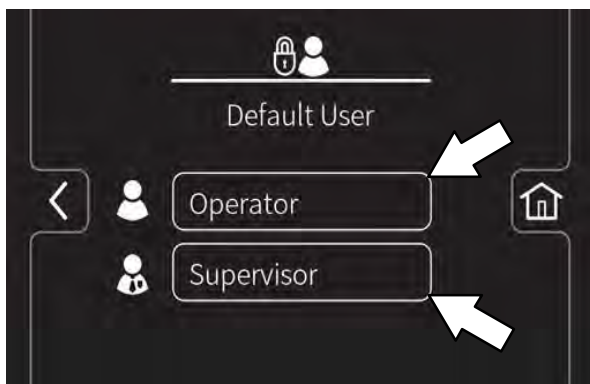
1. 本機の電源を入れ、管理者画面にログインし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「**管理者モードの入力**」を参照してください
2. 「ログイン不可」ボタンを押します。



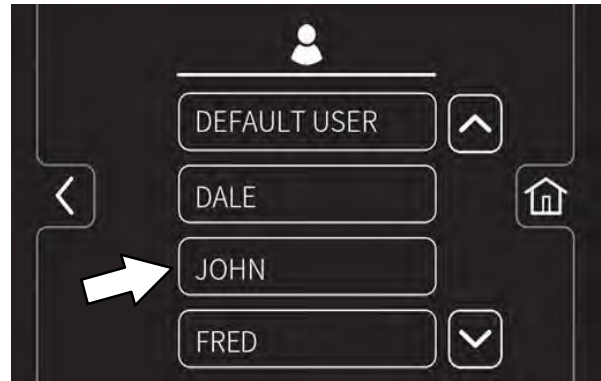
3. 「はい」ボタンを押してデフォルトユーザー画面を表示します。



4. 「オペレーター」ボタンまたは「管理者」ボタンを押して、希望するデフォルトのユーザーを選択します。



5. ユーザープロファイルを選択します。本機の電源を切り、設定を適用します。



6. 本機を始動すると、ログイン画面は表示されず、デフォルトユーザーとしてオペレータープロファイルのホーム画面が表示されます。

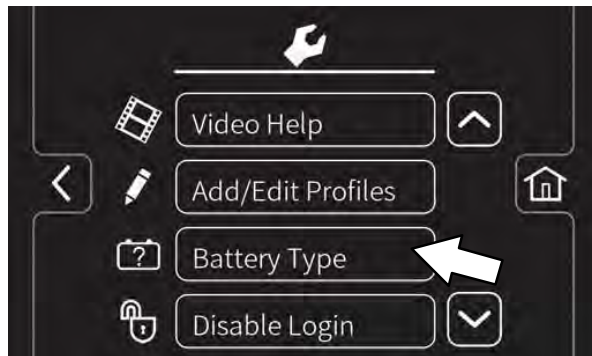
## バッテリーの種類の変更

バッテリーの種類を変更すると、バッテリーを変更した場合に正しいバッテリーの種類に合わせて本機のプログラムを行えます。

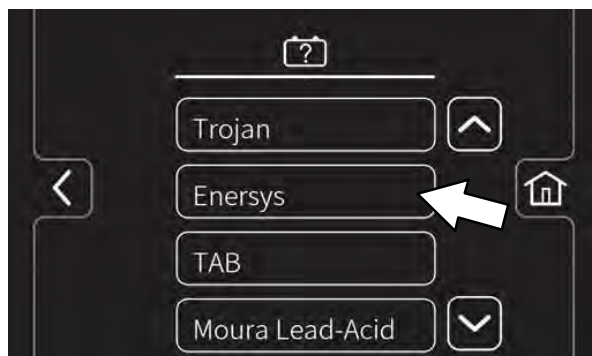
**重要：**充電前に、充電器の設定がバッテリーの種類に適正に設定されているか確認してください。

**注記：**バッテリーの損傷やバッテリー寿命の低下を防ぐために、正しい規格の充電器を使用してください。

1. 本機の電源を入れ、メインのオペレーター画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「管理者モードの入力」を参照してください。
2. 「バッテリーの種類」ボタンを押して、バッテリー選択画面にアクセスします。



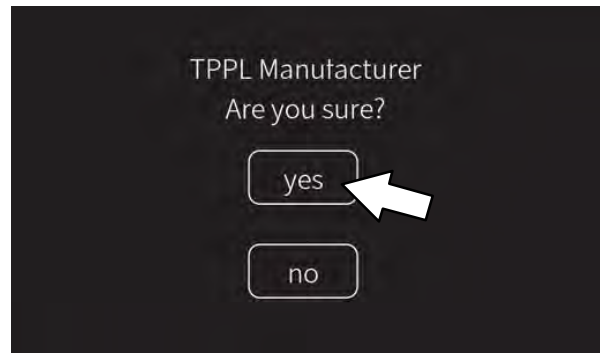
3. 一覧から、該当するバッテリーのボタンを押します。必要な場合、上向き矢印ボタンと下向き矢印ボタンを使用して、バッテリーの一覧内を移動します。



4. バッテリーの下位の一覧が画面に表示される場合、その一覧で該当するバッテリーのボタンを押します。



5. 画面に「...してもよろしいですか」が表示される場合、「はい」または「いいえ」ボタンのいずれかを押します。



**注記：**「はい」ボタンを押した場合、管理者設定画面がディスプレイに表示されます。「いいえ」ボタンを押すと、該当するバッテリーの下位一覧がディスプレイに再び表示されます。

## タッチの補正

1. 本機の電源を入れ、メインのオペレーター画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「管理者モードの入力」を参照してください
2. 「タッチ補正」ボタンを押して、タッチポイントがずれた場合にタッチの再補正を行います。



## 管理者コントロール

### チェックリストのエクスポート

チェックリストをエクスポートすると、本機からフラッシュドライブにチェックリストをエクスポートできます。

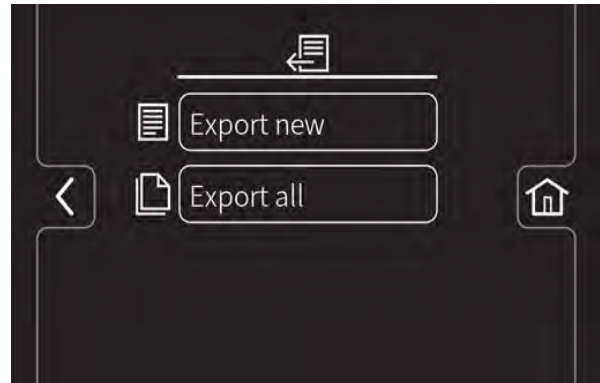
1. 本機の電源を入れ、管理者画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「[管理者モードの入力](#)」を参照してください
2. フラッシュドライブをUSBポートに挿入します。



3. 「チェックリストのエクスポート」ボタンを押して、エクスポート画面にアクセスします。



4. 作業前チェックリストを本機からメモリースティックにエクスポートします。



「新規エクスポート」ボタンを押して、新たに完了した作業前チェックリストを本機からエクスポートします。

**注記：**これまでにエクスポートされていないチェックリストはすべてフラッグが立ちます。

「すべてをエクスポート」ボタンを押して、完了したすべての作業前チェックリストを本機からエクスポートします。

ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。

「戻る」ボタンを押して、前の画面に戻ります。

5. フラッシュドライブをUSBポートから外し、本機の電源を切ります。

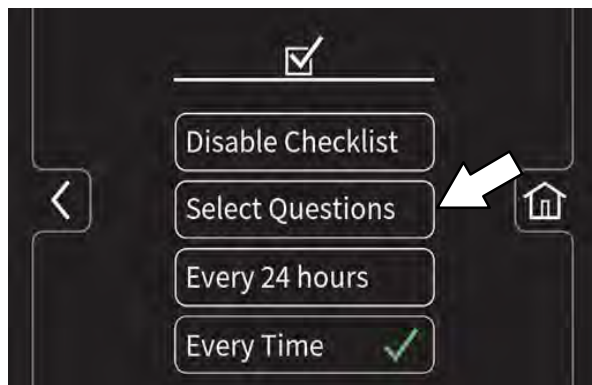
## チェックリストの設定

チェックリストの設定により、機種の使用要件に合わせて、チェックリストを設定/変更できます。

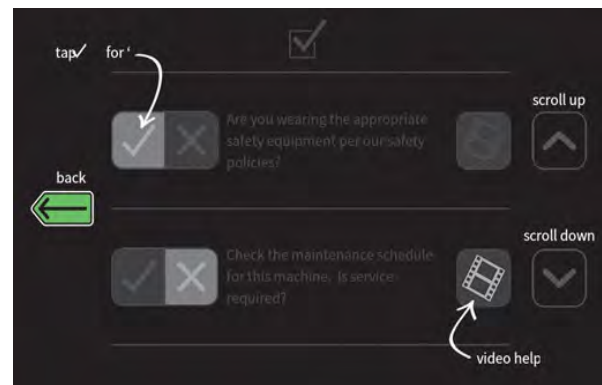
1. 本機の電源を入れ、メインのオペレーター画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「*管理者モードの入力*」を参照してください。
2. 「チェックリストの設定」ボタンを押して、作業前チェックリスト設定画面にアクセスします。



3. 「質問の選択」ボタンを押して、作業前チェックリストのマスターリスト画面にアクセスします。

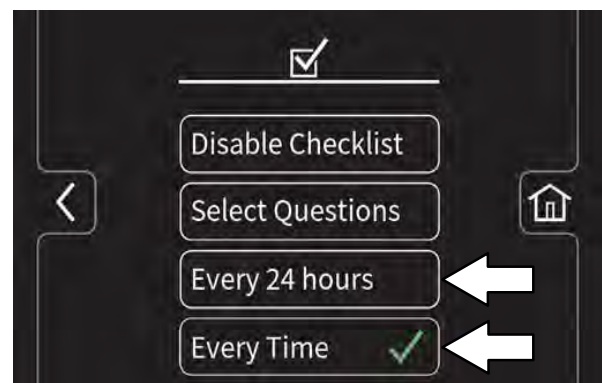


- 下向き矢印ボタンを押して、作業前チェックリスト項目を下に移動します。
- 上向き矢印ボタンを押して、作業前チェックリスト項目を上に移動します。
- チェックボックスボタンを押して、チェックリストに追加する新規チェックリスト項目を選択します。
- いずれかのビデオヘルプボタンを押して、特定のチェックリスト項目に関連するビデオを表示します。
- Enterボタンを押して、選択した作業前チェックリスト項目を作業前チェックリストに追加します。
- ヘルプボタンを押して、「作業前チェックリスト」ヘルプ画面にアクセスします。



- 「戻る」ボタンを押して、「作業前チェックリストのマスターリスト」画面に戻ります。

4. 「24時間おき」ボタンまたは「毎回」ボタンを押して、オペレーターが作業前チェックリストを完了する間隔を設定します。チェックマークが、選択した間隔に表示されます。





ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。

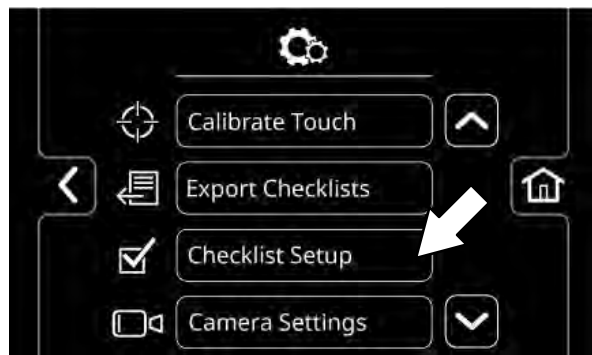


「戻る」ボタンを押して、前の画面に戻ります。

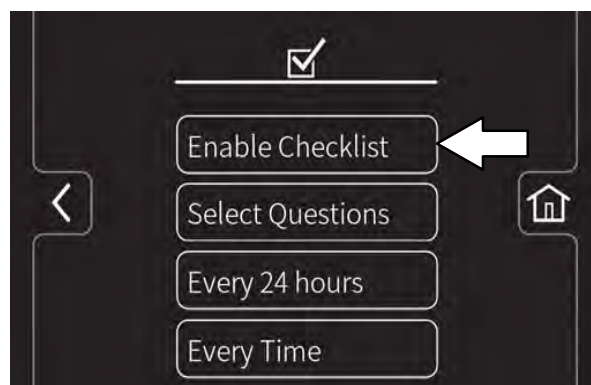
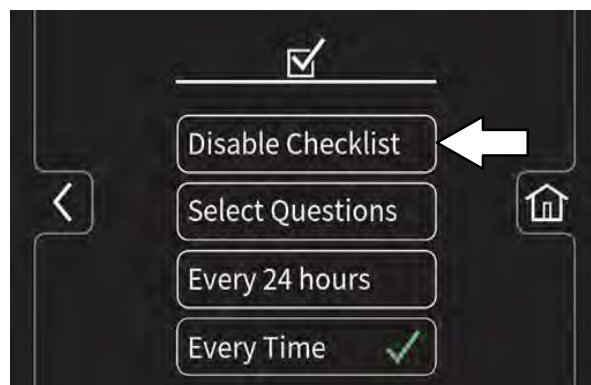
### 作業前チェックリストを有効/無効にする

作業前チェックリストを有効/無効にすると、オペレーターが本機の動作前にチェックリストを完了する必要がある場合には作業前チェックリストを無効に、動作前にチェックリストを完了する必要がある場合には作業前チェックリストを有効にできます。

1. 本機の電源を入れ、メインのオペレーター画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「**管理者モードの入力**」を参照してください。
2. 「チェックリストの設定」ボタンを押して、作業前チェックリスト設定画面にアクセスします。



3. 「チェックリストを無効」ボタン/「チェックリストを有効」ボタンを押して、作業前チェックリストを無効/有効にします。



ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。




「戻る」ボタンを押して、前の画面に戻ります。


## リアビューカメラの設定を変更


リアビューカメラの設定を変更すると、*リアビューカメラ*のボタンを変更のため押した時オンになっている時間を変更できます。リアビューカメラは、5秒から15秒の間であれば何秒にでも設定できます。


1. 本機の電源を入れ、メインのオペレーター画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「*管理者モードの入力*」を参照してください。
2. カメラ設定ボタンを押して、リヤビューカメラ設定画面にアクセスします。



 増加ボタンを押して、オペレーターが *リヤビューカメラ* ボタンを押した際にカメラがオンになっている時間を長くします。

 減少ボタンを押して、オペレーターが *リヤビューカメラ* ボタンを押した際にカメラがオンになっている時間を短くします。

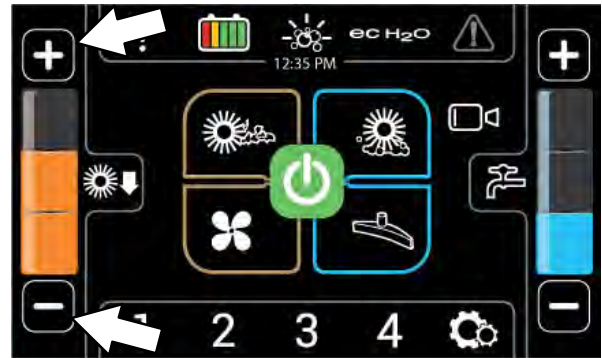
 ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。

 「戻る」ボタンを押して、前の画面に戻ります。

## ゾーンコントロールボタンのプログラム

ゾーンコントロールボタンのプログラムを行うと、ゾーンコントロールボタンのパラメータを、洗浄/スワイプ要件に合わせて変更/更新できます。

1. 本機の電源を入れ、管理者画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「*管理者モードの入力*」を参照してください
2. ブラシ圧上げ (+) ボタンとブラシ圧下げ (-) ボタンを使用して、ゾーンのブラシ圧を設定します。



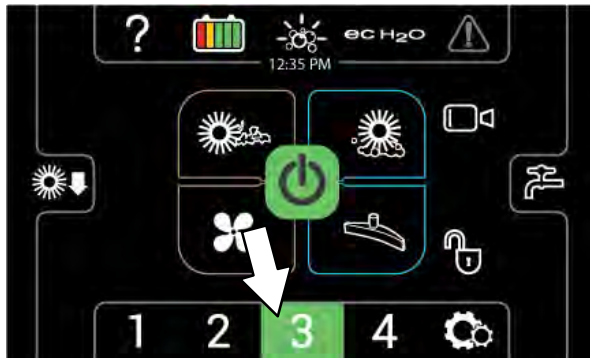
3. 洗浄液増量 (+) ボタンと洗浄液減量 (-) ボタンを使用して、ゾーンの洗浄液の流量レベルを設定します。





## 管理者コントロール

4. 「名前のプリセット」画面が表示されるまで、ゾーンコントロールボタンを押したままにします。



5. 「はい」ボタンを押してゾーン設定を行います。「いいえ」ボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。



6. キーパッドを使用して、ゾーンコントロールボタンの名前を入力します。



ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。



「戻る」ボタンを押して、前の画面に戻ります。



Enterボタンを押してゾーンボタン名を設定します。



必要に応じBackspaceボタンを押して、番号を削除し再び入力します。

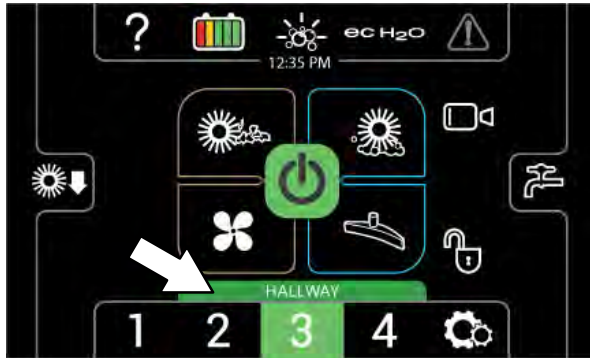


Spaceボタンを押して、文字/数字の間に空白を入れます。



#ボタンを押して、数字キーパッドと文字キーパッドを切り替えます。

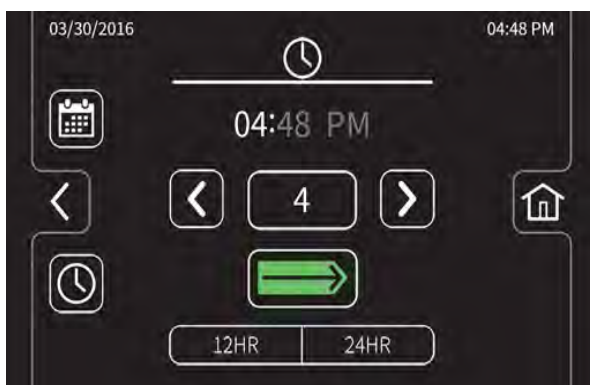
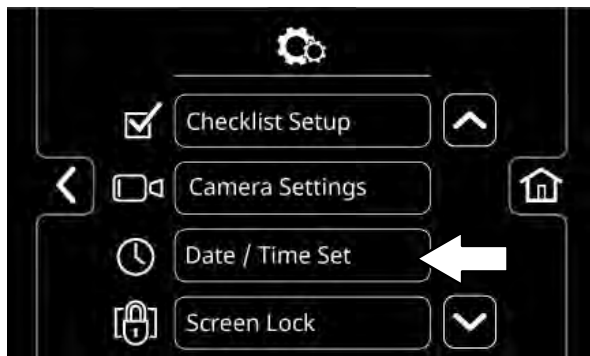
7. Enterボタンを押してゾーンボタン設定を行います。メイン操作画面が、名前の付いたゾーンボタンの表示されたディスプレイに戻ります。ブラシ圧と洗浄液流量設定も、ディスプレイに短時間表示されます。



### 時間と日付の設定/変更

時間と日付の設定/変更により、日付と時間を設定/変更できます。

1. 本機の電源を入れ、メインのオペレーター画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「**管理者モードの入力**」を参照してください
2. 「**日付/時間設定**」ボタンを押して、日付/時間画面にアクセスします。



「**日付**」ボタンを押して、システムの日付を変更します。



「**時間**」ボタンを押して、システムの時間を変更します。



「**切り替え**」ボタンを押して、時間画面の時間と分、午前/午後、日付画面の月と日、年を切り替えます。



「**増やす**」ボタンを押して、時間/日付のパラメータを増やします。



「**減らす**」ボタンを押して、時間/日付のパラメータを減らします。



ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。



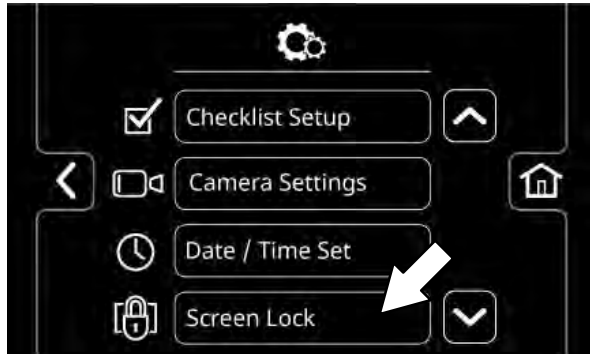
「**戻る**」ボタンを押して、前の画面に戻ります。

3. システムの日付と時間の設定/変更が終了したら、ホームボタンを押してメインの操作画面に戻ります。

### スクリーンロックの設定/変更

スクリーンロック設定では、操作中にスクリーンロックモードに入る前に画面のロックが解除されたままになる時間の長さを調整します。

1. 本機の電源を入れ、メインのオペレーター画面にログオンし、設定ボタンを押して管理者設定画面にアクセスします。「*管理者モードの入力*」を参照してください
2. スクロールダウンして「スクリーンロック」ボタンを押して、「スクリーンロック」画面にアクセスします。



スクリーンロックの遅延は、ロックしない、30秒、または1分の間隔で最長5分まで設定できます。



ホームボタンを押して、メイン操作画面に戻ります。



「戻る」ボタンを押して、前の画面に戻ります。



下向き矢印ボタンを押して、スクリーンロック時間を下に移動します。



上向き矢印ボタンを押して、スクリーンロック時間を上に移動します。

3. スクリーンロック時間の設定/変更が終了したら、ホームボタンを押してメインの操作画面に戻ります。